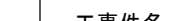



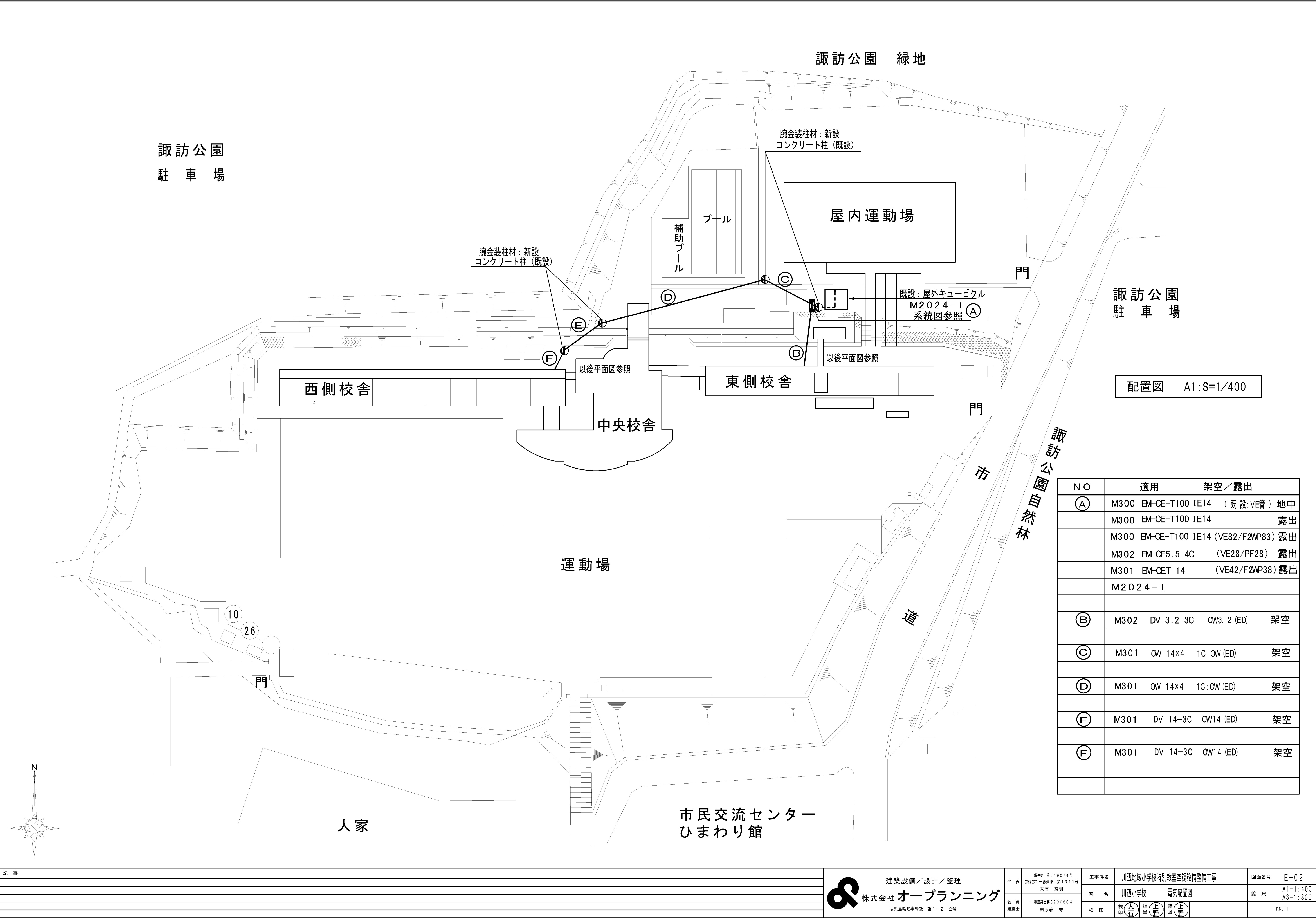


川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事

川辺小学校・高田小学校・勝目小学校 大丸小学校

電 気 設 備 図 面 リ ス ト			機 械 設 備 図 面 リ ス ト		
図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺
E-01	特記仕様書 川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事	Nb Scal e	M-01	特記仕様書 川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事	Nb Scal e
E-02	電気配置図 川辺小学校	A1:1/400・A3:1/800	M-02	配置図 川辺小学校	A1:1/400・A3:1/800
E-03	動力盤結線図・凡例・系統図・区分表 川辺小学校	Nb Scal e	M-03	機器表・施工要領図 川辺小学校	Nb Scal e
E-04	電気設備施工要領共通図 川辺小学校	Nb Scal e	M-04	平面図 川辺小学校	A1:1/100・A3:1/200
E-05	西側校舎 電気1．2階平面図 川辺小学校	A1:1/100・A3:1/200	M-05	配置図 高田小学校	A1:1/400・A3:1/800
E-06	西側校舎 電気3階平面図 川辺小学校	A1:1/100・A3:1/200	M-06	機器表・施工要領図 高田小学校	Nb Scal e
E-07	東側校舎 電気1．2階平面図 川辺小学校	A1:1/100・A3:1/200	M-07	平面図 高田小学校	A1:1/100・A3:1/200
E-08	中央校舎 電気3階平面図 川辺小学校	A1:1/100・A3:1/200	M-08	配置図 勝目小学校	A1:1/400・A3:1/800
E-09	電気配置図 高田小学校	A1:1/300・A3:1/600	M-09	機器表・施工要領図 勝目小学校	Nb Scal e
E-10	高圧受変電設備図 高田小学校	Nb Scal e	M-10	平面図 勝目小学校	A1:1/100・A3:1/200
E-11	動力盤結線図・凡例・系統図・区分表 高田小学校	Nb Scal e	M-11	配置図 大丸小学校	A1:1/400・A3:1/800
E-12	電気1階平面図 高田小学校	A1:1/100・A3:1/200	M-12	機器表・施工要領図 大丸小学校	Nb Scal e
E-13	電気2階平面図 高田小学校	A1:1/100・A3:1/200	M-13	平面図 大丸小学校	A1:1/100・A3:1/200
E-14	電気R階平面図 高田小学校	A1:1/100・A3:1/200			
E-15	電気配置図 勝目小学校	A1:1/300・A3:1/600			
E-16	動力盤結線図・凡例・系統図・区分表 勝目小学校	Nb Scal e			
E-17	電気設備施工要領共通図 勝目小学校	Nb Scal e			
E-18	電気平面図 勝目小学校	A1:1/150・A3:1/300			
E-19	電気配置図 大丸小学校	A1:1/400・A3:1/800			
E-20	動力盤結線図・凡例・系統図・区分表 大丸小学校	Nb Scal e			
E-21	電気設備施工要領共通図 大丸小学校	Nb Scal e			
E-22	電気平面図 大丸小学校	A1:1/150・A3:1/300			

記 事		 建築設備／設計／監理 株式会社 オープランニング 鹿児島県知事登録 第1-2-2号	代 表	一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工事件名	川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事		図面番号	E-01
			管 理	一級建築士第379060号 田原 泰 守	図 名	特記仕様書		縮 尺	Nb Scale
			検 印	検 印  担 当  製 図 			検 印	FR.11	



[illegible]

凡例：明記無きは下記による。

記 号	名 称	仕 様
	コンクリート電柱（装柱材共）	
	引込開閉器盤	
	動力盤	
	手元開閉器盤	S2024-n
	ブルボックス	
	接地D種	接地表示板取付
	コンクリート壁貫通及び補修	
	ビニル被覆防水金属製可とう電線管	
	空調室外機（機械設備）	
-----	露出配管配線	
=====	架空 配線	
=====	隠べい配線	
-----	地中埋設 配管配線	
-----	土間配管配線（既設配管流用）	
MJ	メッセンジャーワイヤー（溶融亜鉛めっき処理）	
VE222	ブルボックス	VE・WP・200×200×200
VE255	ブルボックス	VE・WP・250×250×250
VE333	ブルボックス	VE・WP・300×300×300
SS222	ブルボックス	SUS・WP・200×200×200
SS333	ブルボックス	SUS・WP・300×300×300
SS444	ブルボックス	SUS・WP・400×400×400
屋外取付金物類（アンカーボルト含む）	全てSUS又は亜鉛ドブ漬け	

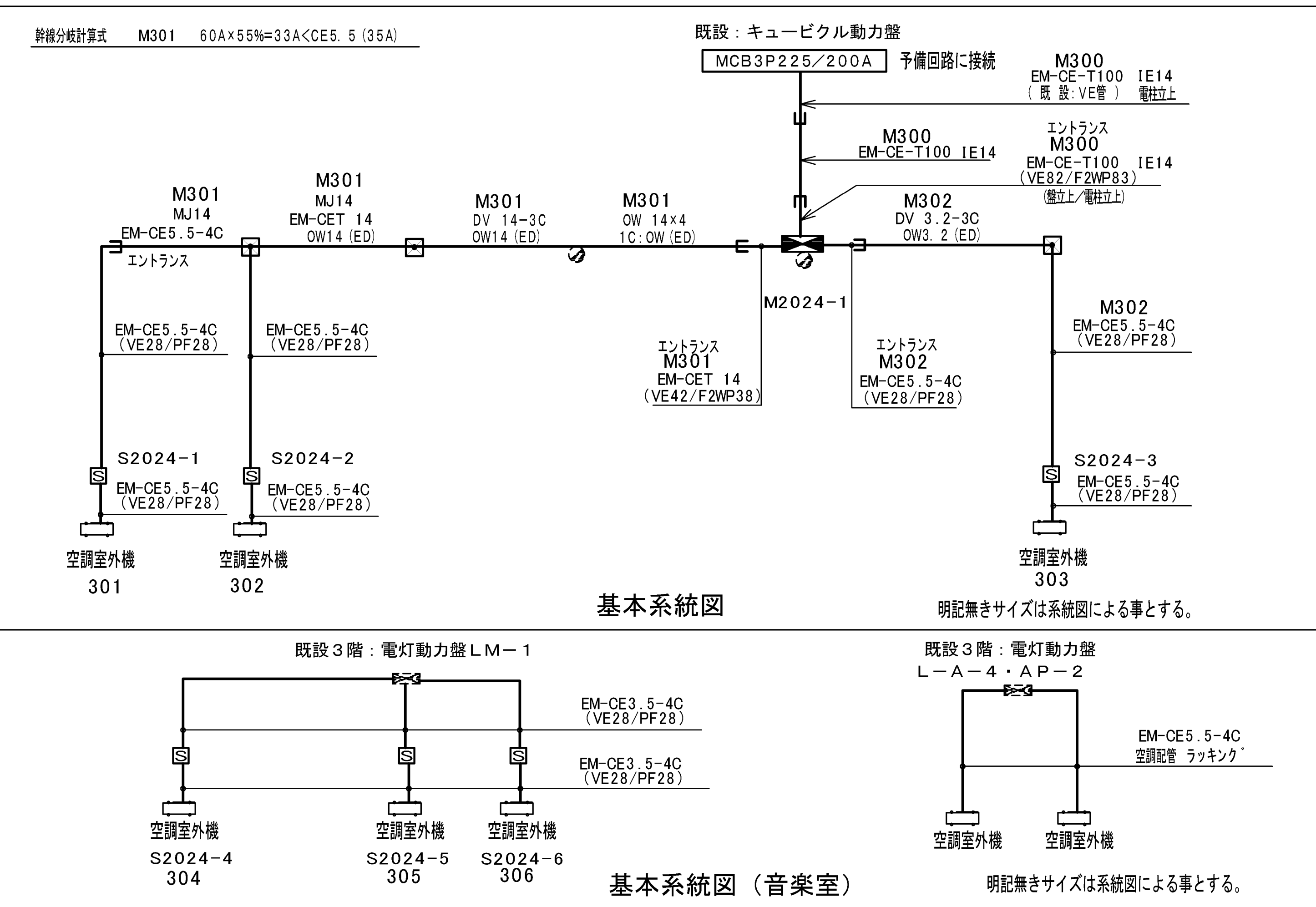
電力引込区分

引込区分	改修前	改修後		
内容	既設	既設	撤去	切替
低圧動力				
低圧電灯				
高圧電力	●	●		
●印に適用する				

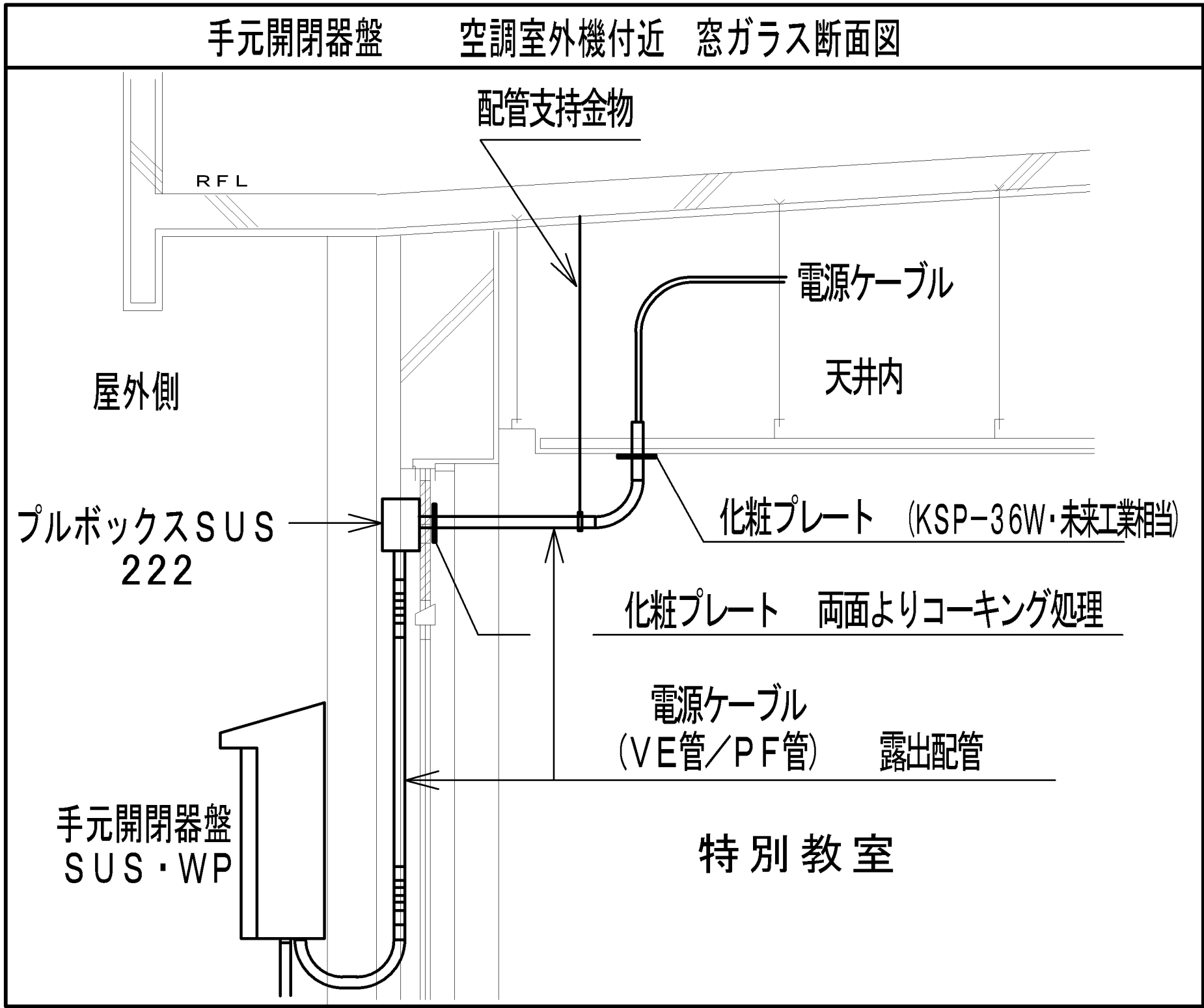
●印に適用する

手元開閉器区分

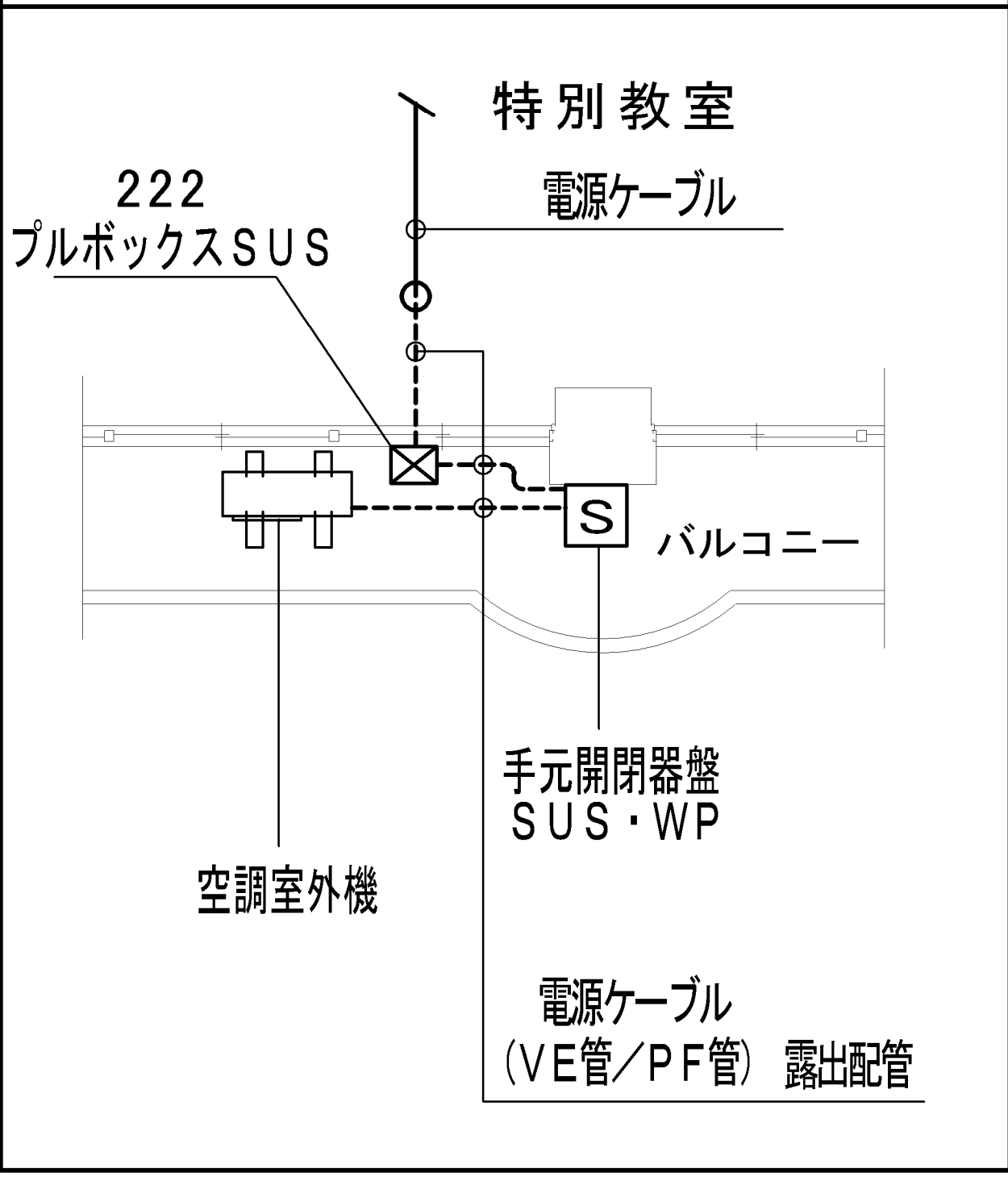
空調室外機	手元開閉器
消費電力KW	遮断器容量
三相3線	200V
ダイキン相当	ELCB3P
KW	
6.81	40A
4.77	30A
3.72	30A
2.9	30A
2.37	15A
2.0	15A
注記：遮断器容量はメーカー毎の	
仕様書による事とする。	



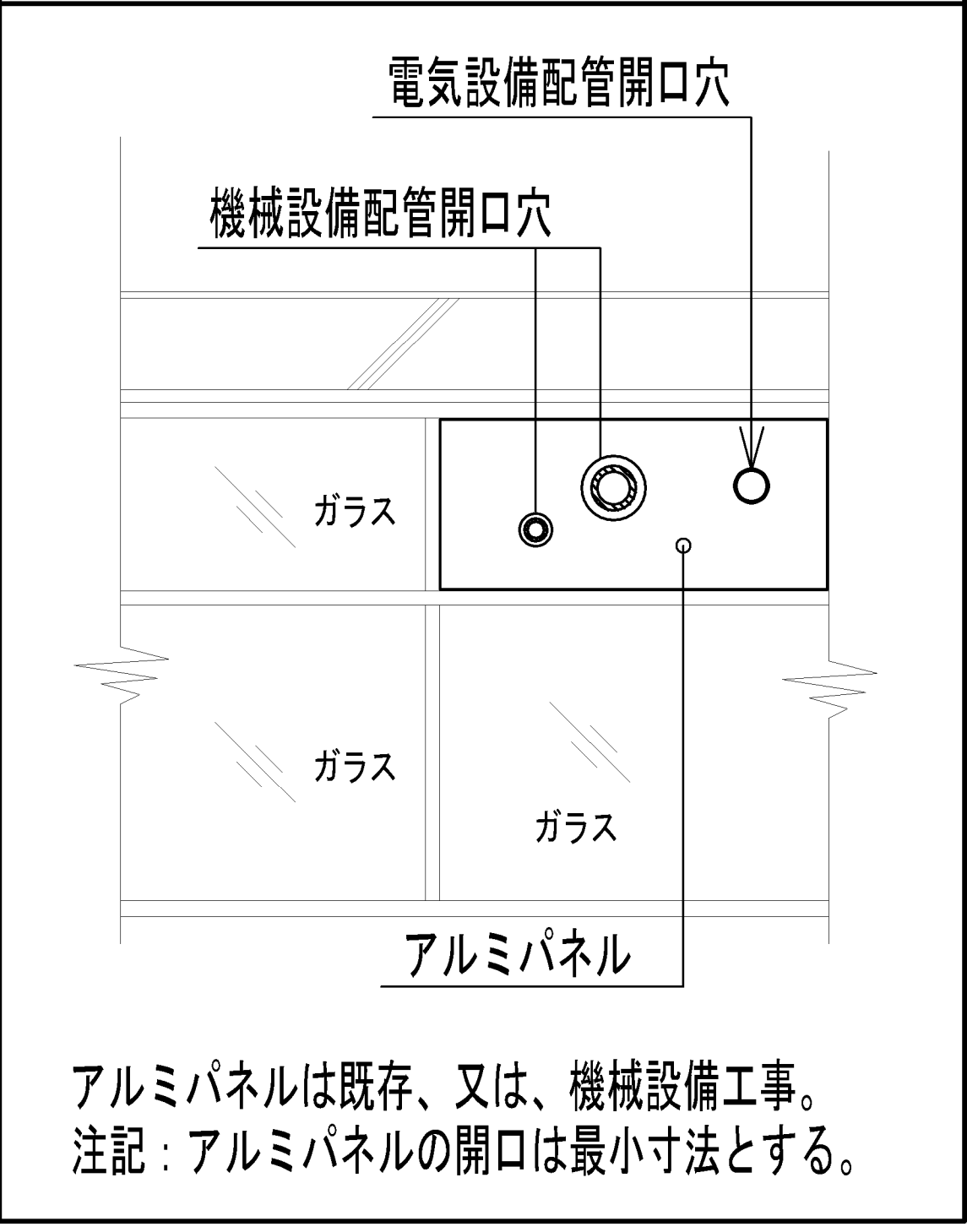
施工要領参考図：共通図

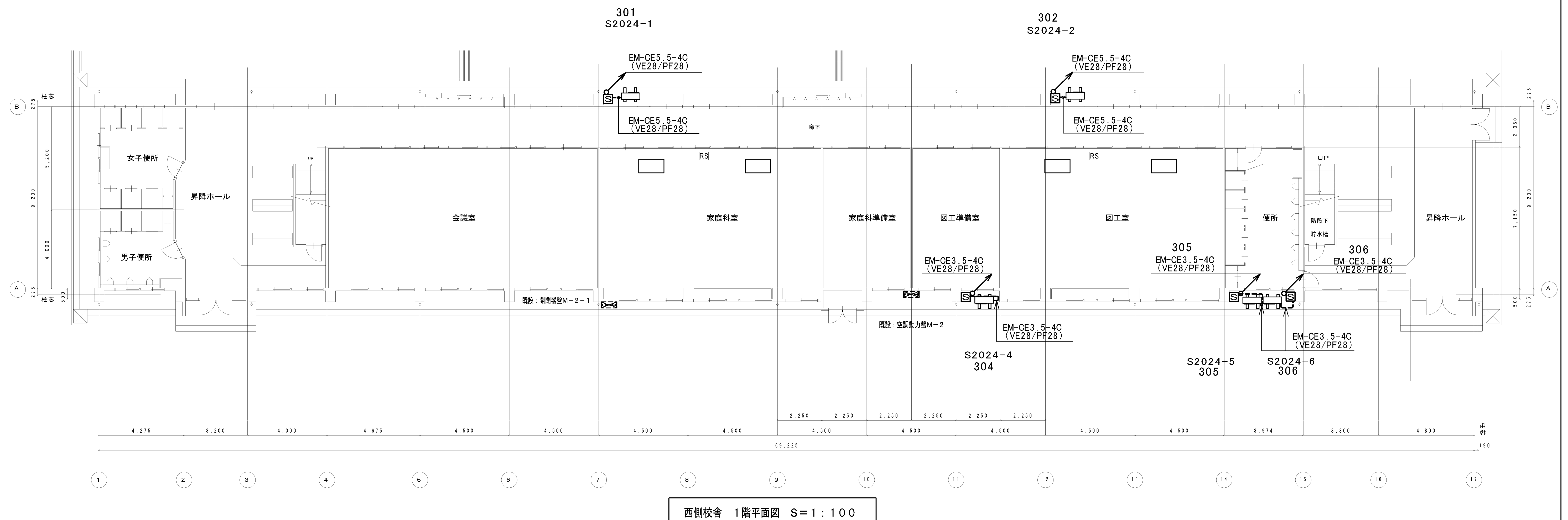
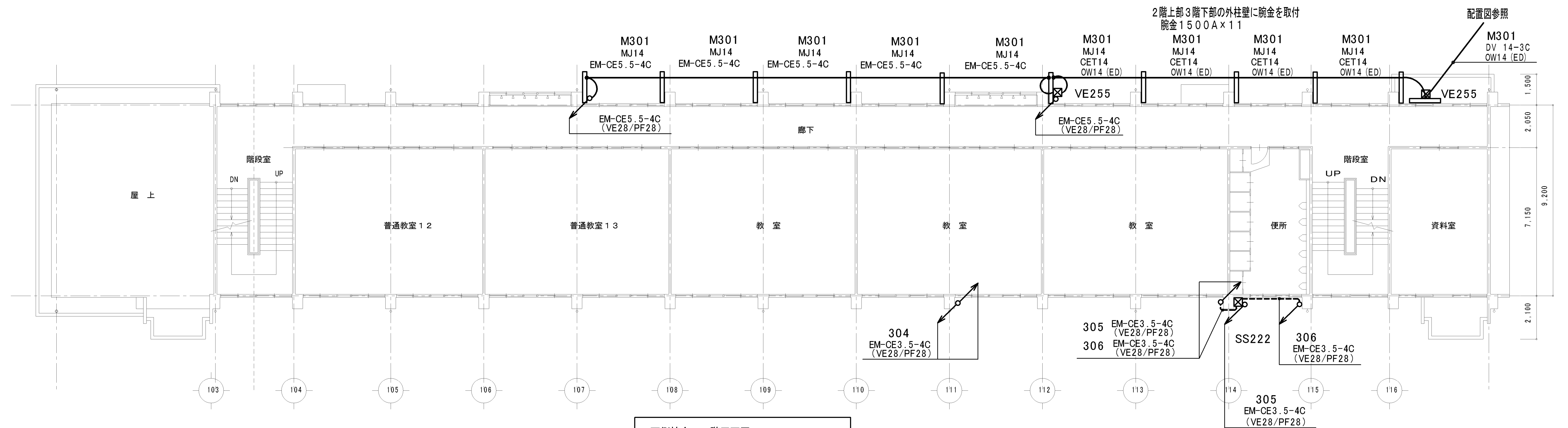



空調室外機付近 平面図

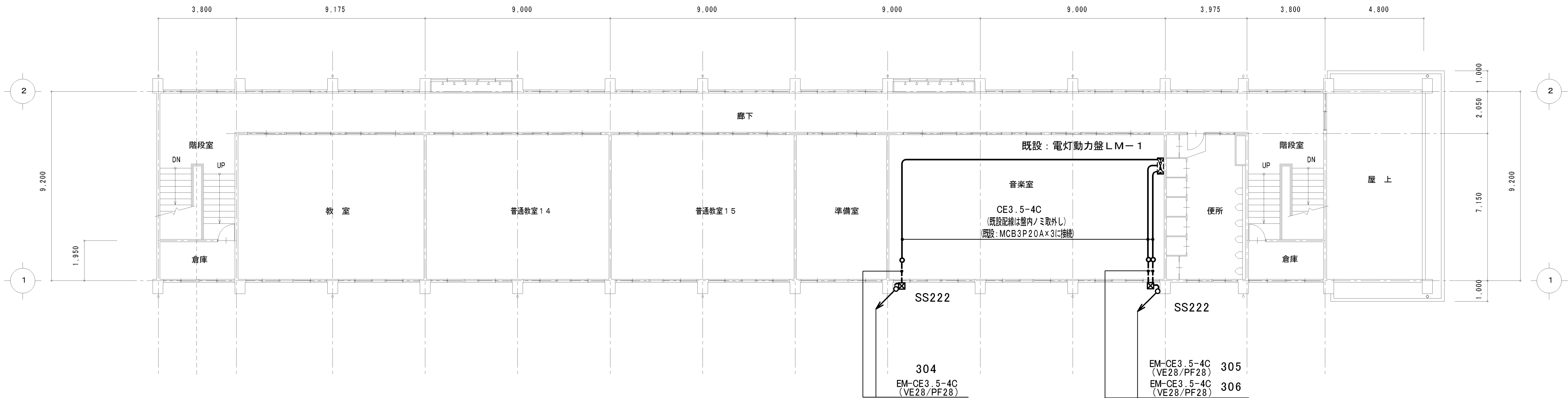


空調室外機付近 窓ガラス正面図






記 事		 建築設備／設計／監理 株式会社 オープランニング <small>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</small>	代 表	一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀雄	工事件名	川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事		図面番号	E-05
			管 理 建築士	一級建築士第379060号 田原 春 守	図 名	川辺小学校 西側校舎 電気 1. 2階平面図		縮 尺	A1=1:100 A3=1:200
					検 印	検 大石 印	担 上野 当	製 上野 図	R6.11




西側校舎 3階平面図 S=1:100

記 事	<div> 建築設備／設計／監理</div> <div>株式会社 オープランニング</div> <div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div>			代 表	一級建築士第349074号		工 事 件 名	川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事		図面番号	E-06			
					設備設計一級建築士第4341号			図 名	川辺小学校 西側校舎 電気3階平面図		縮 尺	A1-1:100 A3-1:200		
					大石 秀樹									
					管 理				一級建築士第379060号					
					建築士				田原 春 守					
			検 印	大石	担 当	上野	製 図	上野	R6.11					



記 事	<div><div><div>一般建築士第349074号 設備設計一般建築士第4341号 大石 秀樹</div><div>一般建築士第379060号 田 原 孝 守</div></div><div><div>建築設備／設計／監理</div><div>株式会社 オープランニング</div><div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div></div></div>	代 表	工 事 件 名	川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事	図面番号	E-07
		管 理	国 名	川辺小学校 東側校舎 電気1.2階平面図	縮 尺	A1-1:100 A3-1:200
		検 印	検 印	大石 担当 上野 製図 上野		R6.11



記 事		 建築設備／設計／監理 株式会社 オープランニング <small>鹿児島県知事登録 第１－２－２号</small>	代表者 一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工事件名 川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事	図面番号 E-08
			監理者 一級建築士第379060号 田原 春 守	園 名 川辺小学校 中央校舎 電気3階平面図	縮 尺 A1-1:100 A3-1:200
				校 印 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">校印 大石</div> <div style="margin-right: 5px;">担当 上野</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">製図 上野</div> </div>	R6.11

新設キュービクル		地中埋設：ケーブルシート埋設		
NO	幹線番号	ケーブル	電線管	備考
A	M302	EM-CET38	(FEP50/VE54)	地中埋設／電柱立上
	M301	CET200	(FEP100/VE82)	〃
	M303	FP8-3C	(FEP40/VE42)	〃
	L501	CET150	(FEP100/VE82)	地中埋設／電柱立上
B		将来用予備	(FEP100)	地中埋設 埋設標柱
		将来用予備	(FEP100)	〃
		将来用予備	(FEP100)	〃
		将来用予備	(FEP100)	〃
		将来用予備	(FEP50)	〃
C	高压引込	6KV CET60	(FEP100/ZNGP92)	地中埋設 埋設標柱
D	M302	DV 38-3C	架空	M2024-1

配置図 A1:S=1/300

新設構内電柱：PAS・EA
CP：19-5kn-12m
電力6KV引込

SS255 既設電柱
既設引込撤去
既設引込盤

- 注記
1. 屋外型キュービクルとする。

2. 耐塩塗装とする。

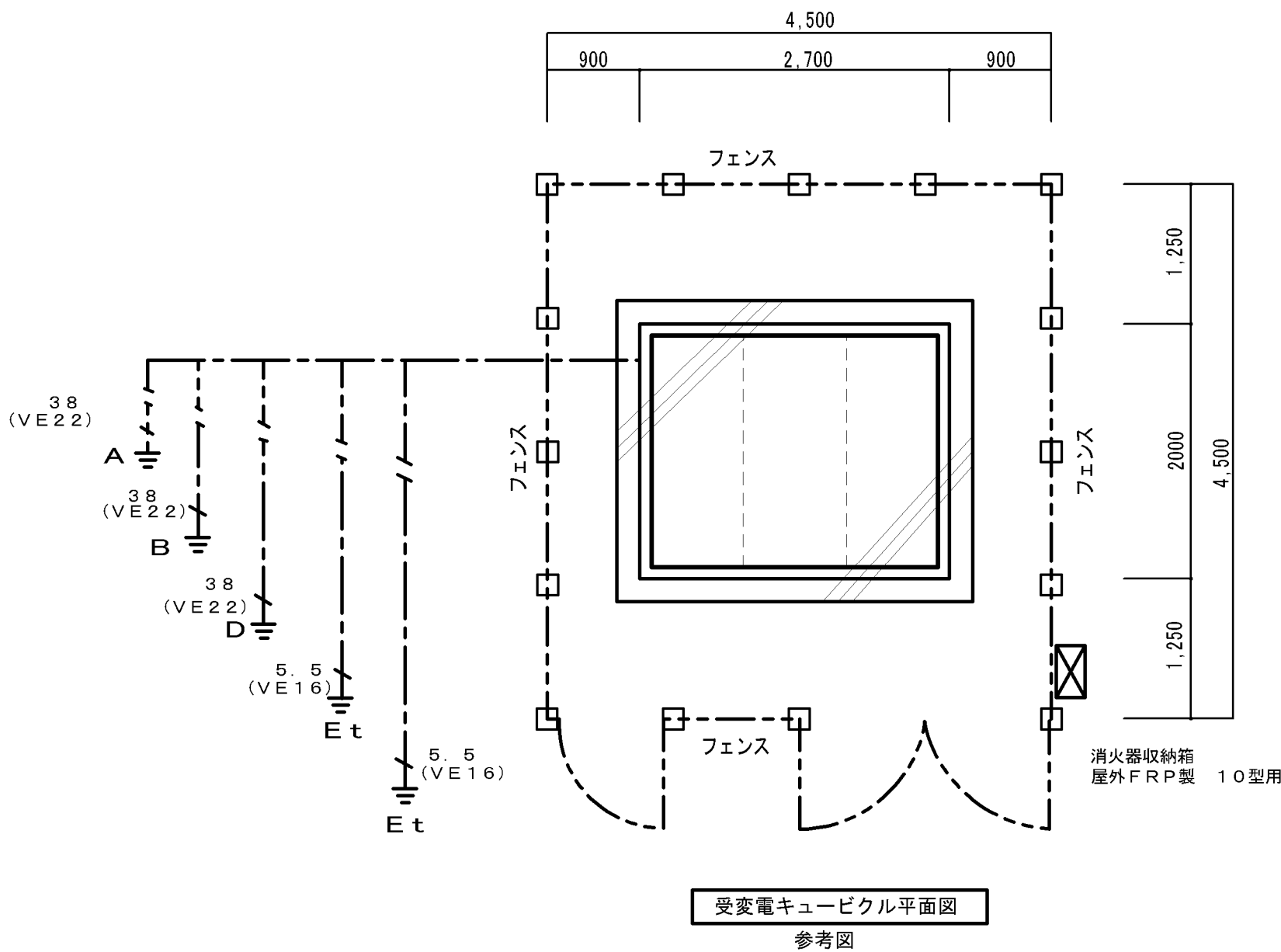
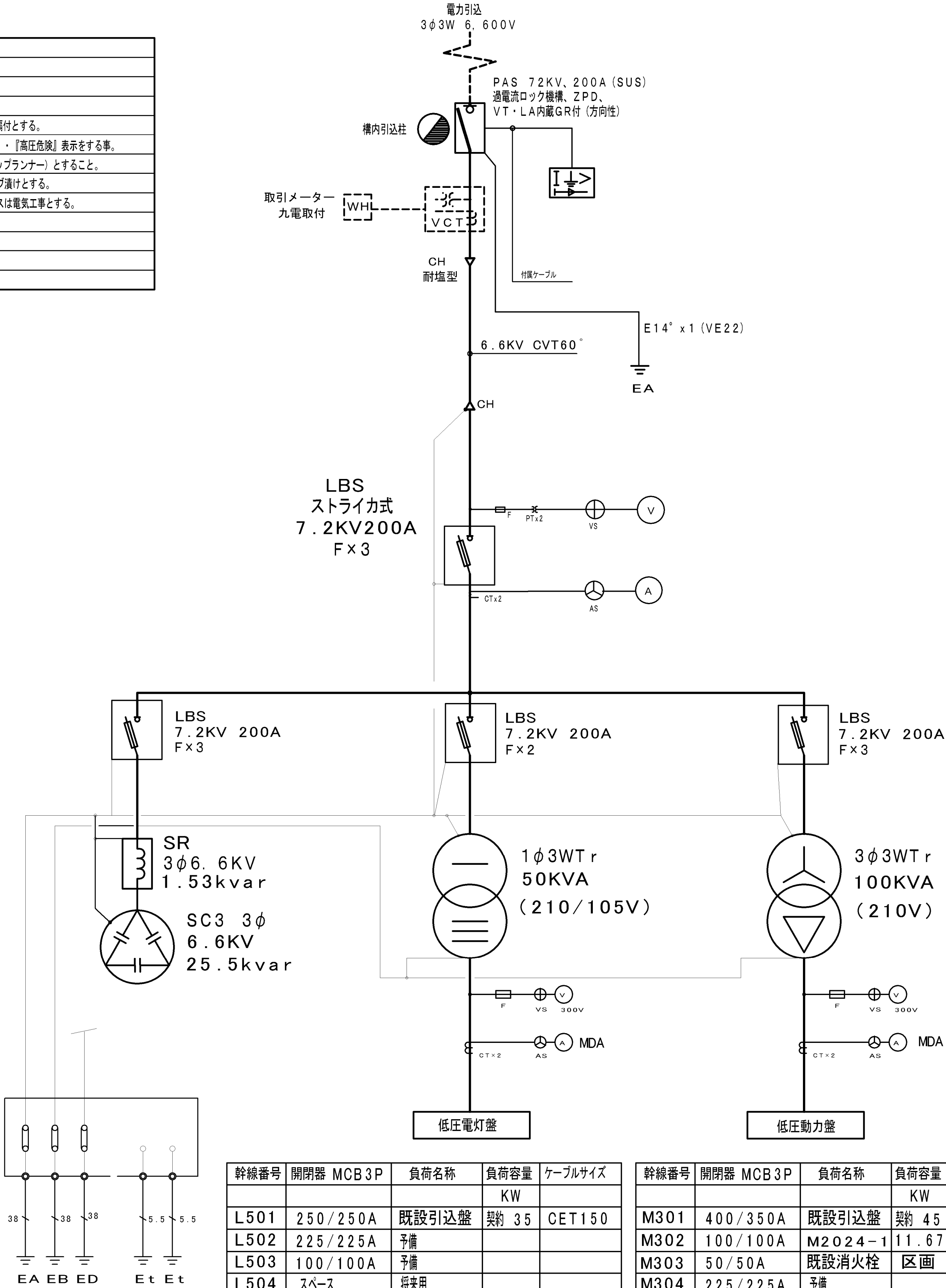
3. サーモスイッチ発停有圧換気扇付とする。

4. キュービクルには『受電設備』『高圧危険』表示をする事。

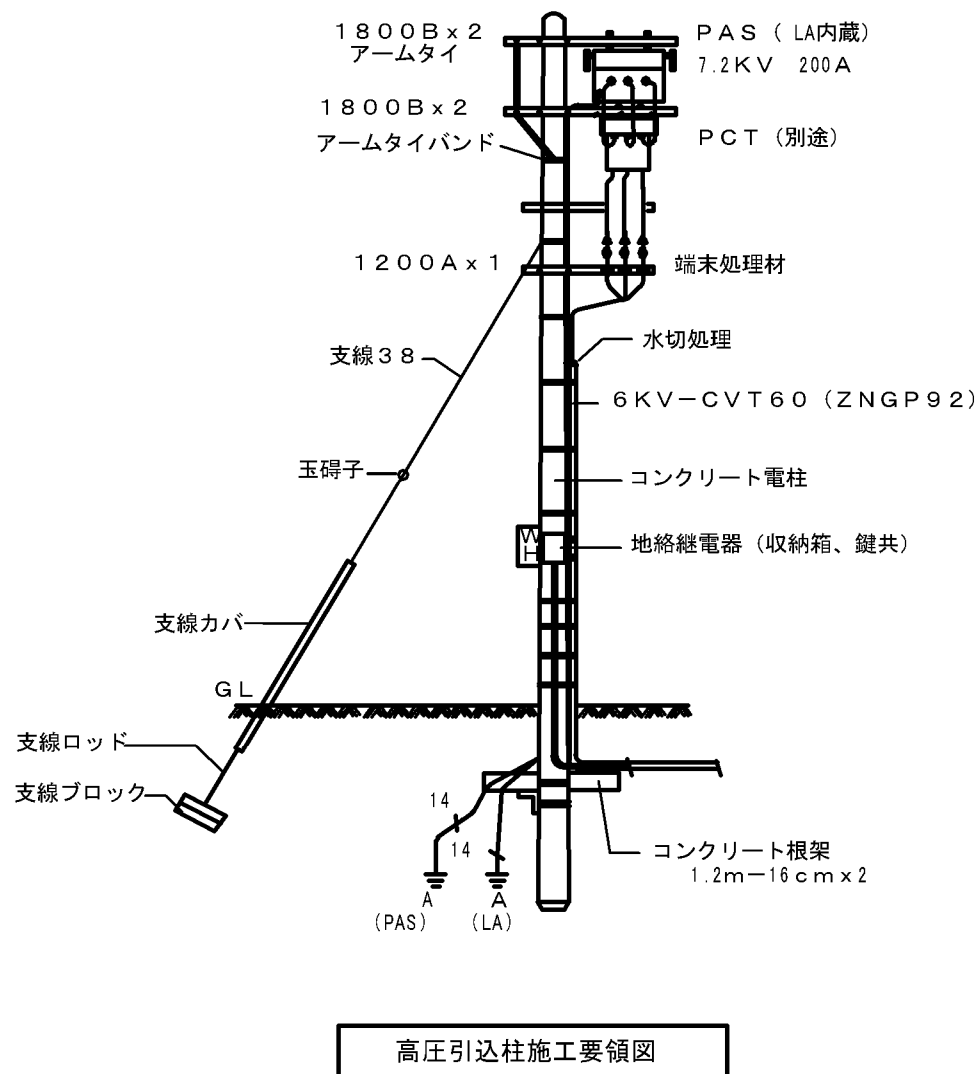
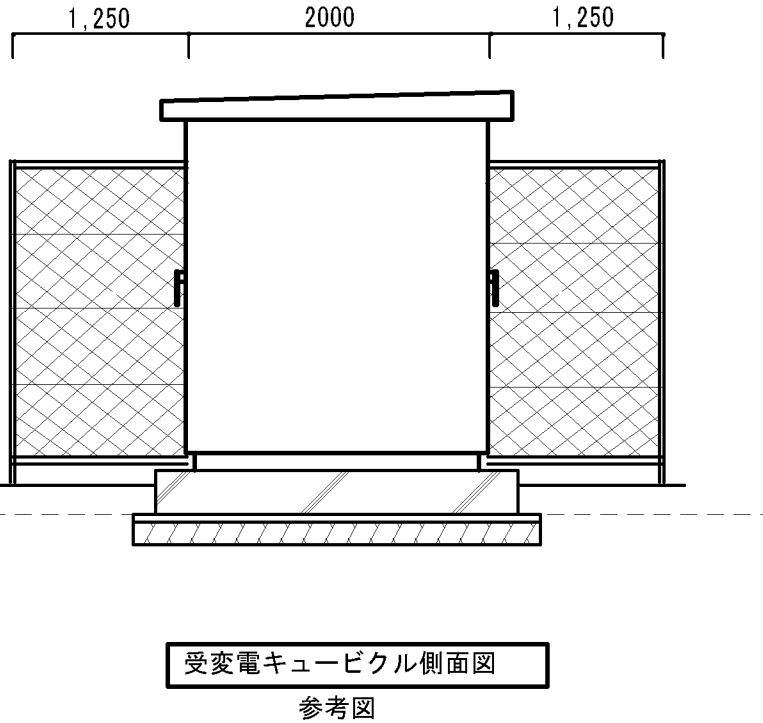
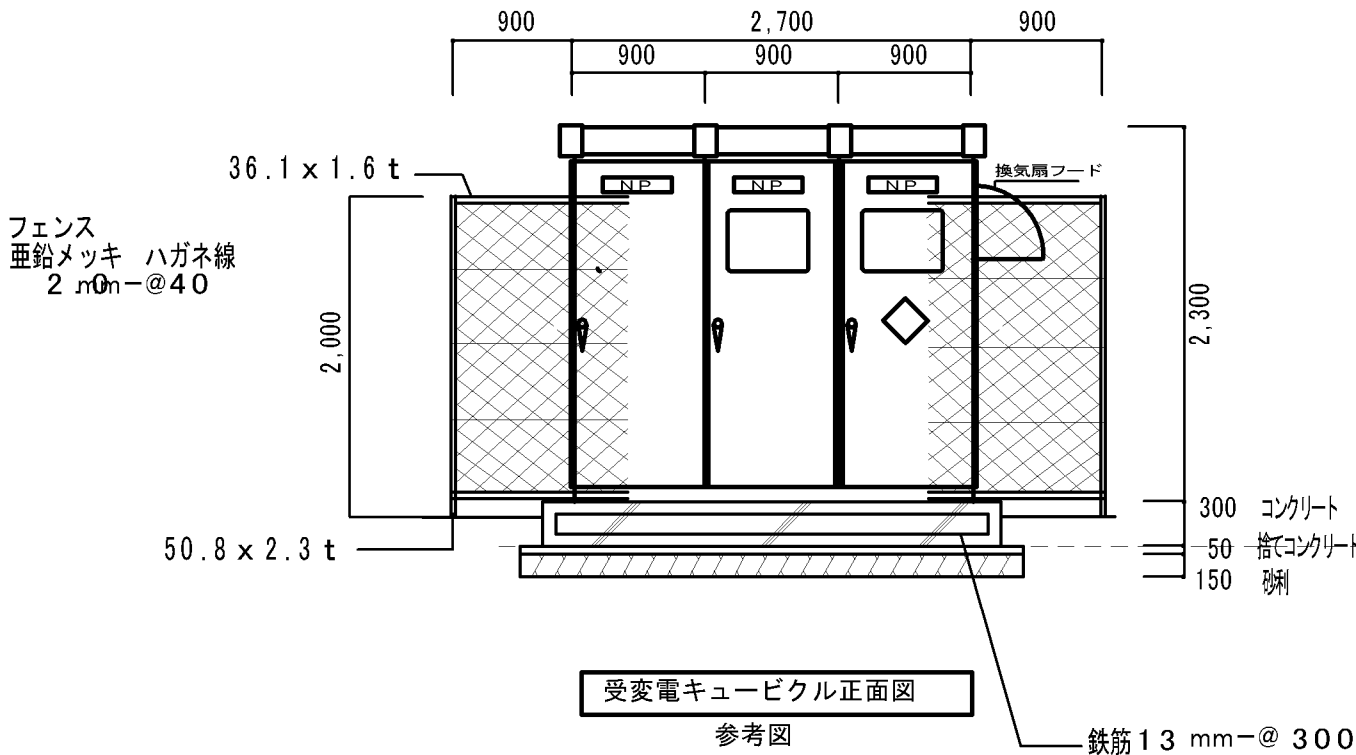
5. 変圧器は高効率型（油入・トッランナー）とする。

6. チェンネルベースは、垂裕ドロップ掛けとする。

7. コンクリート基礎及びフェンスは電気工事とする。



- ※1 図中寸法は参考とする。
- ※2 基礎及びフェンスは本工事とする。
- ※3 消火器（ABC粉末10型）収納箱設置のこと。



幹線番号	開閉器 MCB3P	負荷名称	負荷容量 KW	ケーブルサイズ
L501	250/250A	既設引込盤	契約 35	CET150
L502	225/225A	予備		
L503	100/100A	予備		
L504	スペース	将来用		
L505	スペース	将来用		
L506	スペース	将来用		
L507	スペース	将来用		
容量		計	35	

幹線番号	開閉器 MCB3P	負荷名称	負荷容量 KW	ケーブルサイズ
M301	400/350A	既設引込盤	契約 45	CET200
M302	100/100A	M2024-1	11.67	
M303	50/50A	既設消火栓	区画	FP8-3C
M304	225/225A	予備		
M305	100/100A	予備		
M306	スペース	将来用		
M307	スペース	将来用		
容量		計	56.67	

受変電設備単線結線図

記 事



建築設備／設計／監理

株式会社 オープランニング

鹿児島県知事登録 第1-2-2号

代表
取締役
大石 秀樹

管理
課長
田原 幸 守

一級建築士第349074号
設備設計一級建築士第4341号

一級建築士第379060号

工事件名
川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事






図 名
高田小学校 高圧受変電設備図

核 印
大石 担 上野 製 上野

図面番号
E-10

縮 尺
No Scale

R6.11

動力盤負荷リスト								
盤名称	幹線番号	主遮断器	回路番号	遮断器容量	負荷名称	負荷容量 (KW)		備 考
						空調		
M2024-1 屋外防雨型 壁掛露出型 SUS製 ⌀ ET	三相3線 200V 100/100A M302							
			301	MCCB3P 50/15A	S2024-1	2.0		2階図工室
			302	MCCB3P 50/15A	S2024-2	2.0		2階理科室
			303	MCCB3P 50/30A	S2024-3	4.77		2階家庭科室
			304	MCCB3P 50/30A	S2024-4	2.9		1階音楽室
					計	11.67		
S2024-1 屋外防雨型 壁掛露出型 SUS製 ⌀ ET	三相3線 200V 301		301	ELCB3P 50/15A	2階図工室 空調室外機	2.0		
S2024-2 屋外防雨型 壁掛露出型 SUS製 ⌀ ET	三相3線 200V 302		302	ELCB3P 50/15A	2階理科室 空調室外機	2.0		
S2024-3 屋外防雨型 壁掛露出型 SUS製 ⌀ ET	三相3線 200V 303		303	ELCB3P 50/30A	2階家庭科室 空調室外機	4.77		
S2024-4 屋外防雨型 壁掛露出型 SUS製 ⌀ ET	三相3線 200V 304		304	ELCB3P 50/30A	1階音楽室 空調室外機	2.9		

凡例：明記無きは下記による。

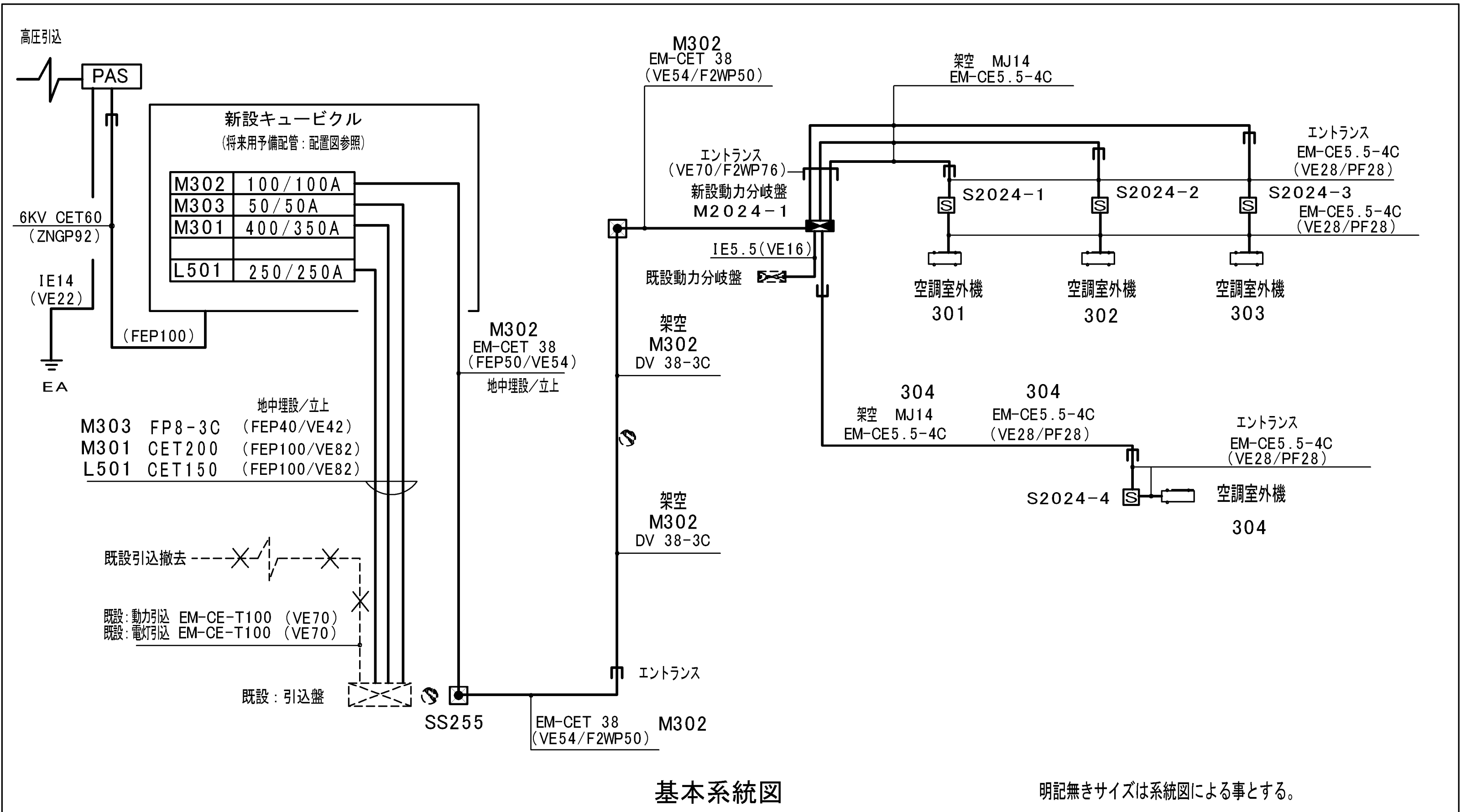
記 号	名称	仕様
	コンクリート電柱（装柱材共）	
	引込開閉器盤	
	動力盤	
	手元開閉器盤	S2024-n
	ブルボックス	
	接地D種	接地表示板取付
	コンクリート壁貫通及び補修	
	空調室外機（機械設備）	
	露出配管配線	
	架空 配線	
	隠ぺい配線	
	地中埋設 配管配線	
	土間配管配線（既設配管流用）	
MJ	メッセンジャーワイヤー（溶融亜鉛めっき処理）	
VE222	ブルボックス	VE・WP・200×200×200
VE255	ブルボックス	VE・WP・250×250×250
VE333	ブルボックス	VE・WP・300×300×300
SS222	ブルボックス	SUS・WP・200×200×200
SS255	ブルボックス	SUS・WP・250×250×250
SS333	ブルボックス	SUS・WP・300×300×300
屋外取付金物類（アンカーボルト含む）		全てSUS又は亜鉛ドブ漬け

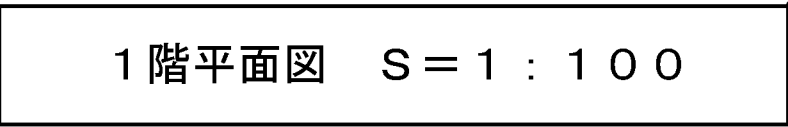
電力引込区分


引込区分	改修前		改修後	
	既設		撤去	切替
内容				
低圧動力	●		●	
低圧電灯	●		●	
高圧電力				●
●印に適用する				

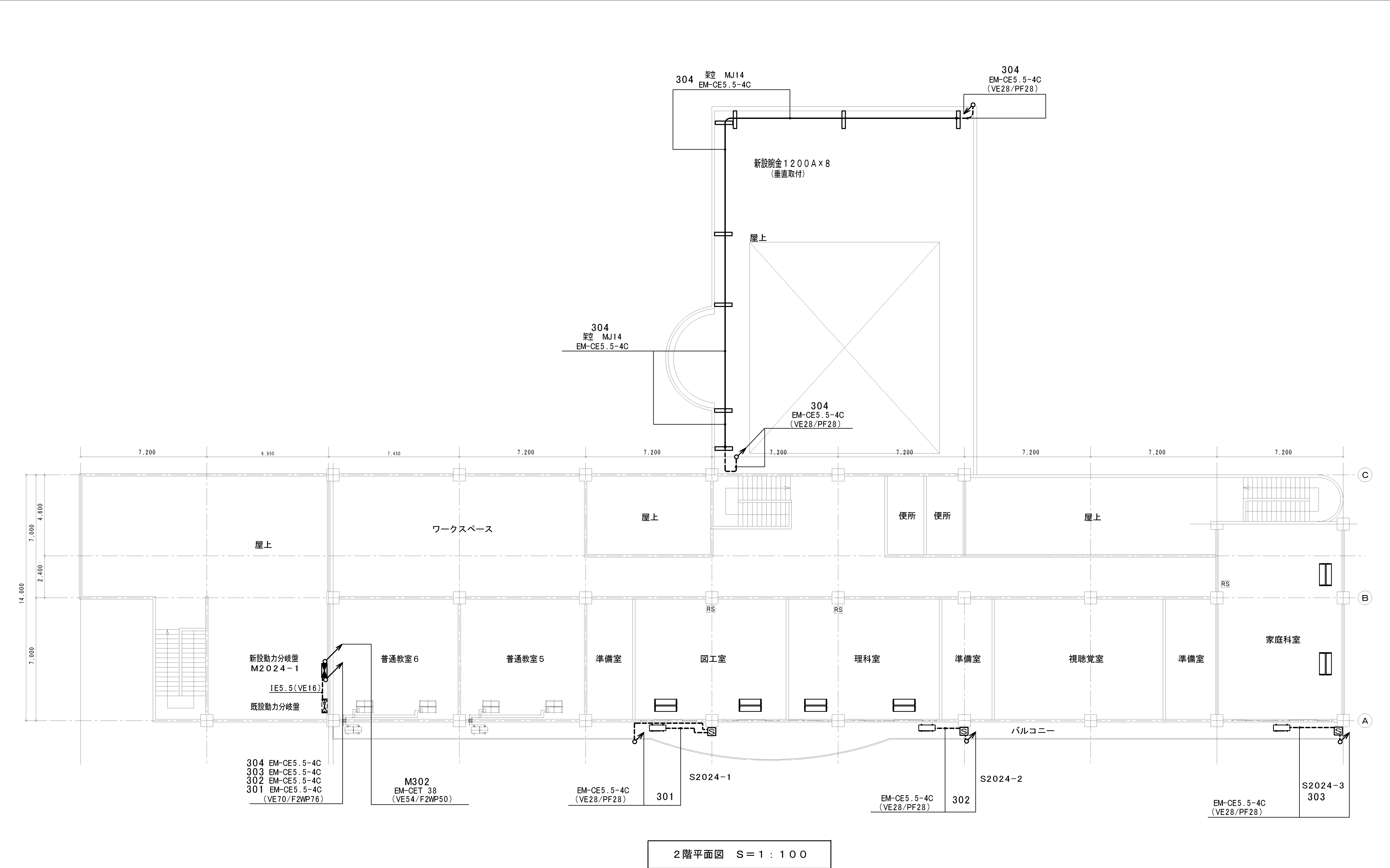
手元開閉器区分

空調室外機	手元開閉器
消費電力KW	遮断器容量
三相3線	200V
ダイキン相当	ELCB3P
KW	
6.81	40A
4.77	30A
3.72	30A
2.9	30A
2.37	15A
2.0	15A
注記：遮断器容量はメーカー毎の仕様書による事とする。	



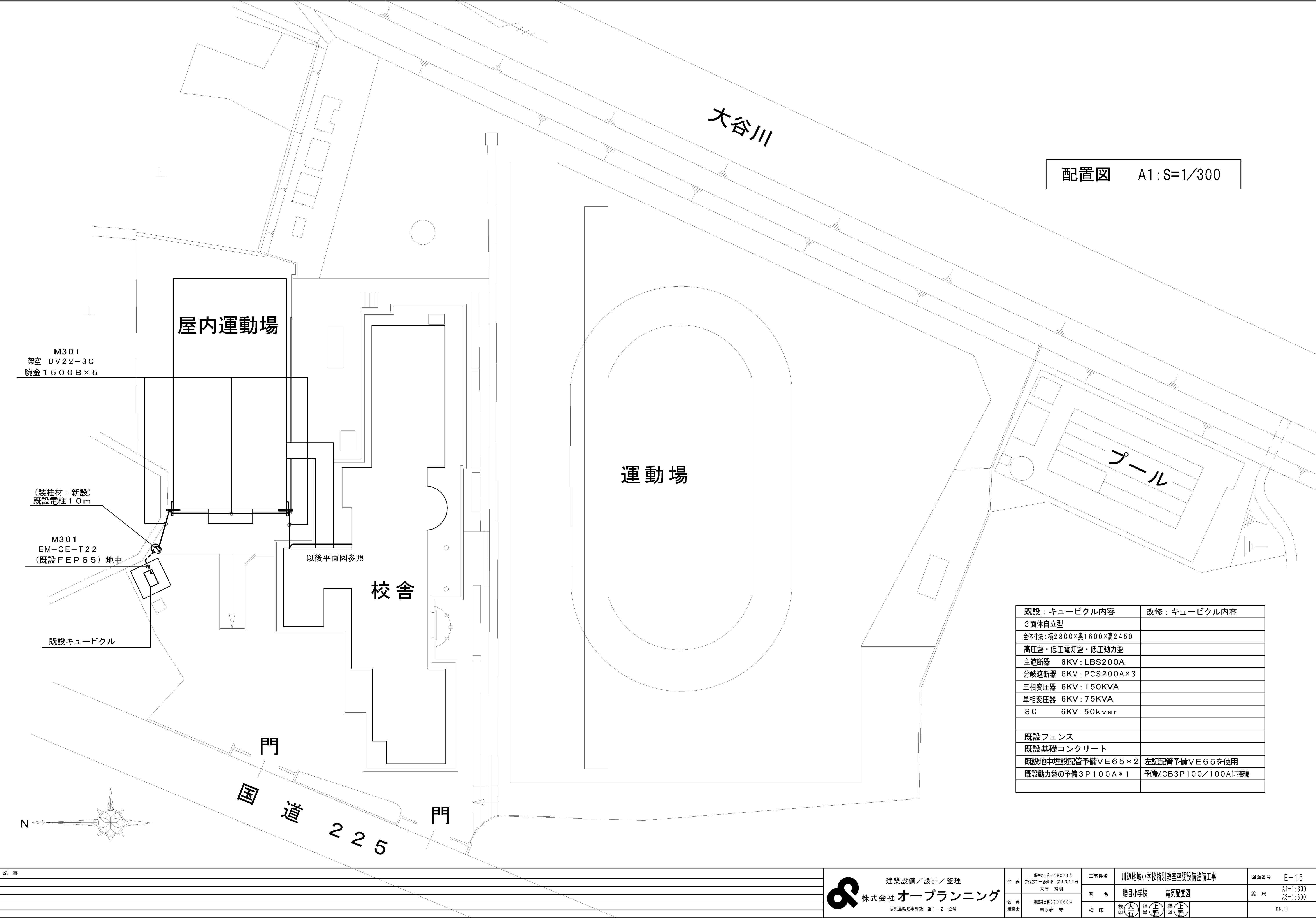


記 事	<div><div></div><div>建築設備／設計／監理</div><div>株式会社 オープランニング</div><div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div></div>	代 表 一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工 事 件 名	川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事	図面番号	E-12
			園 名	高田小学校 電気1階平面図	縮 尺	A1-1:100 A3-1:200
			校 印	校印 大石 担当 上野 製図 上野		
					尺 1:1	





2階平面図 S = 1 : 100

記 事	<div>建築設備／設計／監理</div> <div> 株式会社 オープランニング</div> <div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div>			代 表 一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工 事 種 名 川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事	図 面 番 号 E-13
				管 理 一級建築士第379060号 田原 春 守	図 名 高田小学校 電気2階平面図	縮 尺 A1-1:100 A3-1:200
				検 印 大石 秀樹	担 当 上野 豊	製 図 上野 豊
				検 印	担 当	製 図
						RS.11



[illegible]

凡例：明記無きは下記による。

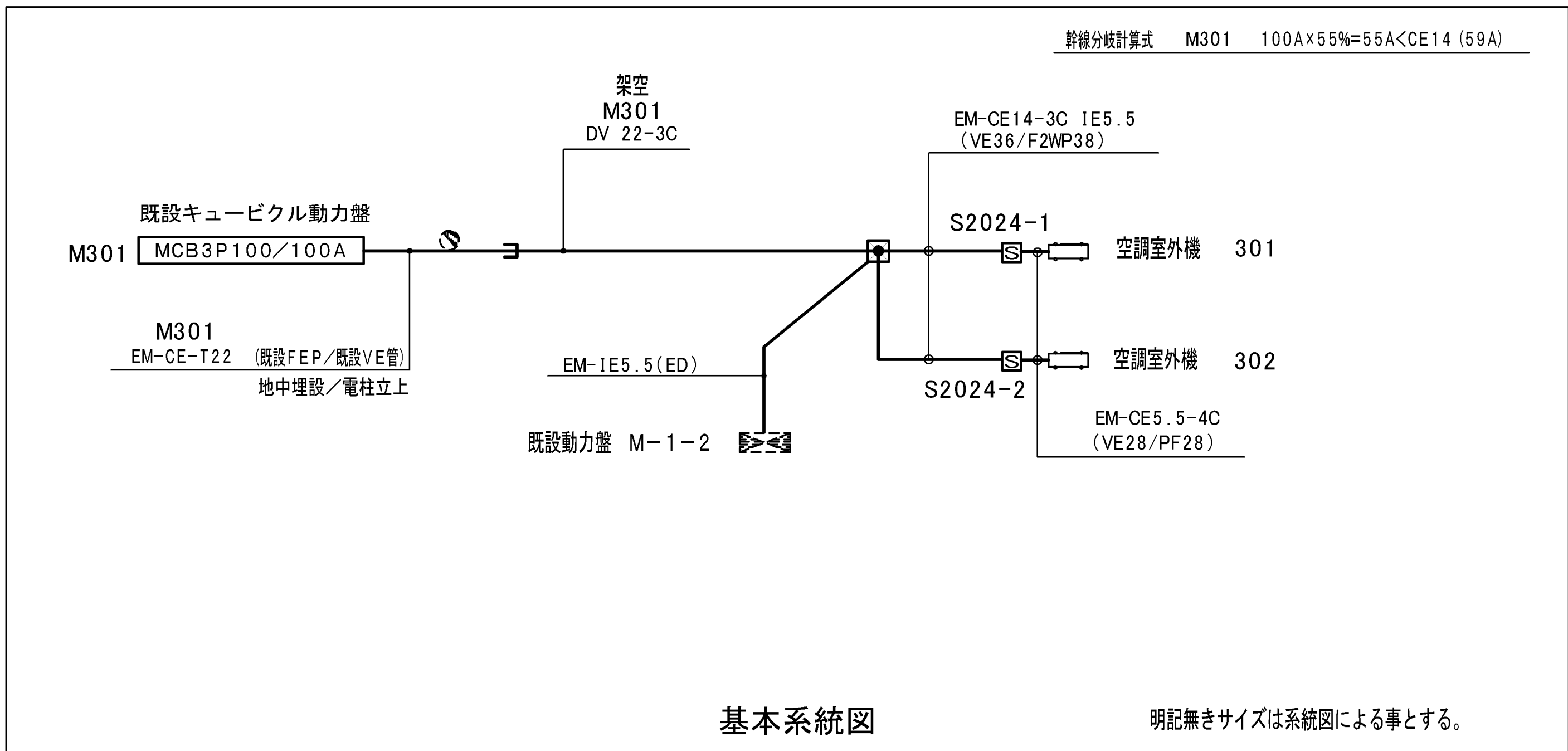
記 号	名 称	仕 様
	コンクリート電柱（装柱材共）	
	引込開閉器盤	
	動力盤	
	手元開閉器盤	S2024-n
	ブルボックス	
	接地D種	接地表示板取付
	コンクリート壁貫通及び補修	
	空調室外機（機械設備）	
-----	露出配管配線	
=====	架空 配線	
=====	隠べい配線	
-----	地中埋設 配管配線	
-----	土間配管配線（既設配管流用）	
MJ	メッセンジャーワイヤー（溶融亜鉛めっき処理）	
 VE222	ブルボックス	VE・WP・200×200×200
 VE255	ブルボックス	VE・WP・250×250×250
 VE333	ブルボックス	VE・WP・300×300×300
 SS222	ブルボックス	SUS・WP・200×200×200
 SS255	ブルボックス	SUS・WP・250×250×250
 SS333	ブルボックス	SUS・WP・300×300×300
屋外取付金物類（アンカーボルト含む）	全てSUS又は亜鉛ドブ漬け	


電力引込区分

引込区分	改修前	改修後		
内容	既設	既設	撤去	切替
低圧動力				
低圧電灯				
高圧電力	●	●		
●印に適用する				

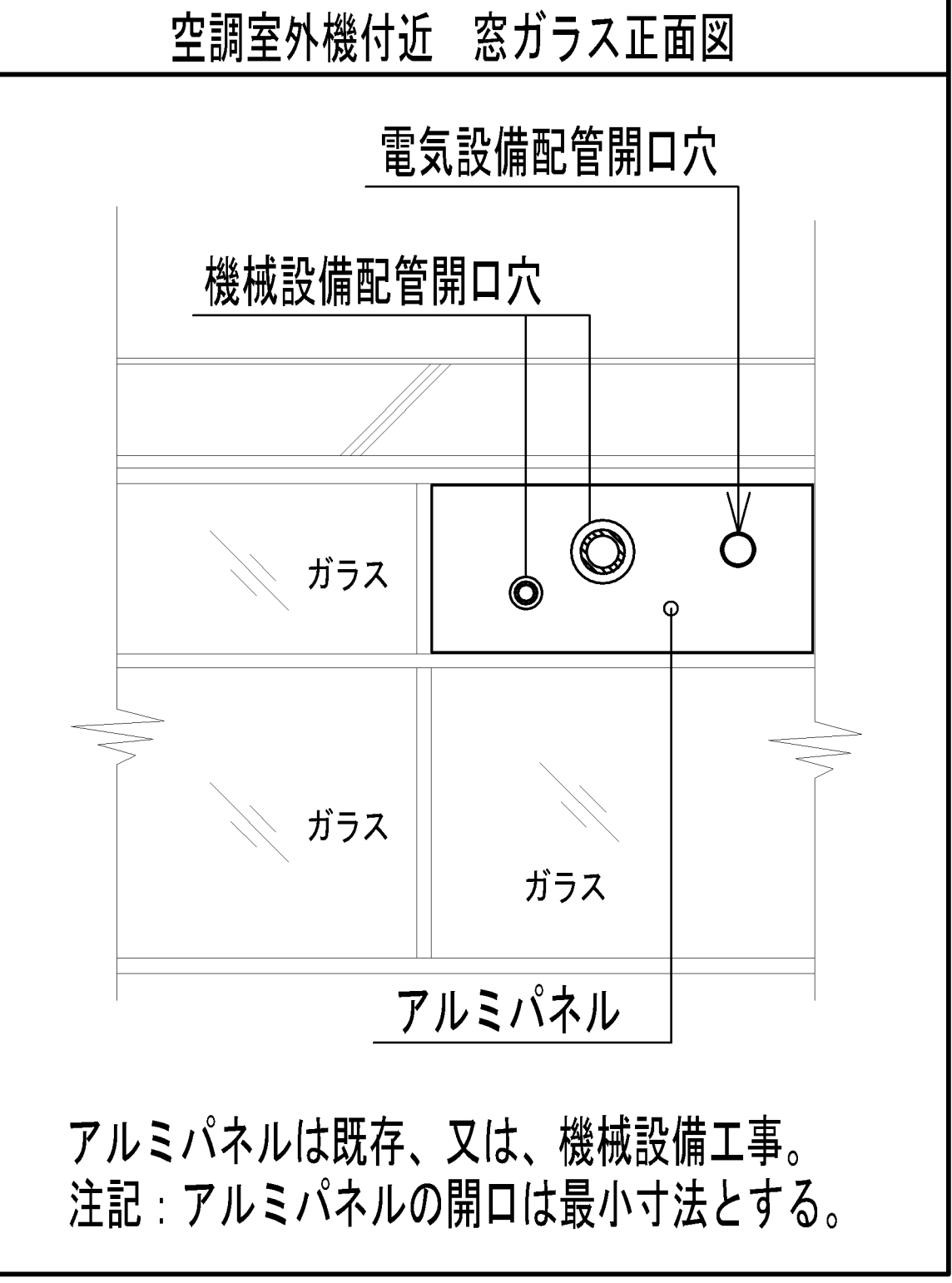
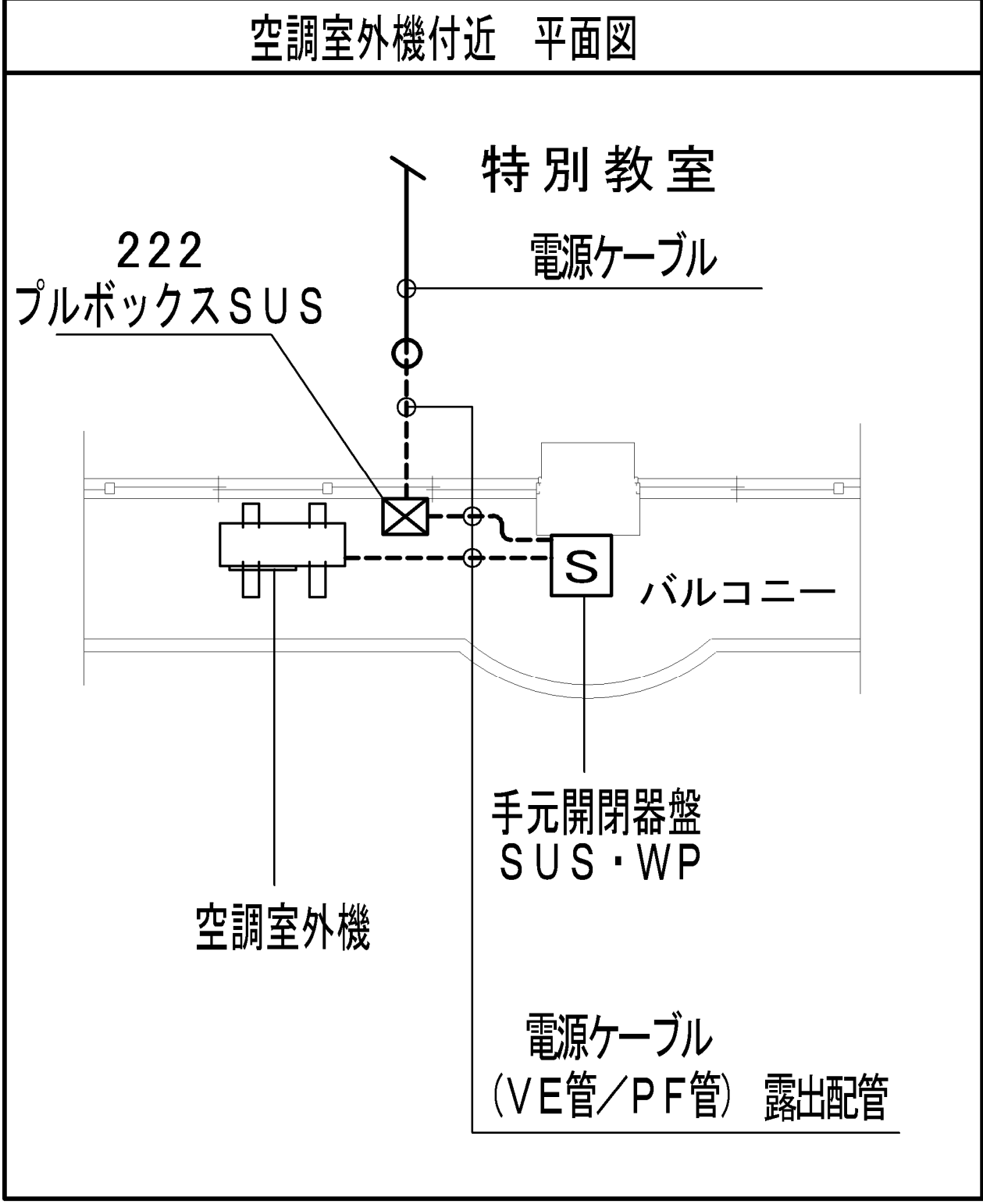
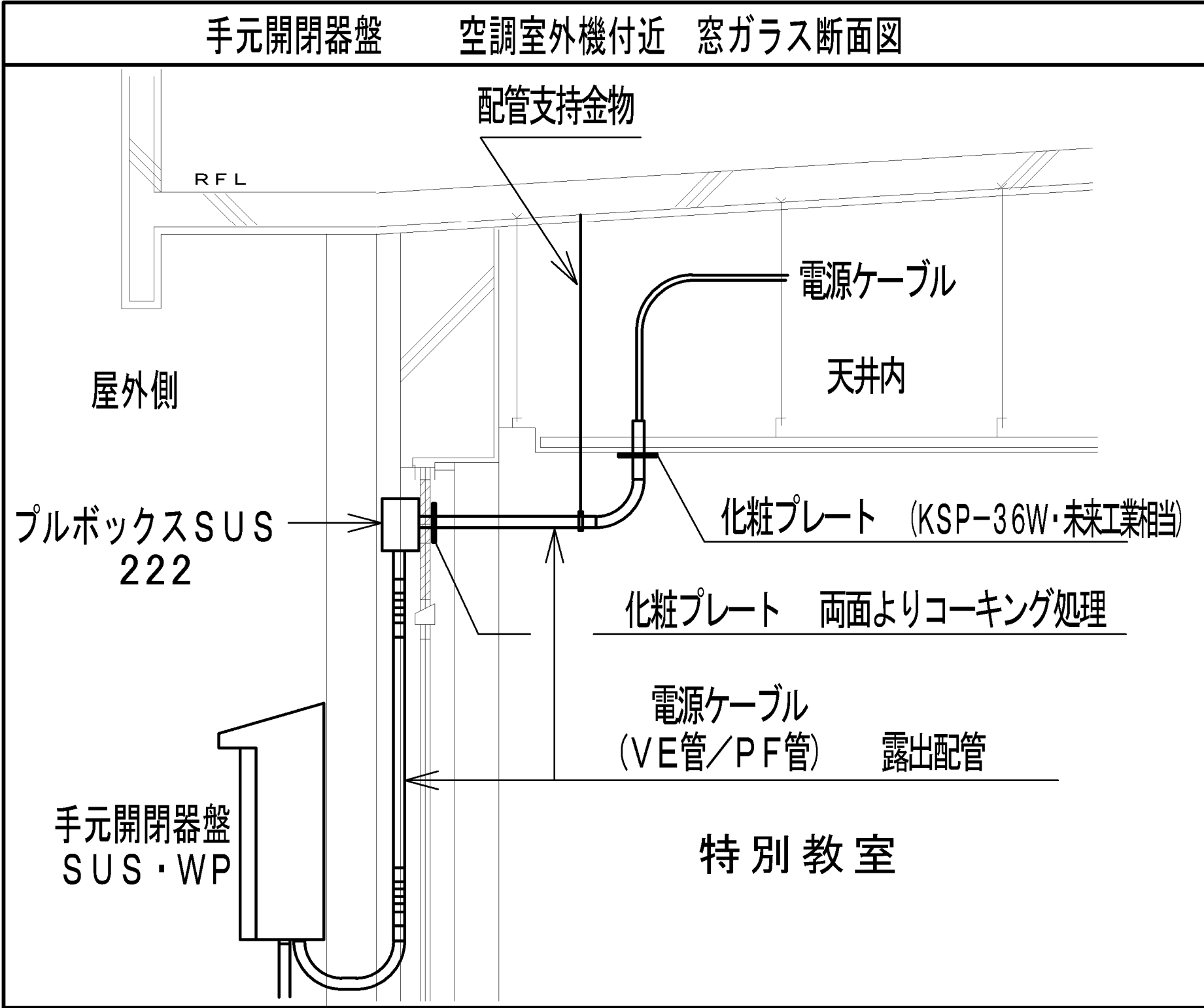
手元開閉器区分

空調室外機	手元開閉器
消費電力KW	遮断器容量
三相３線	２００Ｖ
ダイキン相当	ELCB3P
KW	
６．８１	４０Ａ
４．７７	３０Ａ
３．７２	３０Ａ
２．９	３０Ａ
２．３７	１５Ａ
２．０	１５Ａ
注記：遮断器容量はメーカー毎の仕様書による事とする。	

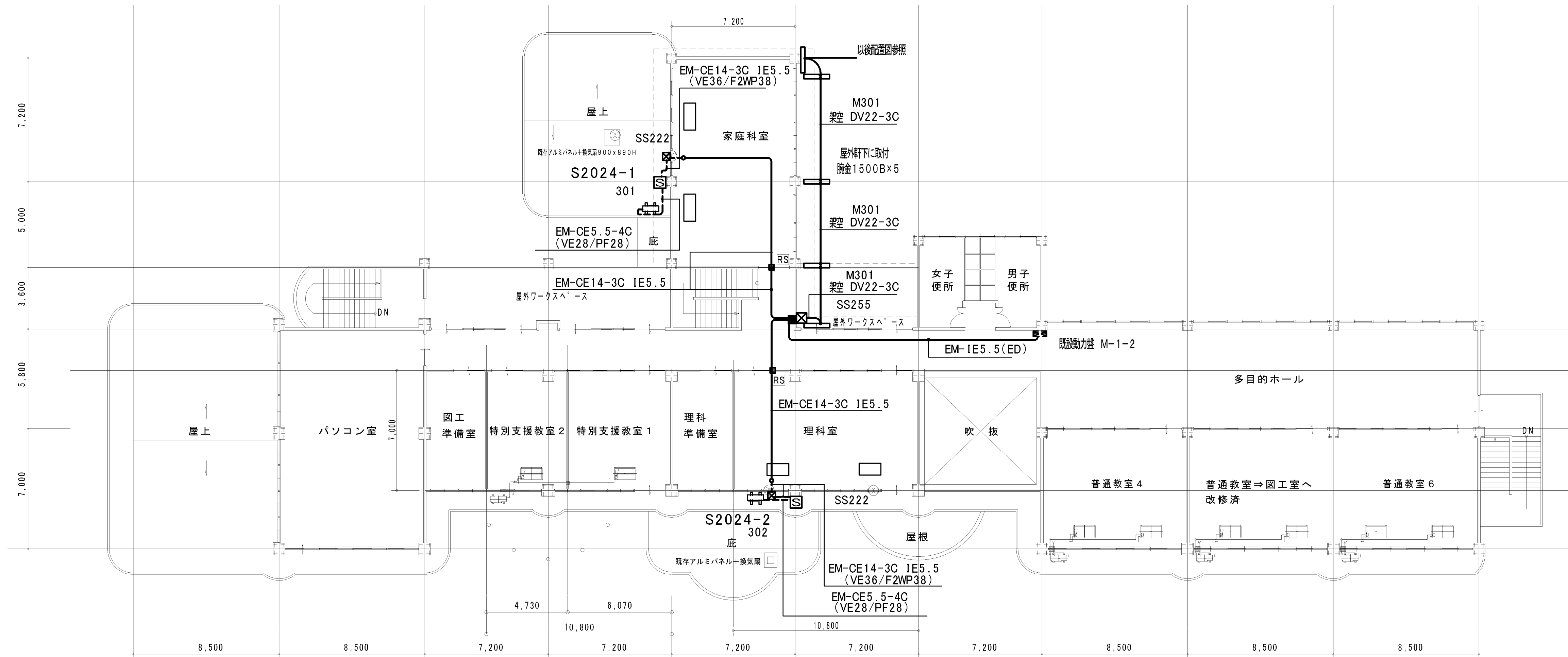
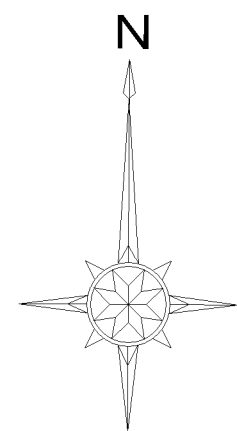


記 事	<div><div></div><div>建築設備／設計／監理</div><div>株式会社 オープランニング</div><div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div></div>	代 表	一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工 事 件 名	川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事	図面番号	E-16	
			管 理 建築士	一級建築士第379060号 田原 守	図 名	膳日小学校 動力盤結線図・凡例・系統図・区分表	縮 尺	No Scale
				検 印	検 印	担 当	監 図	R6.11
				大石	上野	上野		

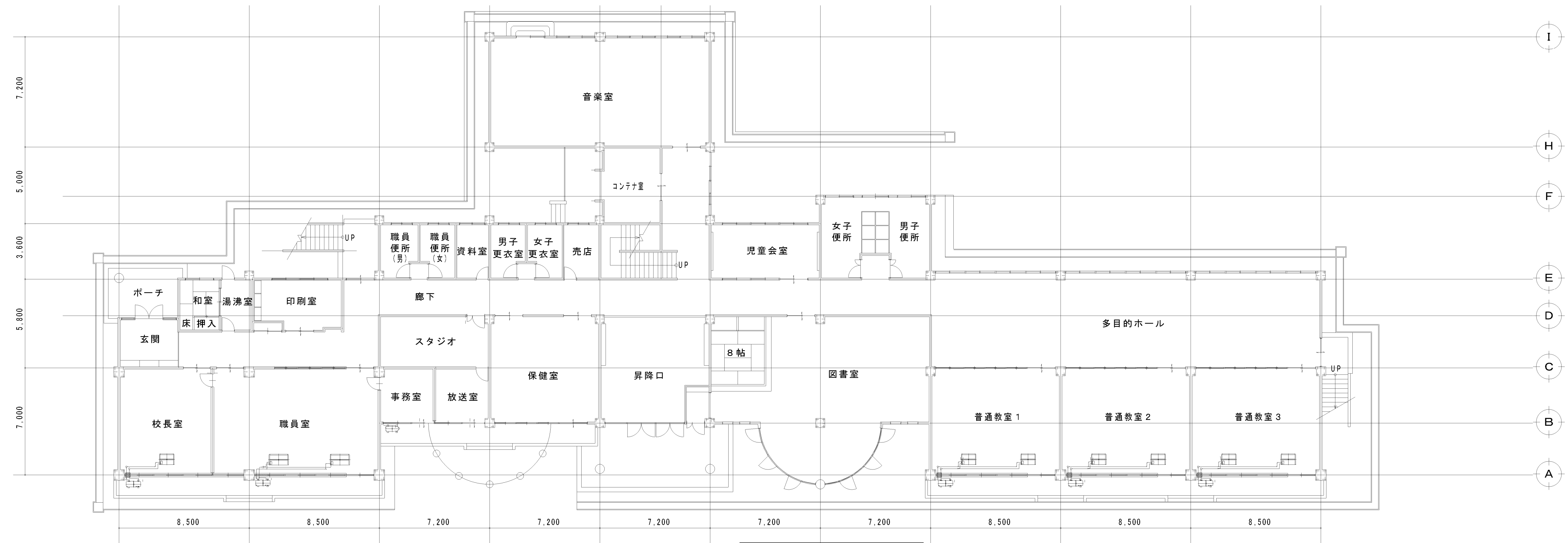
施工要領参考図：共通図



アルミパネルは既存、又は、機械設備工事。
注記：アルミパネルの開口は最小寸法とする。

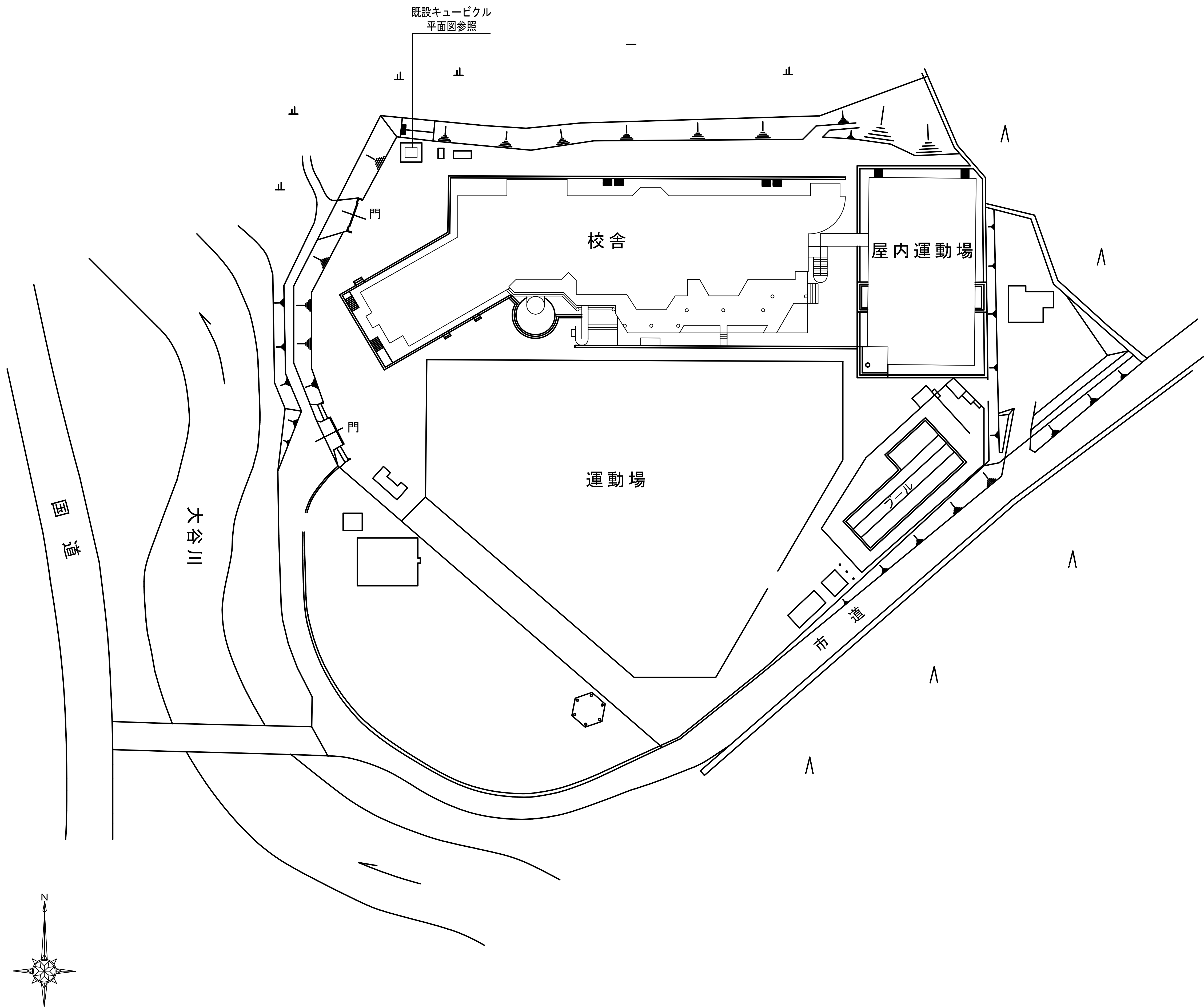


2階平面図 1/150







1階平面図 1/150

記 事	<div><div></div><div>建築設備／設計／監理</div><div>株式会社 オープランニング</div><div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div></div>		代 表 一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工 事 件 名 川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事	図 面 番 号 E-18
			管 理 一級建築士第379060号 田原 春 守	図 名 電気平面図	縮 尺 A1-1:150 A3-1:300
			核 印 大石 秀樹	担 当 上野 悠	製 図 上野 悠
					RS.11



大丸小学校

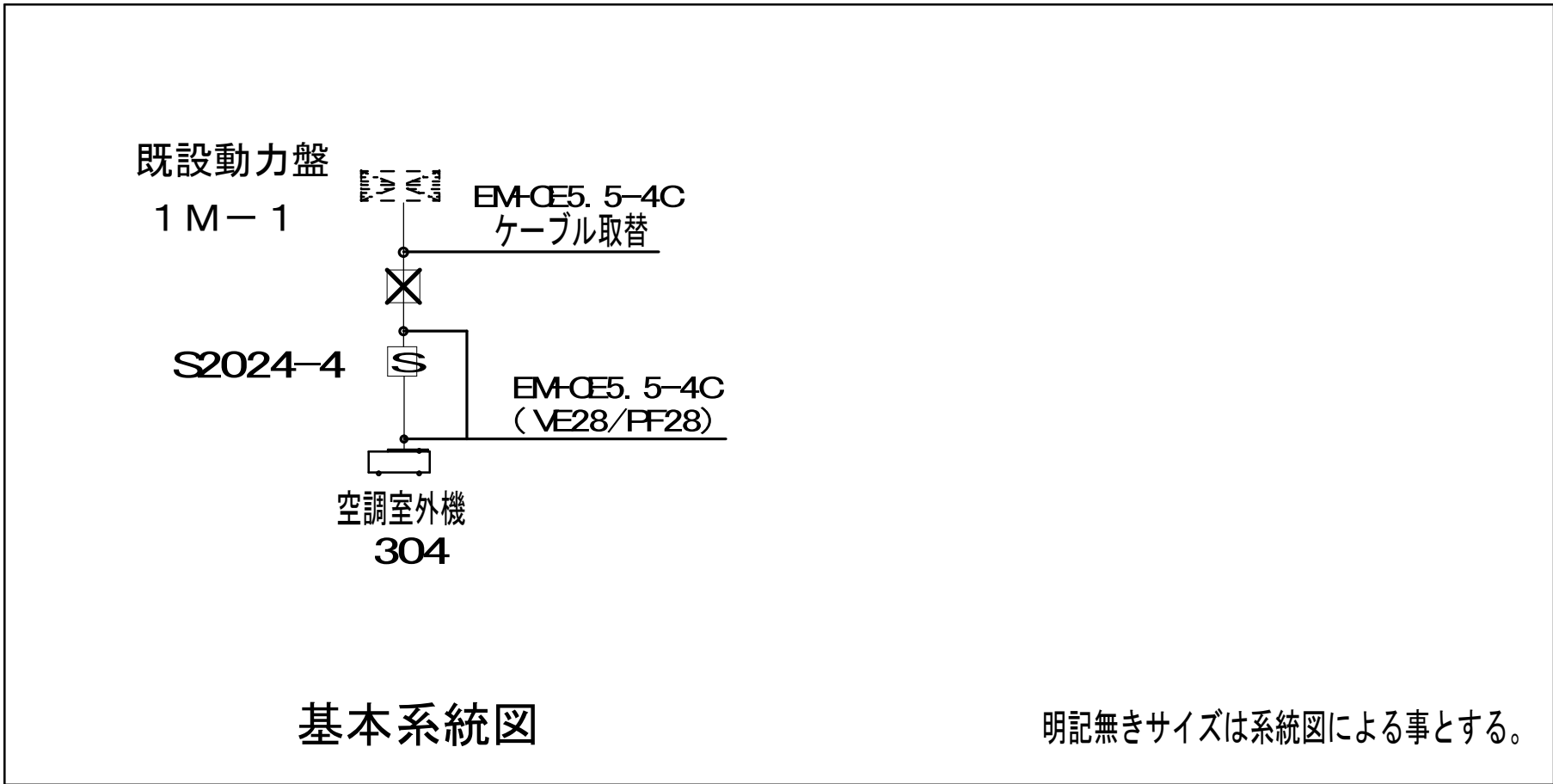
記 事	<div>建築設備／設計／監理 株式会社 オープランニング 鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div>			代表	一般建築士第349074号 設備設計一般建築士第4341号 大石 秀樹		工事件名	川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事		図面番号	E-19	
				管理 建築士	一般建築士第379060号 田原 春 守	図 名	大丸小学校 電気配置図		縮 尺	A1-1:400 A3-1:800		
						検 印	検印 	担 当	担当 	製 図	製図 	F8.11

[illegible]

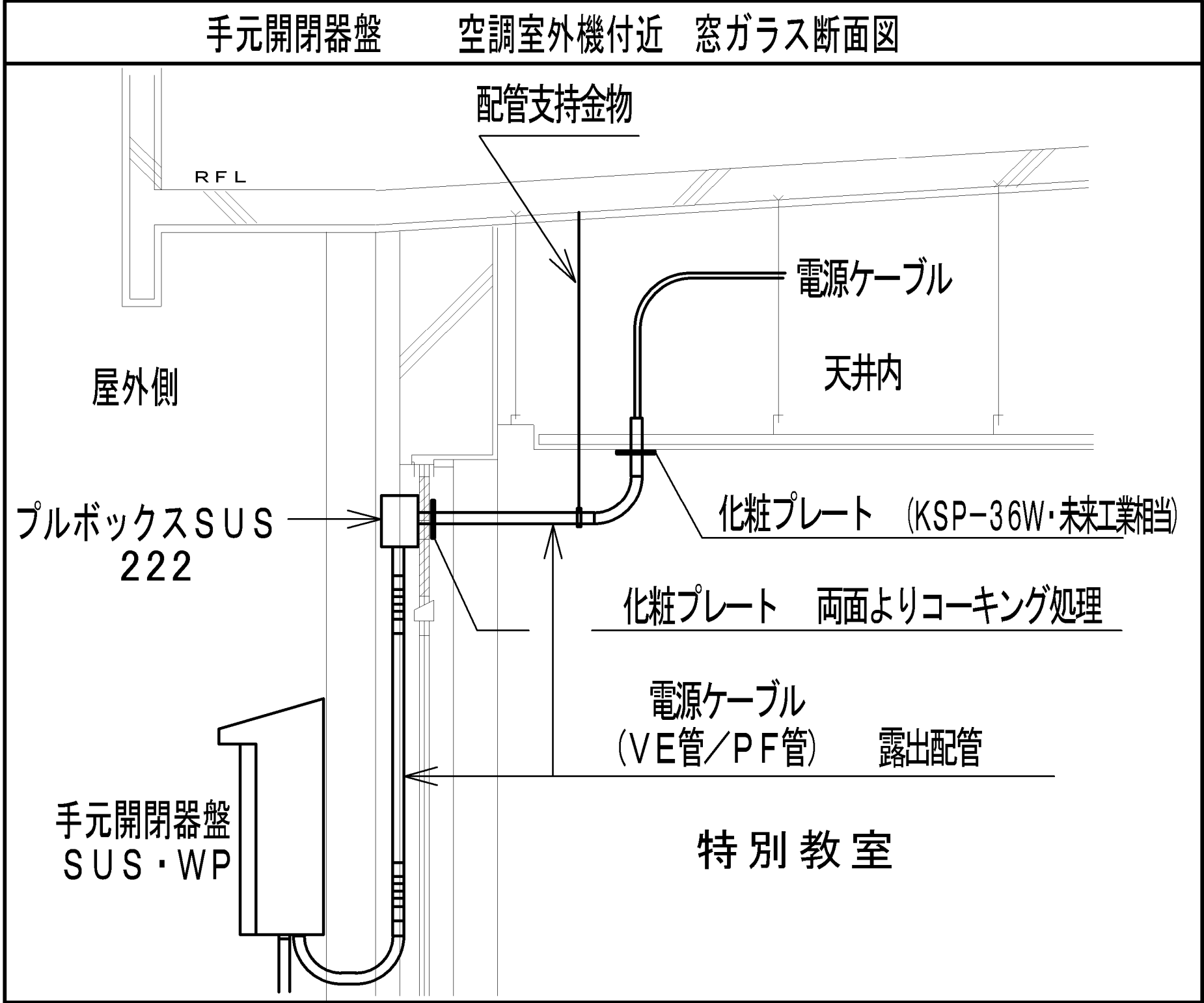
凡例：明記無きは下記による。		
記 号	名 称 仕 様	
	コンクリート電柱（装柱材共）	
	引込開閉器盤	
	動力盤	
	手元開閉器盤 S2024-n	
	プルボックス	
	接地D種 接地表示板取付	
	コンクリート壁貫通及び補修	
	ビニル被覆防水金属製可とう電線管	
	空調室外機（機械設備）	
-----	露出配管配線	
=====	架空 配線	
=====	隠ぺい配線	
=====	地中埋設 配管配線	
-----	土間配管配線（既設配管流用）	
MJ	メッセンジャーワイヤー（溶融亜鉛めっき処理）	
 VE222	プルボックス	VE・WP・200×200×200
 VE255	プルボックス	VE・WP・250×250×250
 VE333	プルボックス	VE・WP・300×300×300
 SS222	プルボックス	SUS・WP・200×200×200
 SS333	プルボックス	SUS・WP・300×300×300
 SS444	プルボックス	SUS・WP・400×400×400
屋外取付金物類（アンカーボルト含む）		全てSUS又は亜鉛ドブ漬け

電力引込区分				
引込区分	改修前	改修後		
内容	既設	既設	撤去	切替
低圧動力				
低圧電灯				
高圧電力	●	●		
●印に適用する				

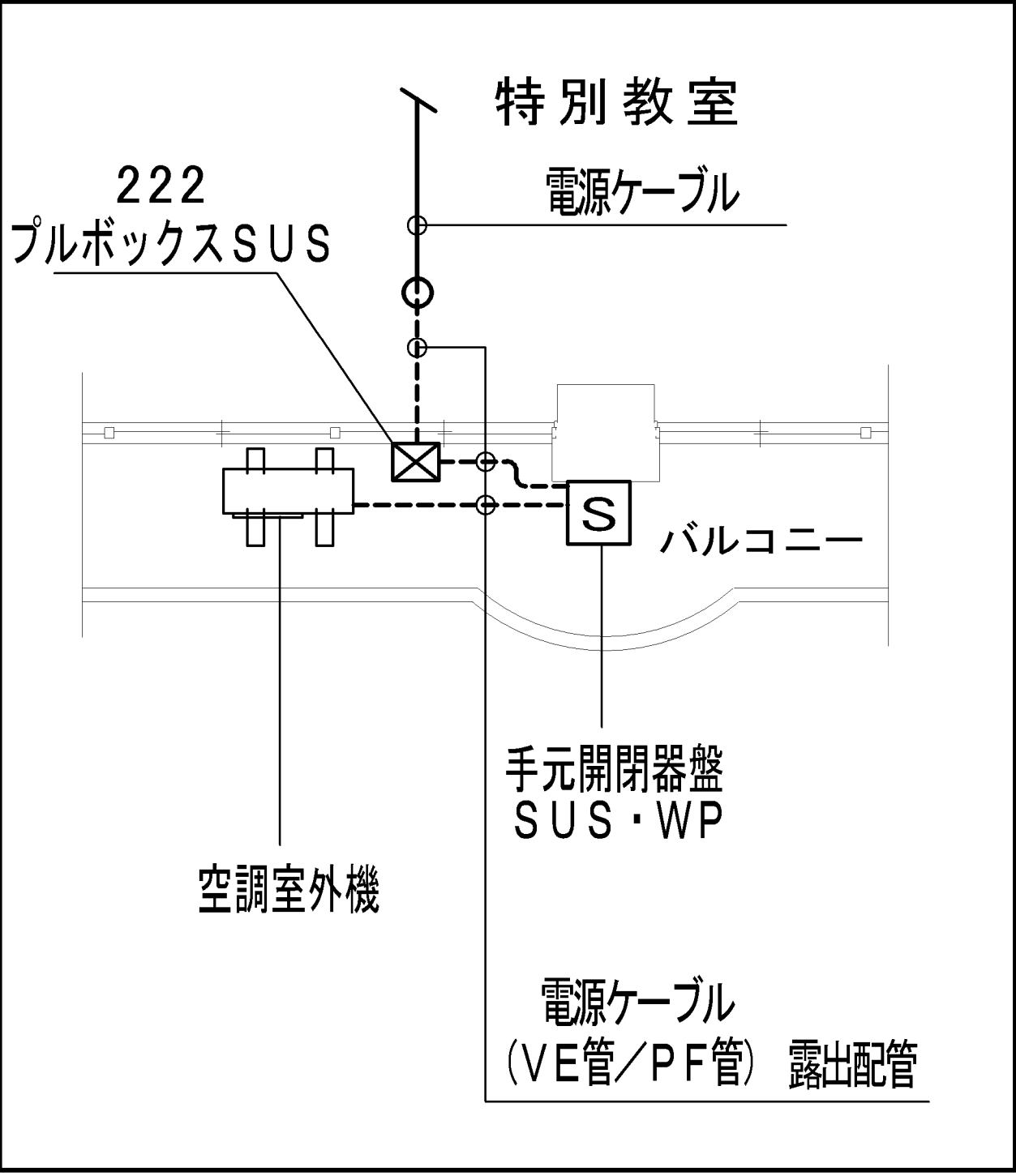
空調室外機	手元開閉器
消費電力KW	遮断器容量
三相3線	200V
ダイキン相当	ELOC3P
KW	
6.81	40A
4.77	30A
3.72	30A
2.9	30A
2.37	15A
2.0	15A
注記：遮断器容量はメーカー毎の	
仕様書による事とする。	



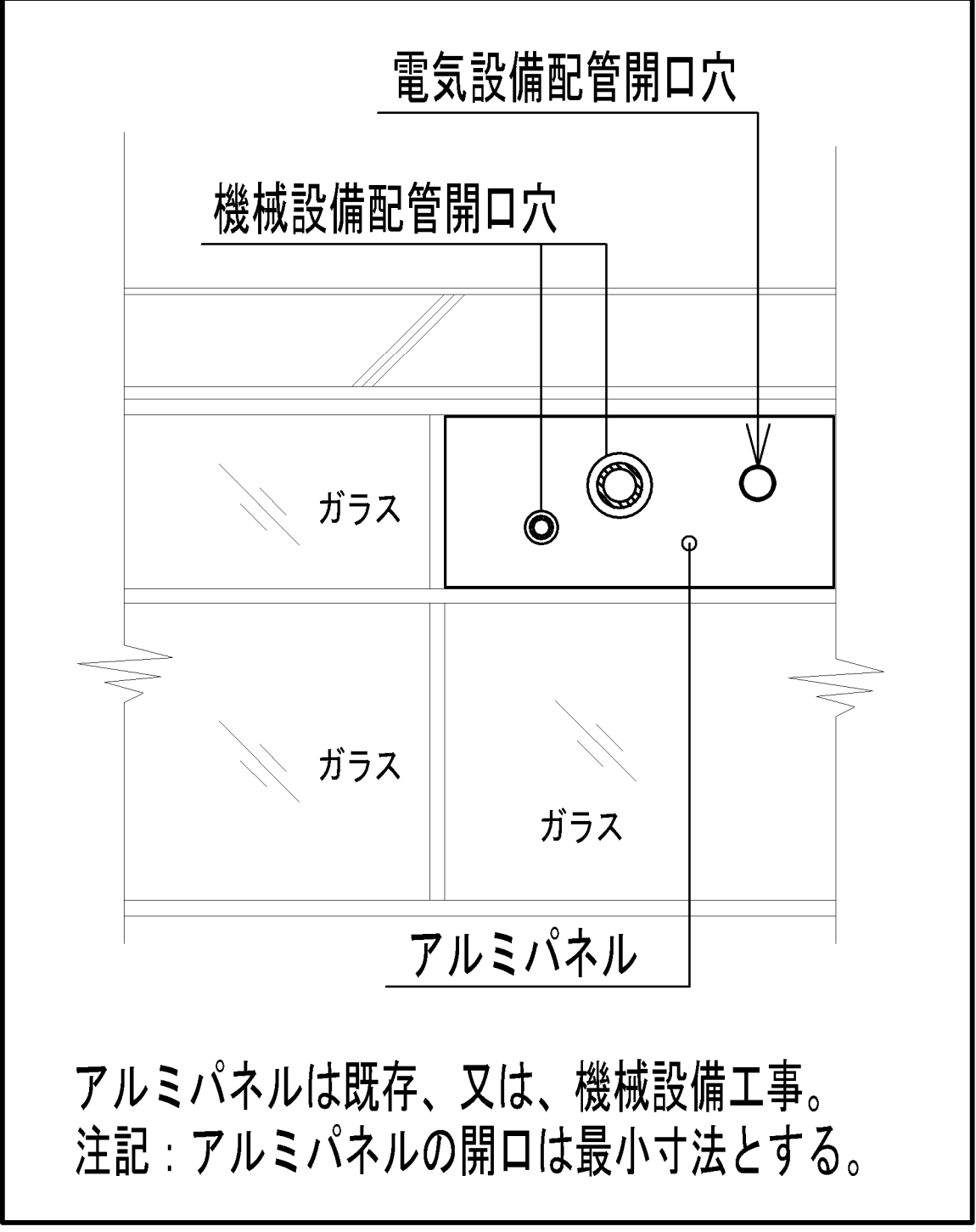
施工要領参考図：共通図



空調室外機付近 平面図



空調室外機付近 窓ガラス正面図



記事



建築設備／設計／監理
株式会社 オープランニング
鹿児島県知事登録 第1-2-2号

代表
一級建築士第349074号
設備設計一級建築士第4341号
大石 秀樹

管理
一級建築士第379060号
田原 春 守

工事種名
川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事

図名
大丸小学校 電気設備施工要領共通図

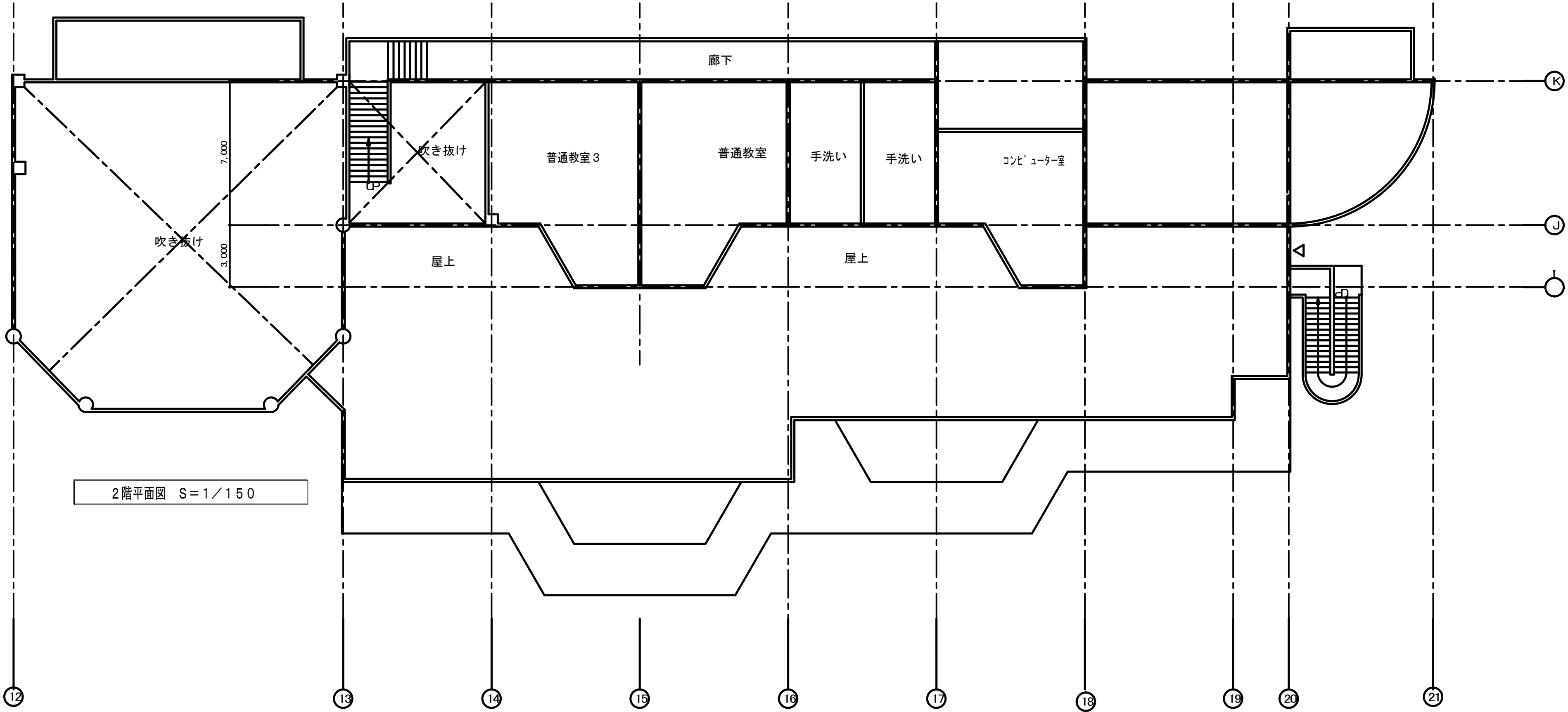
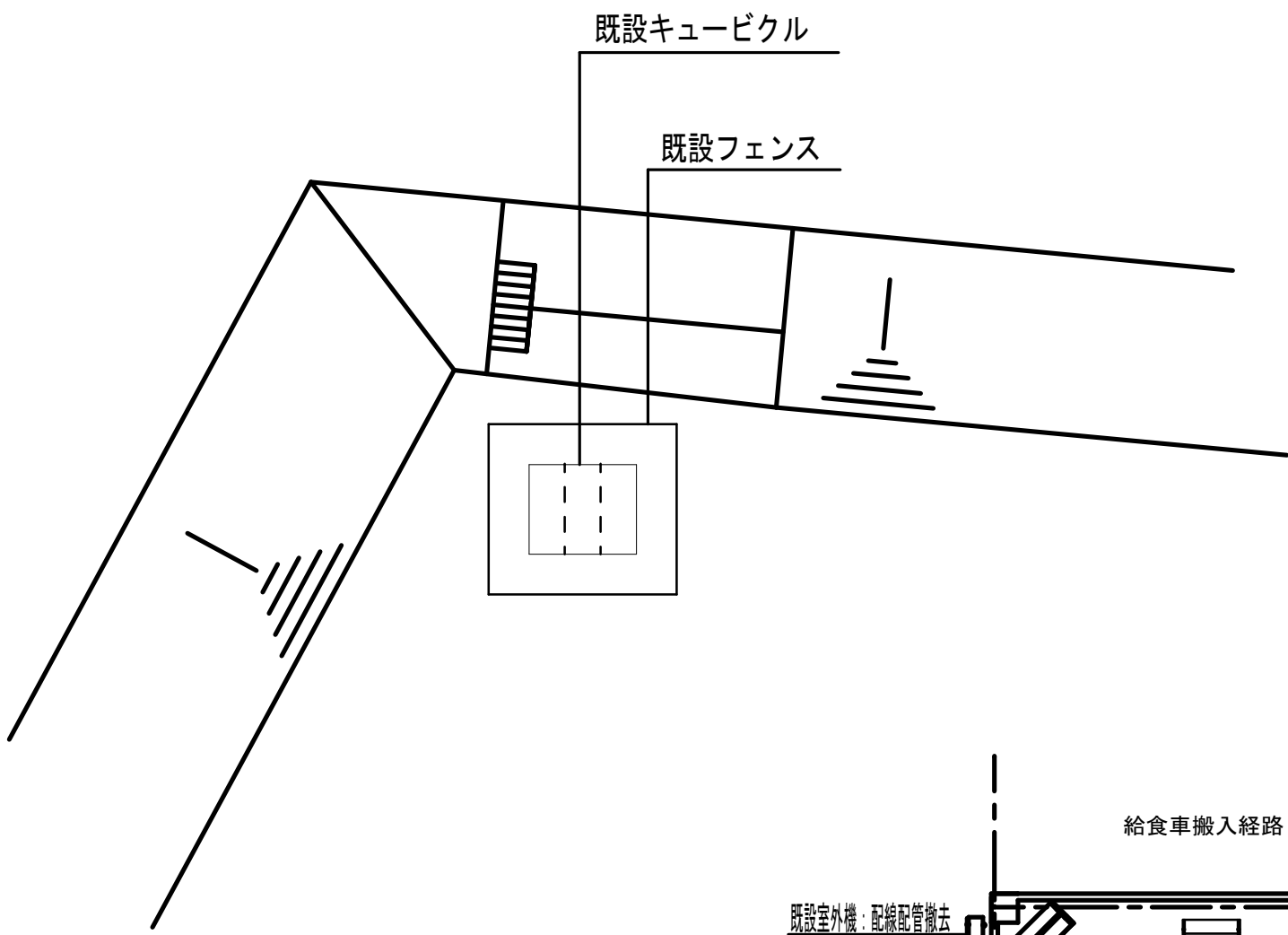
検印
大石 秀樹
田原 春 守

図面番号
E-21

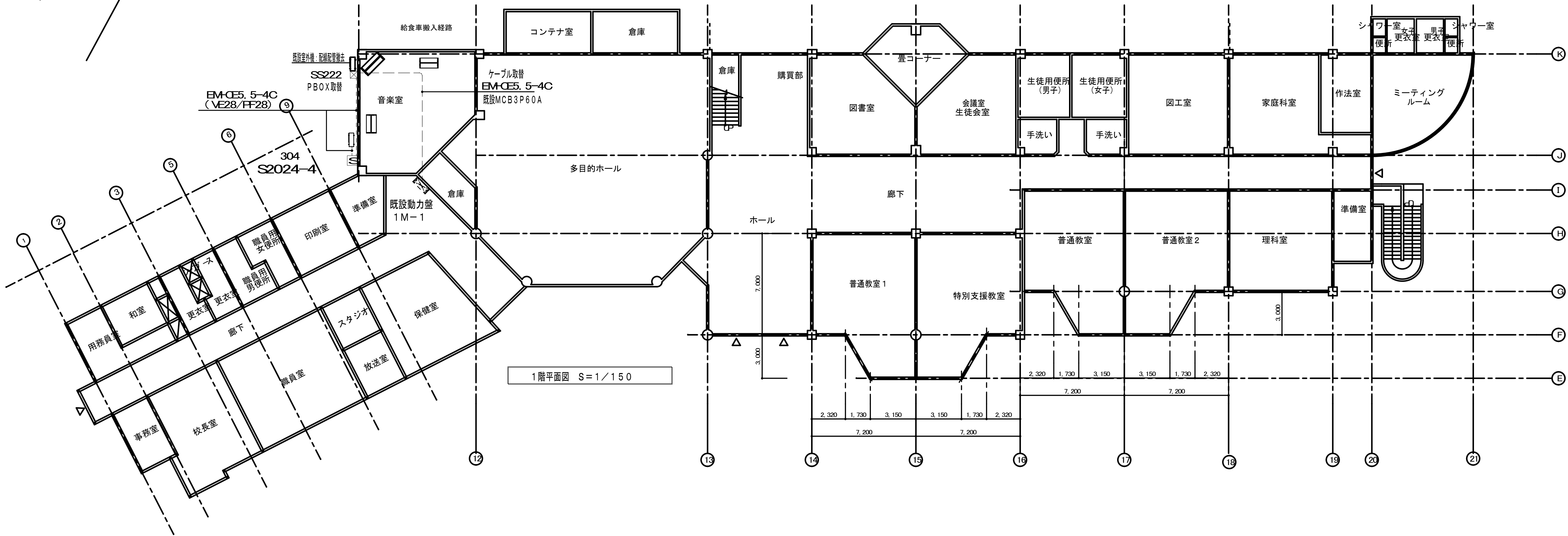
縮尺
No Scale

RS.11

既設：キュービクル内容	改修：キュービクル内容
3面体自立型	
全体寸法：横2400×奥2000×高2350	
高圧盤・低圧電灯盤・低圧動力盤	低圧動力盤の下記内容を取替
主遮断器 6KV: VCB400A	
分岐遮断器 6KV: LBS200A×2	A：メーター取替
三相変圧器 6KV: 50KVA	同上VS類：(切替SW) 取替
単相変圧器 6KV: 100KVA	予備MCB3P100/100A下記に取替
SC 6KV: 18kvar	MCB3P 50/40Aへ取替
既設フェンス	
既設基礎コンクリート	
既設地中埋設配管予備なし	
既設動力盤のAメーターVS故障	
既設動力盤の予備3P100A劣化	



2階平面図 S=1/150



1階平面図 S=1/150

大丸小学校

記事	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div>建築設備／設計／監理</div><div>株式会社 オープランニング</div><div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div></div></div></div></div></div>	代表 一般建築士第349074号 設備設計一般建築士第4341号 大石 秀樹 管理 一般建築士第379060号 田原 孝 守	工事件名 川辺地域小学校特別教室空調設備整備工事 図名 大丸小学校 電気平面図 検印 検出 担当 製図 印刷	図面番号 E-22 縮尺 A1-1:150 A3-1:300 R6.11

建物概要	構造	●RC ○SRC ○S ○W			
	階	地上 2 階			
	延べ面積	㎡ (対家面積		㎡)	
	建物用途	建築基準法表第一 耐震安全性の分類 ○特定の施設 ○一般の施設 地震係数 ●1.0 ○()			
工事	給排水衛生工事 施設				
	○衛生器具工事		○消火工事		
	○給水工事		●空気調和工事		
	○排水工事 (含通気)		○ガス工事		
	○給湯工事		○浄化槽工事		
			○厨房器具工事		
			○換気工事		

1. 本工事は、本特記仕様によるほか、国土交通省大臣官庁官庁官庁監督の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）(令和４年)及びに同上監修公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）(令和４年版）（以下標準仕様書という）、国土交通省国土技術政策総合研究所監修建築設備耐震設計・施工指針（２０１４年版）による。
2. 本工事の使用資材の品質、規格、種別等は、本特記による。
3. 本工事に必要な工事費用、水及び諸手続等の費用はすべて受注者の負担とする。
4. 施工計画には、着工に先だち、監督職員に提出する。
5. 本書面に下記当該職別技能士を適用とする。（但し●印のみ）
○配管技能士 ○ダクト・気密技能士 ○熱絶縁関係施工技能士 ○冷凍、空調調和機器施工技能士〔標P-16.1.5.2〕
6. 本工事で、特記事項に定める「立会検査を要する施工工程」に達するときは、事前に監督員に連絡して立会検査もしくは指示に従うこと。（標-P17.1.5.6）
7. 設計図面に明記なくとも関係法令上または機器の施工上当然必要となるものについては、原則として請負金の範囲内で実施する。
8. 発生材の処理等については、図示による。〔標-P10.1.9.3〕
9. 本工事の施工に伴う既設建築物の破損箇所は従来ならぬ回復する。
10. 前払金について

Ⅱ 特記事項	
特殊な材料	標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督職員の承認を要すること。 なお、特殊な材料による施工は当該製品の指定工場による。
建設工事との取合	建設工事と建設工事の取合等がある場合の施工の範囲は、設計図書等に明記しない場合は、監督職員の指示によること。
関連工事等の調整	関連工事等については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進捗を図るものとす。 疑問が生じたら監督職員の指示によること。
施工過程における調整	工事現場進捗の過程における調整については、地域振興局、支庁の建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けようとする。
完成図	発注図を施工現場と一致するように正をとり、下記製本およびCD-ROMを提出する。

	<p>【 標P-19.1.7.2 】 (●A-4版1部, ●A-3縮小版2部, ○A-1サイズ 部)</p>
6. 試験成績書	<p>都市ガスを設備、液化石油ガス設備は、ガス供給事業者の規定する気密試験成績書を2部提出する。異状は設備により、その他の試験成績書は監督員の指示による。</p> <p>【 標P-17.1.5.5 】 【 標P-18.1.7.1 】</p>
7. 申請書類	<p>本工事の施工に必要な官公署への申請書類は原本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と一併提出する。【 標P-5.1.1.3 】 【 標P-18.1.7.1 】</p>
8. 工事報告	<p>工事報告は、別に定める工事出来高報告書により毎月末日迄の月末高まで作成の20日までに監督員に提出する。(A-4版)</p>
9. 工事の記録等 (工事写真)	<p>(1) 監督職員の手指示した事項及び監督職員と協議した結果について、記録を整備する。 (2) 工事の施工に当たり、試験を行った場合は、直ちに記録を作成する。 (3) 次の(ア)から(エ)までのいずれかに該当する場合は、施工の記録、工事写真、見本を整備する。</p> <p>(ア) 設計図書に定められた施工の確認を行った場合 (イ) 工事の施工による趣旨である、後日の目視に検査が不可能又は容易でない部分の施工を行う場合 (ウ) 工程の施工を完了した場合 (エ) 重要な施工の証明を監督職員に指示された場合 (4) (1)から(3)までの記録について、監督職員から請求されたときは、提示しを要する。 (5) 工事写真は原則としてデジタル写真とし、ファイル形式及び画素数については「鹿児島県電子納品ガイドライン(案)」に準ずること。</p>
10. 施工見本	<p>管の接合、ダクトの接続、保温については、原則として見本を整備すること。その他監督職員との協議により必要と認められたもの等については、監督職員の指示により見本を整備すること。</p>
11. 工事打合簿	<p>工事打合簿については、電子メールにて取り交わすことが出来る。</p>

項 目	特 記 事 項
① 共通事項	
1. 環境への配慮	国等への環境物品等の調達を推進する法律（グリーン購入法）に定めるところにより、環境負荷を低減できる機器及び材料を優先的に調達する。 【 標-111.4.1 】
2. 機 材	<p>使用機械材は、原則として、JIS・JWWA等標準仕様書に定められた規格品とする。</p> <p>使用機材は、国土交通大臣官庁倉庫部標準仕様「建築材料、設備機材等品目性能評価事業設備機材等評価品目」記載品、または同等品以上のものである。 【 標-114.4.2 】</p>
3. 化学物質を放散する建築材料等	塗料、接着剤、保温材等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等発癌性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。 【 監-66.1.4.1 】
4. 防火区画貫通部	<p>区画貫通の管類は、建築基準法に従い施工する。なお、その際の充填材はモルタルまたはロックウールとし、保温材はロックウール等）の使用も可。 【 標-80.2.8.1, 監-286.2.8.1 】</p> <p>国土交通大臣認定防火（防火バスター）の使用も可。</p>
5. 配管用のスリーブ	<p>配管管等と水密を要する部分には付設鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、ビニル管とする。</p> <p>上記以外は原則として亜鉛板鍍銀とす。柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要かつ、スリーブ径が200mm以上の部分は、鋳鉄板製とす。 【 標-52.2.2.7, 監-286.2.8.1 】</p>
6. 専用工具の使用	<p>塩ビパイプ鋼管、ポリ粉体鋼管及び外周面複層鋼管は、帯のこ盤又は丸のこ機などで切断し、パイプカッターによる切断は禁ず。ねじり機、自動切り上げ装置とす。</p> <p>ねじり機に際しては、ねじり機を使用し正確（JISねじ）に切られているか確認す。</p> <p>（施工手順を撮影の上、工程写真に示す。） 【 標-64.2.5.1 】</p>
7. ねじ接合剤	<p>給水用、給排水及び冷温水用の防食用ペースト塗料は、JWWA K 161に規定する用途用塗料とす。 【 標-52.2.2.28 】</p>

9.	支持金物類	屋上、ビッド内及び多湿箇所の支持金物類はステンレス鋼製とする。	
9.	外面被覆鋼管の傷部修繕	外面被覆を傷む外面被覆鋼管(内面被覆被覆部)については、継手スリーブ端及びチャック・パインテープの傷部分にプラスチックテープを巻くこと。(露出部分は原則不要)〔 監P-234 2.5.4〕	
9.	鋼管の傷部補修	鋼管(内面被覆鋼管)については、ねじ込んだ後、残りねじ部及びチャック・パインテープの傷部分に、十分さび止めペイントを塗布すること。〔 監P-219 2.5.2〕	
9.	排水引管への接続	原則としてY管接続とする。(ドリル配管含む)	
9.	建物導入部の配管	管のたわみ性を利用する方法(スリクション)で施工する。エルボ×5〔 図P-110〕	
9.	標準設	ビル管(一般450H・車路600H) 鋼管(一般300H・車路600H)〔 標P-79.7.2, 監P-283 2.7.2〕	
9.	土中埋設鋼管類	外面を被覆していない鋼管は、プライマーを塗布のうえ、防食テープ1/2重ね10巻をさらにプラスチックテープ(JISZ 1901に準じたもの、厚さ0.4mm)で1/2重ね10巻を食う。	
9.	コブス、コート	また、継手等の部分は、ヘラロウ系系の充填材を詰め、表面を平滑にしたらうて防食シートで包みプラスチックテープ1/2重ね10巻を食うとする。	
9.	継手及び排水用鋼管などの項に準じて	(施工手順を撮影の上、工程写真に表す。)	〔 標P-79.7.3〕
9.	コンクリート埋設管・鋼管	プラスチックテープ(JISZ 1901に準じたもの、厚さ0.4mm)で1/2重ね10巻を行う。	〔 標P-79.7.3〕
9.	埋設管表示テープ	下記の埋設管には、管頂部全長にわたって、粘着材付表示テープを貼り付ける。 ○直結給水管(上水道本管接続部) <緑色> ○給水管(水栓以降) <白色> ○排水管(受水槽～高置水槽間) <茶色> ○井水管 <白色> ○消火管 <黄色> ○ガス管 <緑色>	
9.	埋設管標識	各種管(地下表から150mm程度の深さ)にビニール製標識シート(巾150mm)を埋設する。	

シート	(土壌水は抵抗く)	[標 F-19 2.1.1, 施作-BT 2.1.1]
18. 埋設検査	<p>埋設管のガス管、給水管及び消火管の分岐曲り部に設置する検査口は次のとおりとする。</p> <p>(設置箇所は図示による)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未埋設部分は、アルミ製表示蓋をコンクリート（$200\phi \times 300$）で巻き込んだものを、ステンレス線で配管に接続の上設置する。 ・継ぎ目部分には、キャップアイを専用工具を用いて設置する。 	[S 規定]
19. 弁類	<p>水溝設備の配管には、弁は10K型。○水通事業者指定 内面をライニングした管に使用するものは逆止弁でありには管端防鼠継手の規定に準じた管端コアを備えたものとする。</p> <p>呼び径65以上の弁は外ネジ式とする。(水道用フットボール式は除く) [標 P-43 2.2.1]</p> <p>呼び径50以下の揚水ポン付漏逆止弁はバパス付キルでもよい。</p> <p>呼び径65以上の仕切弁、逆止弁はライニング弁とする。</p> <p>屋内外タリタンク及びオイルサービスタンクの最高液面以下に設けるバルブ及びドレンバルブは JIS B 2071 (鉄鋼10K外ねじ仕切弁) または同等以上のものであること。 (所収消防署の承認をもつもの) [標 P-43 2.2.1]</p>	
20. 屋外出露の弁類	防露・保温の上ステンレス鋼板による外装を施し、弁軸はグリスアップする。	
21. 埋設弁類の防火措置	弁枠内面の直上または指差し位置しない箇所に弁軸を設置する場合には、防火措置は原則不要とする。ただし、水道事業者が消防工事があがる場合および、鋼板等一部分については取直しを行うこと。	
22. 機器の振動対策	振動が発生する機器については、ダンパメントで固定し、かつ防振措置を施すこと。 (振動発生機場合は防振マット、金具、防振バスターなど)。	

[illegible]

12. 保守指導 案内書	本工事の機械設備について保守管理に必要な案内書を2部作成し、完成図と一緒に提出する。 (A-4 版)	〔標P-19.7.3〕
13. 産業廃棄物 税	本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場へ搬入する産業廃棄物については、 産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。	
14. 施工中の安全 確保及び環境 保全	① 台盤など排水穴による現場被害が予想される場合は、事前の現場養生を確実にし、災害の 予防に努めること。 ② 事前の対策完了報告および事後の現場状況報告を、書面に監督職員に提出すること。 ③ 塗装、正等長期閉鎖措置を止める場合は場合も同様とする。 ④ (塗装、シーリング材、接着剤その他の化学製品の取扱に当たっては、当該製品の製造者 が作成したJIS・7255による安全データシート(SDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図り、 作業者の健康・安全の確保及び環境保全に努める。〔標P-1.3.5、標P-10.1.3.8〕	
15. 解体等作業 時の石砕対策	解体及び解体作業において、石砕有害建築材を撤去する必要がある場合には、ただちに監督 職員に報告すると共に、作業において「石砕養生防規則」を遵守すること。	
16. 建設発土土の 処理	① 場内処理は適切 ② 場外搬出は下記に 場外処理() k m 搬出距離() k m 上記に示す受け入れ場所・距離は参考であり、 実施に当たっては監督職員と協議の上、決定する。 〔標P-103.4.2.1〕	○ 敷き均し ○ たい積 ○ 処分 ③ 処分費 ○ 無償

※この特記仕様書には必ず参考ページ-図の略号は以下のとおりとする

標=標準仕様書 監=監理指書 B=標準図

修正履歴 R 6 0 6 5 1 0

1. 大風便器	<p>程度との緩衝材付、鉛管接続の場合は吊り金物を使用する。和便器と前壁との離隔は、250mm 程度を確保する。和便器使用用フラッシュバルブ兼取付け付の場合はF.L.+800mm程度とする。</p> <p style="text-align: right;">【標-P249 2.1.2.7.図P-172、173】</p>
2. 大便器	<p>○洗浄弁（1ホールタイプ機構付） ○タンク ○電気開閉式 【標-P253 3.1.8】</p> <p>○専用洗浄弁 【標-P249 2.1.2.2.藍P-633 3.1.8】</p>
3. 小便器	<p>洗浄弁付（○手動） ○自動）</p> <p style="text-align: right;">【標-P249 2.1.2.2.標-P249 2.1.2.2.藍P-623 3.1.22】</p>
4. 説明シール等	<p>器具付属の説明シール等は、下地を考慮し、最寄り貼り付けすること。 【標-P249 2.1.2.2.藍P-623 3.1.22】</p>
5. 巻掛器	<p>ステンレス鋼板製ワンタッチ形とする。 ○シングル ○兼付二連 【標-P249 2.1.2.2.藍P-623 3.1.22】</p>
6. 木栓柱	<p>原則としてJIS規格、JWWA規格（日本規格）適合品とし断水く連とする。 シンゲル便器は一律に上仕方式とする。 【標-P253 3.1.6.藍P-676 3.1.6.図P-68】</p>
7. シールテープの除去	<p>水栓柱に配管を接合した後の、見がかり部分の余分なシールテープは、カッター等を使用し丁寧に除去すること。</p>
8. 化粧紙の裏板補強	<p>化粧紙裏面に取付けられる箇所に、紙の割れを防止するため補強材を設けること。</p> <p>（化粧4mm厚度、ゴムシート等） ○船型 ○差崩防止型</p>
9. 木栓柱	<p>VB仕様 900 0 0 h、21 0 0 0 h</p> <p>必須に応じコキングと接ぎ、また壁面にバンドにて固定する。</p> <p>隙隙縫、洗滌機パン等については、原則として器具廻りをコキング処理すること。</p>
10. 器具廻りのコキング	
11. 便 座	<p>○温水洗浄便座（洗浄時温水加温方式） ○瞬間方式 ○貯湯方式） ○普通便座（フット閉止）</p> <p style="text-align: right;">【標-P254 2.1.1.3】</p>

1. 給水方式	引込管付込水圧 () MPa ○水道直結方式 ○重力 (高置水槽) 方式 ○加圧送水方式 ○直結直挿方式
2. 水種類	○FRP製 ○ステンレス製 (一体型) ○組立型 ○単板構造 ○保温構造 タンク本体は、地震力及び地震力によって生ずる崩落によって損傷を起こさないような強度を有するものとする。 2m以上内外径は1寸。 マンホールは内蓋及び南沢銀付。 <small>(標P-266 1.4.1, 標P-303 2.4.2, 図P-70外7)</small>
3. ポンプ付置品	フード及び本体は、ステンレス製・樹脂製又は鋼製とする。 <small>(標P-255~262)</small>
4. ポンプ電動機	屋外・全閉防湿型・屋内 (多湿環境) 全閉防湿型。 (その他) 防滴保護形 <small>(標P-50 2.4.2.1.1)</small>
5. ボールタンク フロート	○鋼板製 ○耐食性のある樹脂等 ○ステンレス製 <small>(標P-50 2.4.2.1.1)</small>

1. 継手材	管端防錆継手とは、継受受口の隙間に専用テープを使用すること。 (ゴムリング方式とは異なる。)	[標-P37.2.1.2.5]
2. 量水器	親・子機（買受 / 買取） 子メータ（買受 / 買取） ①集中検針装置 給水装置に使用する場合は、水道事業者の承認を要しとすること。	[標-図4.2.1.6]
3. 量水器器	呼び径 32 まで VC-1 (4.30 × 3.10 × 5.50) 7MB-1 と、呼び径 40 から 65 まで VC-1 (1.10 × 5.10 × 7.50) 7MB-1 と、呼び径 75 から 100 まで VC-1 (1.10 × 7.00 × 7.50) 7MB-3 (小窓付) とする。 [標-P295.1.8.2.図-P92]	
4. 仕切弁	呼び径 25 まで VC-P、呼び径 40 まで VC-1 (1.80 × 1.80 27A-P)、呼び径 50 から 80 まで VC-3 (3.00 × 3.00 27A-MHA-P30.0) とする。 呼び径 100 からは VC-5 (4.50 × 4.50 27A-MHA-P45.0) とする。 [標-P295.1.8.2.図-P91]	

の固定	樹と蓋とは鎖でつなぐこと（鎖は溶融亜鉛めっき仕上げまたはステンレス製）
6. 伸縮ジョイント	鋼管とビニル管の接続箇所には、エラス（又はフリー）ジョイントを使用する。
5. 屋内排水工事	〔 標P.40～P.42 標P.63 2 4 8 〕

の排水管	
2. 床上掃除口直下の曲管	汚水系統に取り付ける床上掃除口直下の曲管は90°長曲管とする。
3. 器具との接続	原則として配管接続とする。(ジャバラ・簡易ゴム接続は不可、専用アダプター使用のこと)
4. 通気気物排水通気弁	通気気物 ○アルミ (耐食性) ○ビニル管 排水通気弁 ○屋内型 ○屋外型
5. 床排水	トラップ物は原則として、樹脂製とする。〔標-P293.1.7.3〕

1. マンホール ふた	○鋼鉄製（OMHA形 OMHB形 OMHD形）名称入り蓋、鎖付とする。 （蓋は溶接金粉のつき上げまたはステンレス製） 【図-36】
2. 汚水・雑排水 樹	鎖製コンクリート樹使用可。深さ1.2mを超えるには足掛金物（巾≧150以上 防錆処理）を取り付けること。 【図-P93～98】
3. 小口径樹	塩ビ製 ○防護蓋T-8（内蓋付き） ○塩ビ蓋サカゲ（SUS鎖付） ○コンクリート蓋（蓋呼び径×200.0 角×150.0

1. 貯湯槽の材質	USUS444製 ○ステンレス鋼製板 (電気防食装置付) ○ステンレスクラッド鋼板製 (電気防食装置付) 鋼板製 [標-P272.1.4.3. 図P-78.79]
2. 膨張水槽の 保護	ロックワール2号 50t、外装はステンレス鋼板 (0.3t)
3. 瞬間湯沸器	耐塩処理 (○要 ○不要) 配管カバー (○450h ○) 吹出口は歩行面+2,000以上 ○設定温度50℃以下 (ガス瞬間湯沸器のダイレクト着火方式で離島の場合)
8. 通気工事	図P-232~P.247

1. 室内消火栓箱	○ 易操作仕 1 号 ○ 2 号	日本消防検定協会の鑑定証票が貼付されたもの ○ 広範囲型 2 号	〔 標-P274 1.5.2, 図-P80~89〕
2. 消火栓開閉弁	4.5" 回転型で 1.0MPa 型とする (JIS 規格)。	○ 一般型 ○ 定流量型	○ 定流量型
3. ボンプ付属品	フート弁本体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。		〔 標-P261 1.2.8, 図-P179〕
4. 消火栓の保温	寒冷地原則保温必要。寒冷地以外に必要とする。		

1. 樹脂	○都市ガス（発熱量 MJ/㎥） ○液化石油ガス（プロパンガス）発熱量 50.2MJ/㎥
2. ガスメーター	マイコン型 ○貨品名 [標P-313.2.1.3.1.3.4]
3. 圧縮容器等	○プロパンガス ○集合装置＋転倒防止鎖（鎖はステンレス製） ○バック貯槽
4. わじ 器具類	ガス配管専用 のセシール剤を使用すること。
5. 配管手	<p>外面ライニング鋼管等（手）の受口隙間には専用テープで充填すること。</p> <p>器具接続以外に二重コンベアは使用しないこと。</p>
6. 絶縁継手	各部に二重絶縁面（手）を引きまわす等の近所の漏れ防止に配慮する。 [標P-315.2.5.2]
7. 施工	本資格者の責任で行う。使用材料についてはガス事業者の規定に準ずる。

1. 型式	建設省告示1292号（最終改正第154号）に指定する構造とする。 処理対象人・処理水・処理方式については、図示による。
2. アンホールふた	OMX4 OM5 OM6 OM7 ①線鋼板（4.5t） ②標準FRP ③前荷重FRP メーカー標準を除きセボルトロツトとする。
3. 金物類	鋼板製のものについてはメンテナンスを考慮し、分割を検討する。取手付（図-347.2.1.27） 支持金物、ボルトナット、その他すべてステンレス鋼製（SUS304）又は、塩酸腐蝕につき 仕上り品とする。
4. ユニット型 浄化槽の埋 入式	槽内は半分程度注水の後、良質土にて深さ1/3程度つ周囲を均等に突固め水締めを行う。 （標P-351.3.2.11）
5. 槽壁の標示	浄化槽工事現場に国土交通省令で定める事項を記載した標識を貼付すること。（浄化槽法第30条）
6. 浄化槽設備施 工の留意い	浄化槽設置に際しては各工事に沿って定められた事項を厳格に確認していることを把握し、写真に換ずると。 「浄化槽工事の技術上の基準」に基づき施工することとし、浄化槽設備施工の立会写真を含む工程写 真を準備すること。

①	設計条件	外 気						内					
						一 般 系 統		() 系 統					
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)		
	夏季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
	冬季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
2.	ばい煙濃度計	電源はバーナー電源（２次）より取出すものとして配管配線を含む。〔標P-114.1.1.3〕											
3.	ばい煙流量測定孔	○煙導の直線部に径80φの孔 〔標P-114.1.1.2〕											
4.	煙道	鋼板厚さ、2mm以上 〔標P-114.1.1.2〕											
5.	ダクト	風速（〇低圧 〇高圧 １ 〇高压 2） アンクル工法 〇コナールボルト工法（共板・スライド） フランジ部のダクト断り返しは5mm以上とし、ダクト折り返し部を四隅にシールを施す。 〔標P-189～197〕 フランジ部のダクト断り返しは5mm以上とし、ダクト折り返し部を四隅にシールを施す。 〔標P-210.2.2.2.2 ～ 標P-211.2.2.2.3〕 厨房、浴室などの多湿箇所排気ダクトは、その継目及び継手を外面よりシール材でシールを施し必要により水抜きを設ける。 〔標P-210.2.2.1.2.図P-154~155〕 ※シール材：シリコンゴム系又はニトリルゴム系を素材としたもので、ダクト材質に悪影響を与えないものとする。 〔標P-188.1.14.2.6〕											
6.	フレキシブルダクト	建築基準法施行令第108条の2の規定により、不燃材料の規定を受けたもので、十分な可とう性と耐圧強度及び耐火性を有するものとし、空調用の場合、耐熱材料のものとする。 〔標P-195.1.14.9、P-215.2.2.5.3〕											
7.	ダクトテープ	JIS H 4160に準ずるアルミニウム箔（厚さ0.05mm以上）の片面に樹脂系接着剤を塗布したテープ状のものとする。 布製テープは不可とする。 〔標P-188.1.14.2.5〕											
8.	風量測定口	取付箇所（〇風機室に直接した部分 ○外気取入付近 ○取付を図示されたダンパー近接部分） ※取付辺300以下は1個、300を超え700以下は2個、700を超えるものは3個とする。 〔標P-214.2.2.5.5〕											
9.	チャンバー	消音内貼を施す。 OSA・R 〇A・E A 防振架、空気抜管及び膨張タックよりポリウレハへの給水管は、配管用炭素鋼鋼管（白管）とする。 パッケージ型空調機室外機 ●防振パット〇簡易防振（ゴム被覆板）〇専用防振脚金（ばね） 防振パッドとは厚さ±1.5mmとすると。 〔標P-203.2.2.1.図P-133~136〕											
⑩	機器類の基礎	原則としてアルミニウム製とする。 〔標 P-198.1.15.3～1.15.4〕											
12.	吹出口及び吸込口												
13.	温度計	標準仕様書によるほか、下記の箇所に取得する。 ○温水ボイラの温出水口 ○空気調和機器の給気風道、還気風路に取付け及び外気風道 ○冷温水管寄せ（往）及び冷温水管寄せ（還）の各器貫り 〔標 P-55.2.3.2〕 〔標 P-197.1.14.14〕											
14.	瞬間流量計及び流量測定口	標準仕様書によるほか、下記箇所に取得する。○瞬間流量計 ○流量測定口 ●冷水機の冷出水口 ・ポイラ又は熱交換器の温出水口 ・冷温水管寄せの各器貫り ※測定制造温度は3φ2といー管流量計用とする。 〔標 P-57.2.3.8〕											
15.	膨脹水槽の保温	ロクワレンバッキング（2号）25tを使用し、外装はステンレス鋼板0.3とする。 〔標 P-83.3.1.2〕〔標 P-87.3.1.4〕											
16.	ダクトフランジ部の保温	フランジ部は保温材料2枚重ねにする。または、フランジ高さ+10mmとする。 〔標 P-87.3.1.4〕											
17.	換気方式	○第1種 ○第2種 ○第3種											
18.	パイプフード	○深型 ○浅型 ○ステンレス ○着脱式防水帳付き ○ガラリ付き											
⑪	空調機	耐塩処理（●要 ○不要） JRA耐重塩害仕様											
20.	耐震支持	日本冷凍空調工業会機構規格（JRA9002-1991）（空調機器の耐地震試験基準） 吊り長さ250mm以上の機器は耐震支持を取る。											

1. 保温仕様 保温材、外装材及び補材の材料仕様は、標準仕様書による。 [欄 P-83 表2.3.1]
管及びダクト類の外装材仕様は図示によるものとし、保温材は図示がない場合は以下を標準とする。
給水管、排水管、消火管、冷水管、冷温水管：ポリスチレンフォーム保温材
給湯管、温水管、一般ダクト：グラスウール保温材
防火区画等貫通箇所：蒸気管、排煙ダクト、煙道：ロックウール保温材

1. 給水設備 給湯設備	(1) 給水装置に該当する管は、水道事業者の規定圧力(ただし、最小(鋼管)7.5MPa(17.5kgf/cm ²)、ビニール管1.0MPa(10kgf/cm ²))とする。
	(2) 揚水管、送水管は当該ポンプの全稼働に相当する圧力の2倍の圧力。 【最小0.75MPa(7.5kgf/cm ²)】
2. 消火設備	(3) 高圧水槽以下の配管は、静水頭に相当する圧力の2倍の圧力。 【最小0.75MPa(7.5kgf/cm ²)】
	(4) 器具取付け後の水圧試験・住戸内給水管(但し、水道メーター以降とする)。 【0.75MPa(7.5kgf/cm ²)】
3. ガス設備	(5) 飲料水用タンク設置の場合場合において遊離塩素残量において、0.2mg/L以上検出されるまで消毒をする。(1m3に付き2cc(10%希釈率の場合)) 【 標-P81.2.9.3】
	(6) 水圧試験の保持時間は最小6.0分とする。 【 標-P81.2.9.3】
4. ガス設備	消防用設備等の機能等について試験基準に基づき外観試験及び性能試験を行う。 各消火栓に1に連結される配管は、当該ポンプの締切圧力の1.5倍の圧力とする。 【 標-P82.2.9.5】
	(1) 石油系ガス設備の気密試験は、高圧側1.5MPa、低圧側8.4Pa以上10.0kPa以下とする。 【 標-P321.3.2.6】
5. ガス設備	(2) ガス器具等と接続されているガス管については、ガス器具等直近のガス弁を閉めて上記(1)の気密試験を行うこと。
	漏えい試験は、ガス器具等直近のガス弁を閉じ使用圧等以上4.2kPa以下の圧力で行って実施すること。
6. ガス設備	(3) 都市ガス等の気密試験・漏えい試験は、ガス供給事業者の規定に基づき方法・圧力とする。


4. 浄化槽設備	槽の水張り、配管、各種機器の動作、通水・総合運転試験を行うこと。 24時間漏水試験は、開始時と終了時の水位と水位が確認できる写真を整備すること。	(標-P350 2.2.2)
⑤ 空調設備	1 冷暖気配管は配管接続完了後、「高圧ガス保安法」等に基づいたメーカー指定の方法により気密試験を行う。 2 各種機器調整及び風量、風速、騒音、温度、湿度の測定等。 3 自動制御設備の総合調整を行う。	(標-P81 2.9.2) (標-P245 2.4.1.1) (標-P245 2.4.2.2)

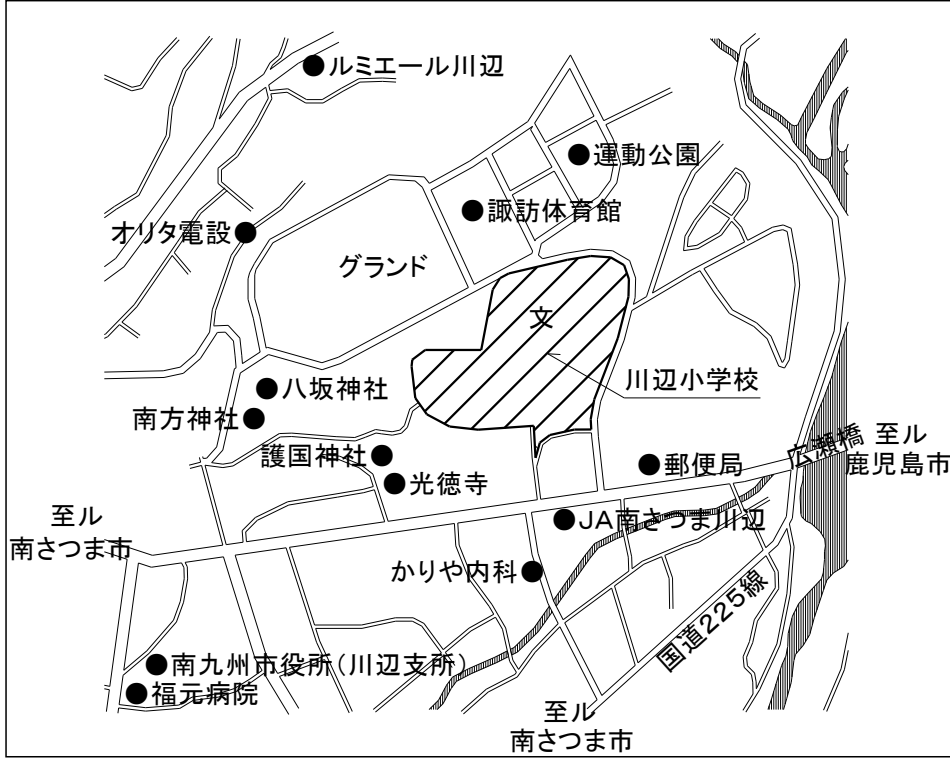
上記試験、調整状況の写真を撮影すること。

※「トップランナー制度」の対象製品については、当該製品の現掲載入定時において、その基準をクリアしたものを採用すること。

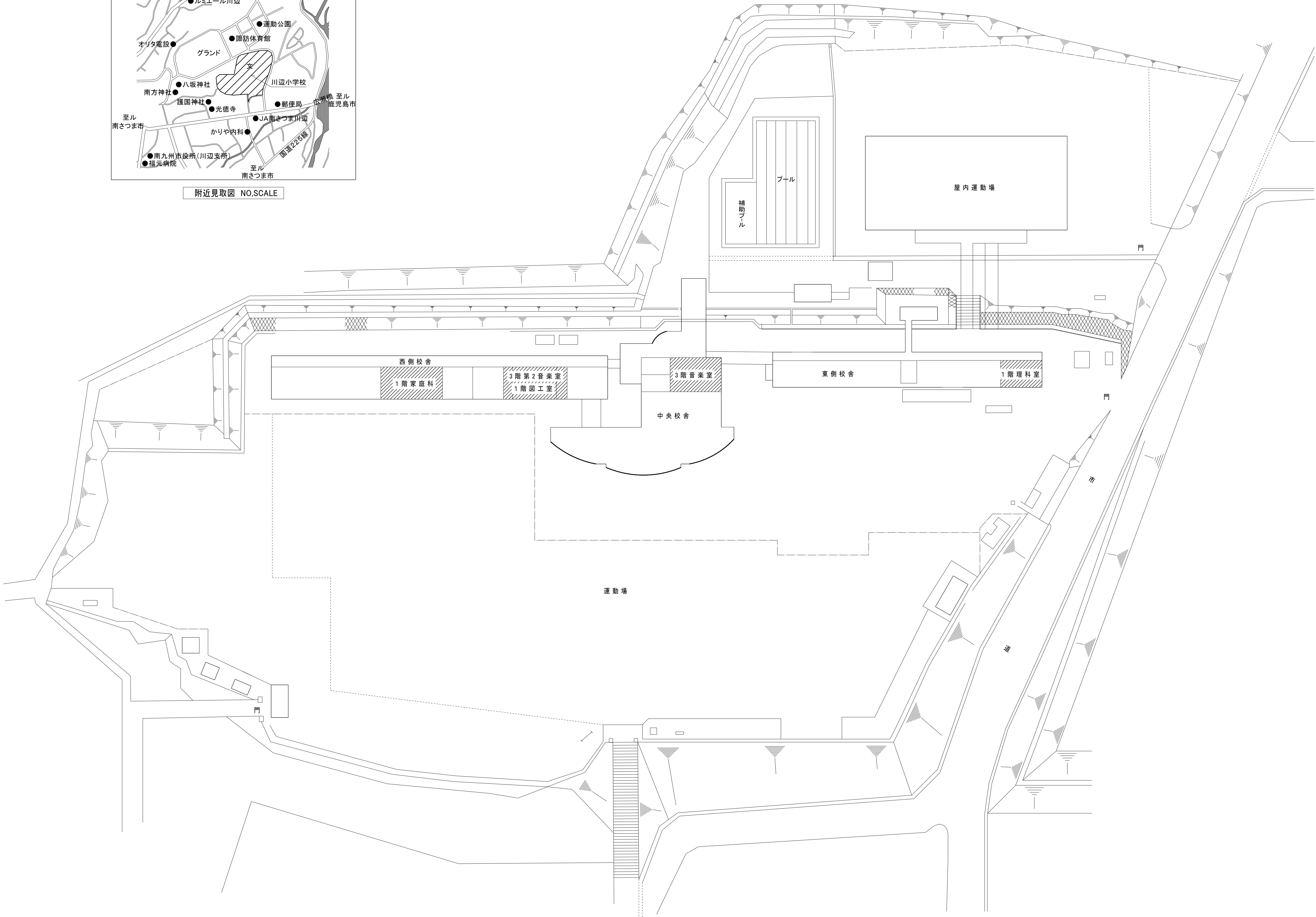
※「グリーン購入法」の対象製品で、下表に指定したものの（機器表に特記がある場合も含む）については、当該製品の現掲載入定時において、その基準をクリアしたものを採用すること。
また、この表に記載のないものについては、Ⅲ-1-1によることとする。

表	
対象指定製品	エアコン・温水器・給湯器・電気使座

記 事	<div><div>建築設備／設計／監理</div><div>株式会社 オープランニング</div><div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div></div>	代 表	一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工 事 名	川辺地域特別教室空調整備工事	図面番号	M-01	
					図 名	川辺地域 機械設備特記仕様書	縮 尺	A1-NOSCALE
		管 理 建築士	一級建築士第379060号 田原 春 守	検 印	検印 大石	担当 川口	製図 森	R6.11.



附近見取図 NO.SCALE



配置図 S=1/400

今回工事対象範囲を示す

記 事	<div>建築設備／設計／監理</div> <div>株式会社 オープランニング</div> <div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div>		代 表	一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工 事 名	川辺地域小学校特別教室空調整備工事	図面番号	M-02
			管 理	一級建築士第379060号 田原 香 守	図 名	川辺小学校 附近見取図・配置図	縮 尺	A1-1/400 A3-1/800
			検 印	大石 秀樹	担 当	川 口 森	R6.11.	
			製 図	森 森	製 図	森 森		
			検 査	大石 秀樹	検 査	大石 秀樹		

空調機器表

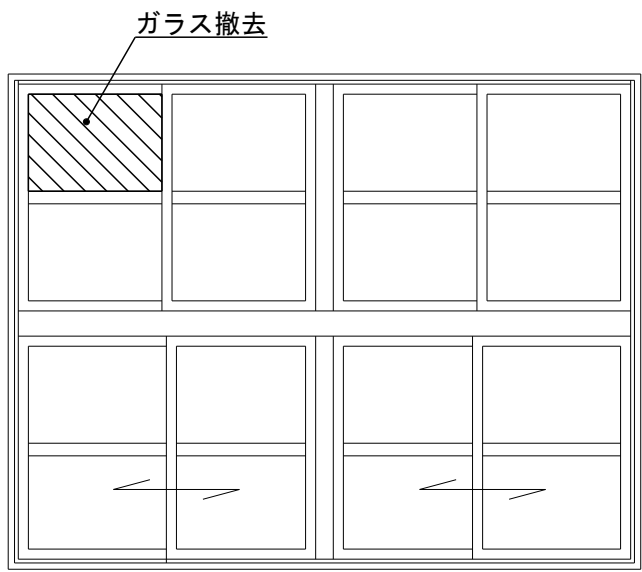
記 号	名 称	能力 K W		電 源	消費電力 (KW)	圧縮機 (KW)	数 量	設 置 場 所	備 考
		冷 房	暖 房						
ACP1	空 冷 パッケージエアコン (天吊露出型・ツイン同時) (インバータータイプ)	12.5 (5.7~14.0)	14.0 (6.3~18.0)	3φ200V 室外機電源	3.72/3.61	2.45	1	1 階 理科室	耐重塩害仕様 ワイードリコン 分岐管 室外機基礎 防護ネット (前面・側面)
ACP2	空 冷 パッケージエアコン (天吊露出型・ツイン同時) (インバータータイプ)	10.0 (4.8~11.2)	11.2 (5.1~14.0)	3φ200V 室外機電源	2.80/2.90	1.95	2	1 階 家庭科室 1 階 図工室	耐重塩害仕様 ワイードリコン 分岐管 室外機基礎 防護ネット (前面・側面)
ACP5	空 冷 パッケージエアコン (天吊露出型・ペア同時) (インバータータイプ)	10.0 (4.8~11.2)	11.2 (5.1~14.0)	3φ200V 室外機電源	2.47/2.35	1.95	2	3 階 音楽室 (中央棟)	耐重塩害仕様 ワイードリコン 分岐管 トレアップ 室外機基礎 防護ネット (前面・側面)
ACP6	空 冷 パッケージエアコン (天吊露出型・ペア同時) (インバータータイプ)	7.1 (3.2~8.0)	8.0 (3.6~9.5)	3φ200V 室外機電源	2.30/2.37	1.7	3	3 階 第2音楽室	耐重塩害仕様 ワイードリコン 分岐管 室外機基礎 防護ネット (前面・側面)

※ 空調機の選定機種については、省エネ法及びグリーン購入法の基準をクリアしたものとします。(対応している能力のみ)
※ 能力はJIS条件時の値とする。
※ 冷媒はR32 (又はR410)とする。
※ 省エネ多機能リモコンとする。
※ 機器消費電力及び圧縮機能力は参考値とする。

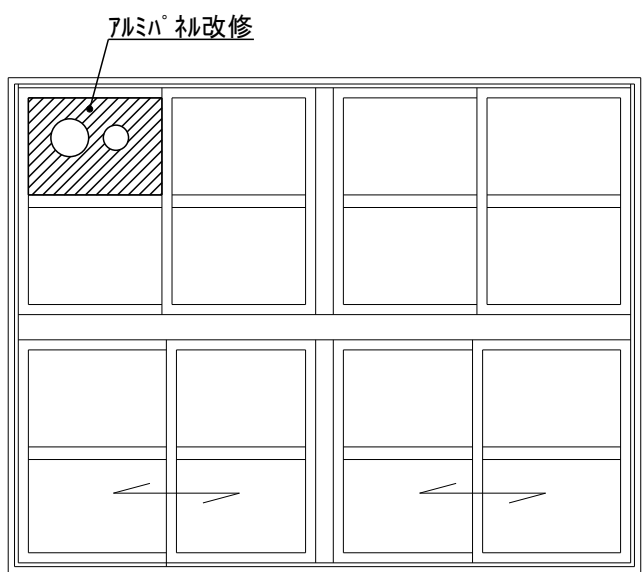
防露・保温仕様

	屋内隠ぺい	屋外露出	屋内露出
冷媒管	テープ巻 (1m毎)	SUSラッキング	保温化粧ケース
ドレン管	裸	塗装	合成樹脂カバー

アルミパネル撤去・改修要領図 NO. SCALE



撤去
↓
改修後

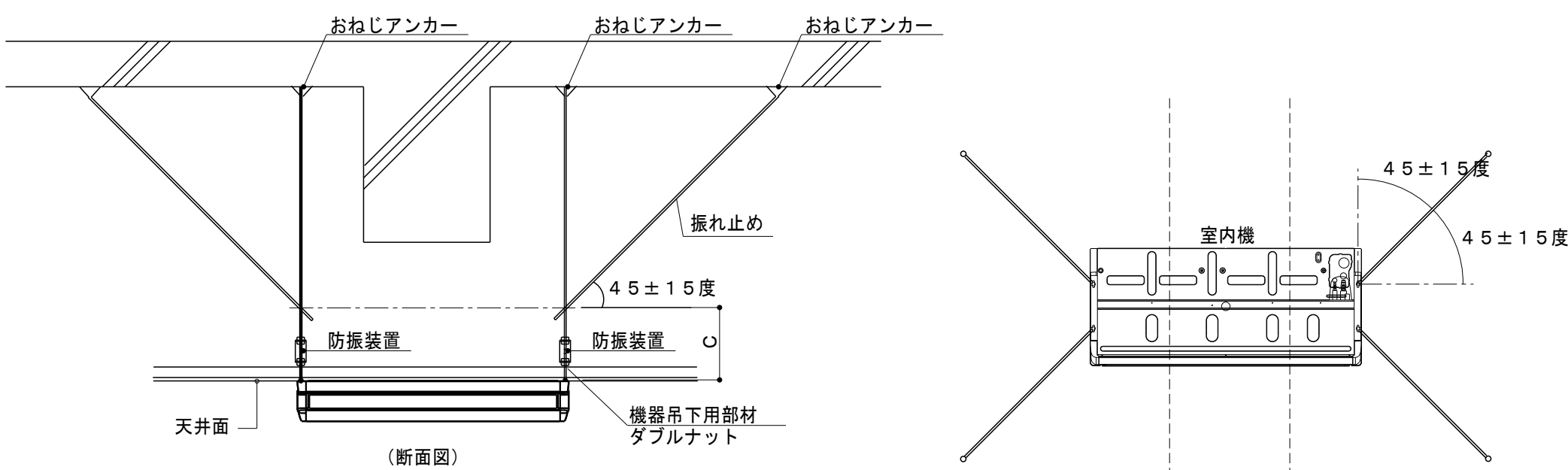


アルミパネル改修表

室 名	パネル寸法 W×H (mm)	数量	備 考
1階 家庭科室	800×850	1	
図工室	800×850	1	
廊下	800×850	2	
3階 第2音楽室	800×850	3	

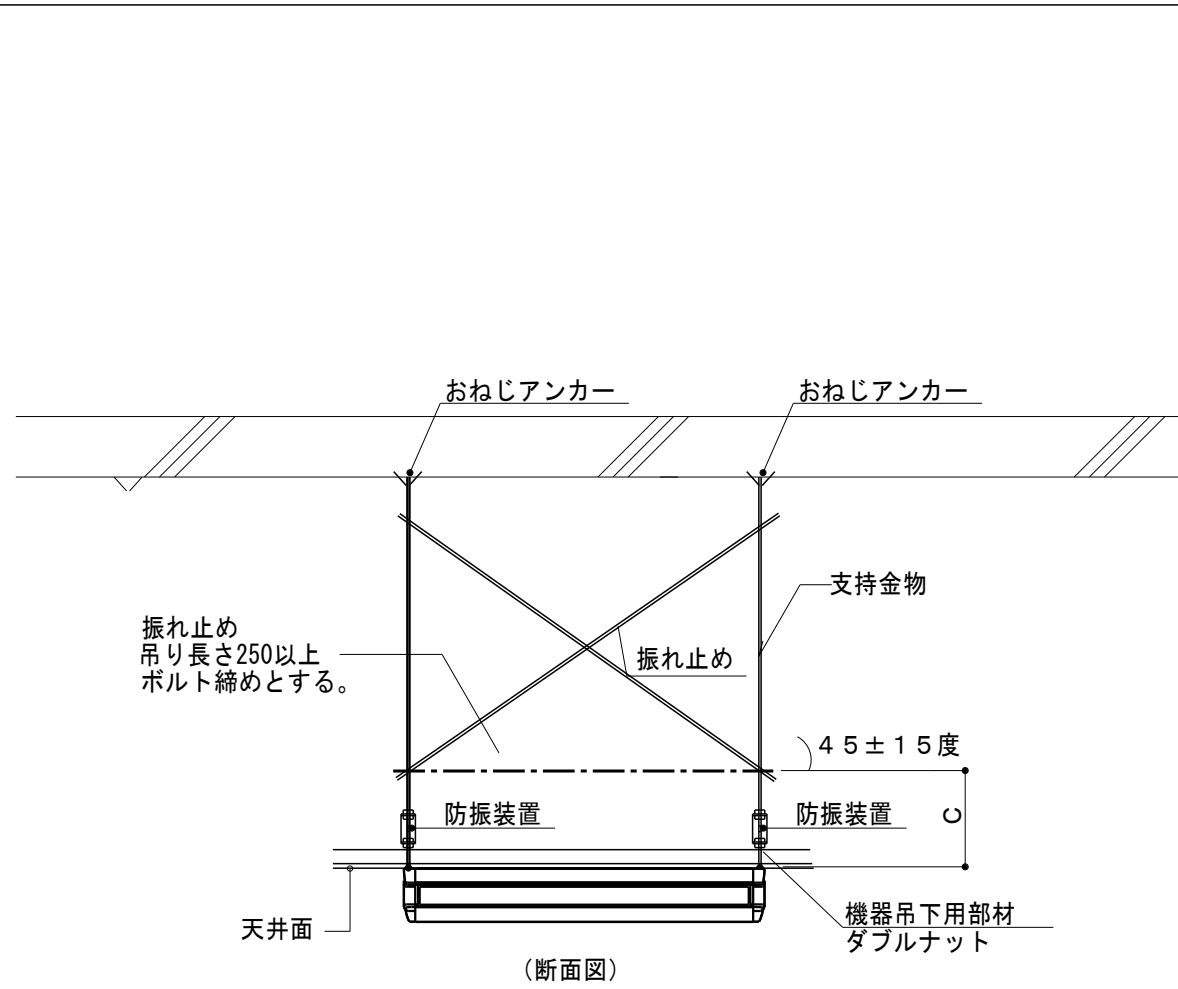
※アルミパネル取付箇所は、窓開閉ストッパーを取付のこと。
※アルミパネルの開口は最小寸法とする。
※カーテン閉め用のフックを取付のこと。
※アルミパネル厚さはメーカー基準とする。
※既設アルミパネルへの穴あけ径
冷媒管 75φ ドレン管 50φ とする。

室内機施工要領図 (全ネジボルト放射状の据付け法) NO. SCALE



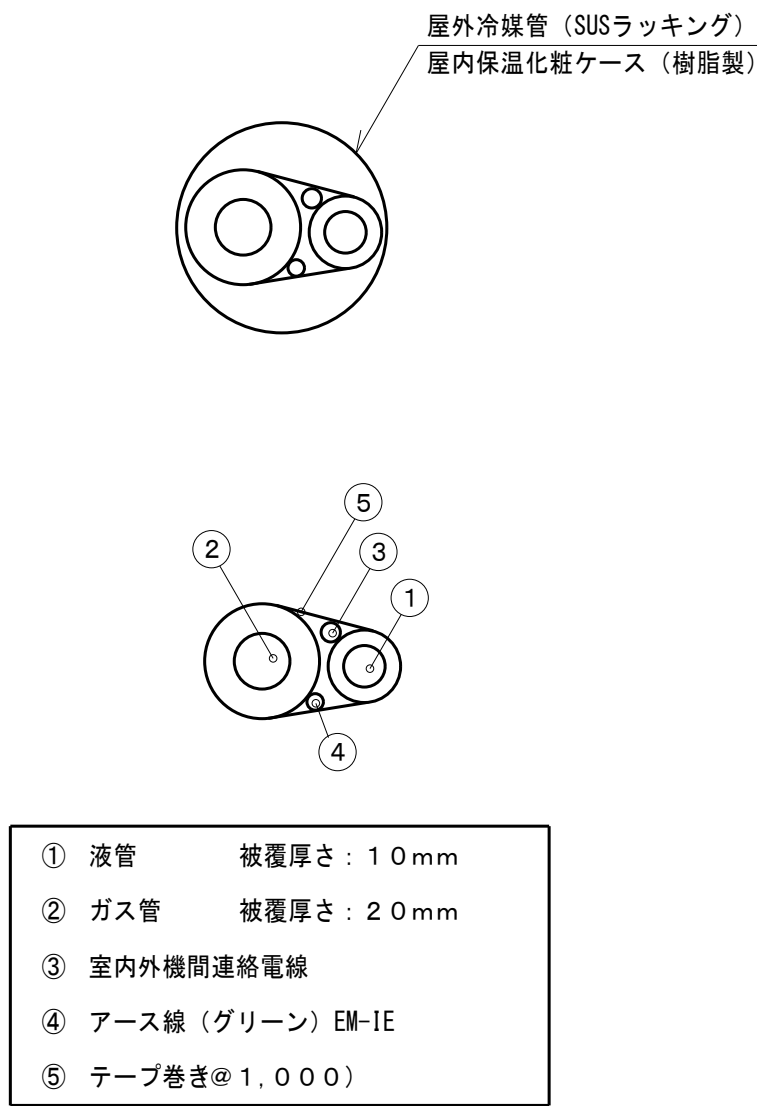
※φが250mm以内となるように斜材を設置すること。

室内機施工要領図 (全ねじボルトX上の据付け法) NO. SCALE



※φが250mm以内となるように斜材を設置すること。

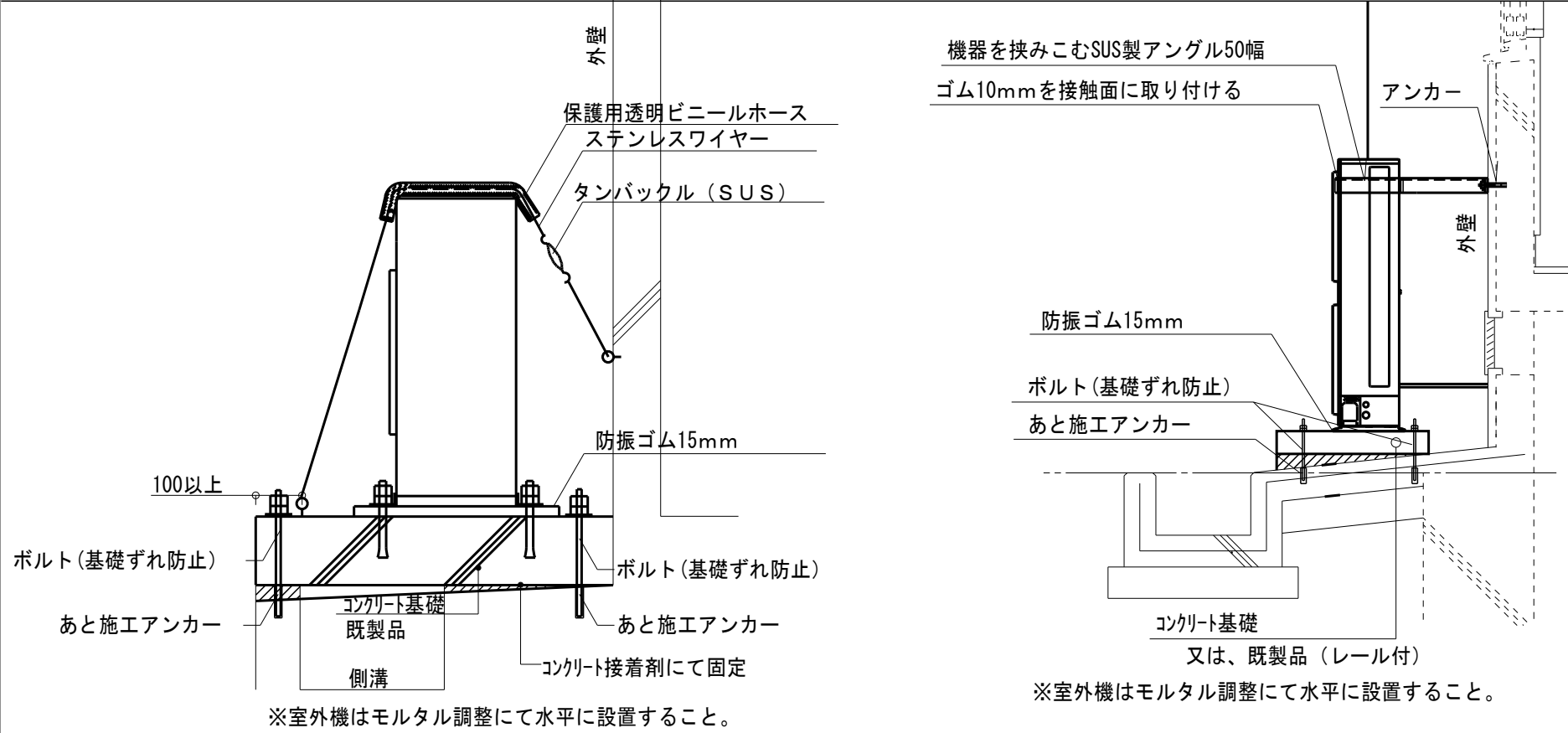
配管固定要領図 NO. SCALE



工事区分表

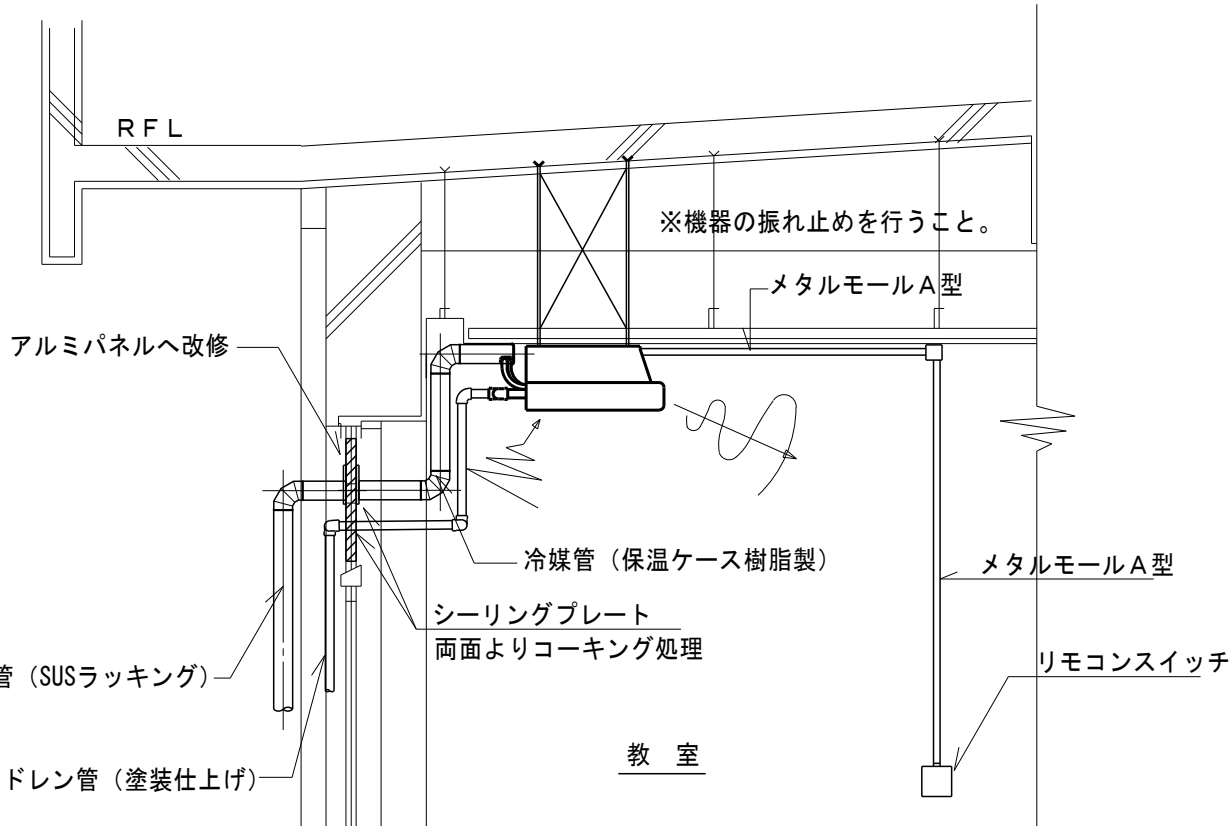
工事項目	機 械	電 気	建 築
空調機	室外機用コンクリート基礎	○	
一次側電源工事		○	
二次側電源工事	○		
アース工事 (二次側のみ)	○		
室内外機間制御配線工事	○		
リモコン取付用メタルモール	○		
リモコン取付用スイッチボックス	○		
リモコン配線工事	○		
リモコン本体及び取付	○		
天井点検口 (開口補強共)	○		
アルミパネル	○		
アルミパネル開口	○		

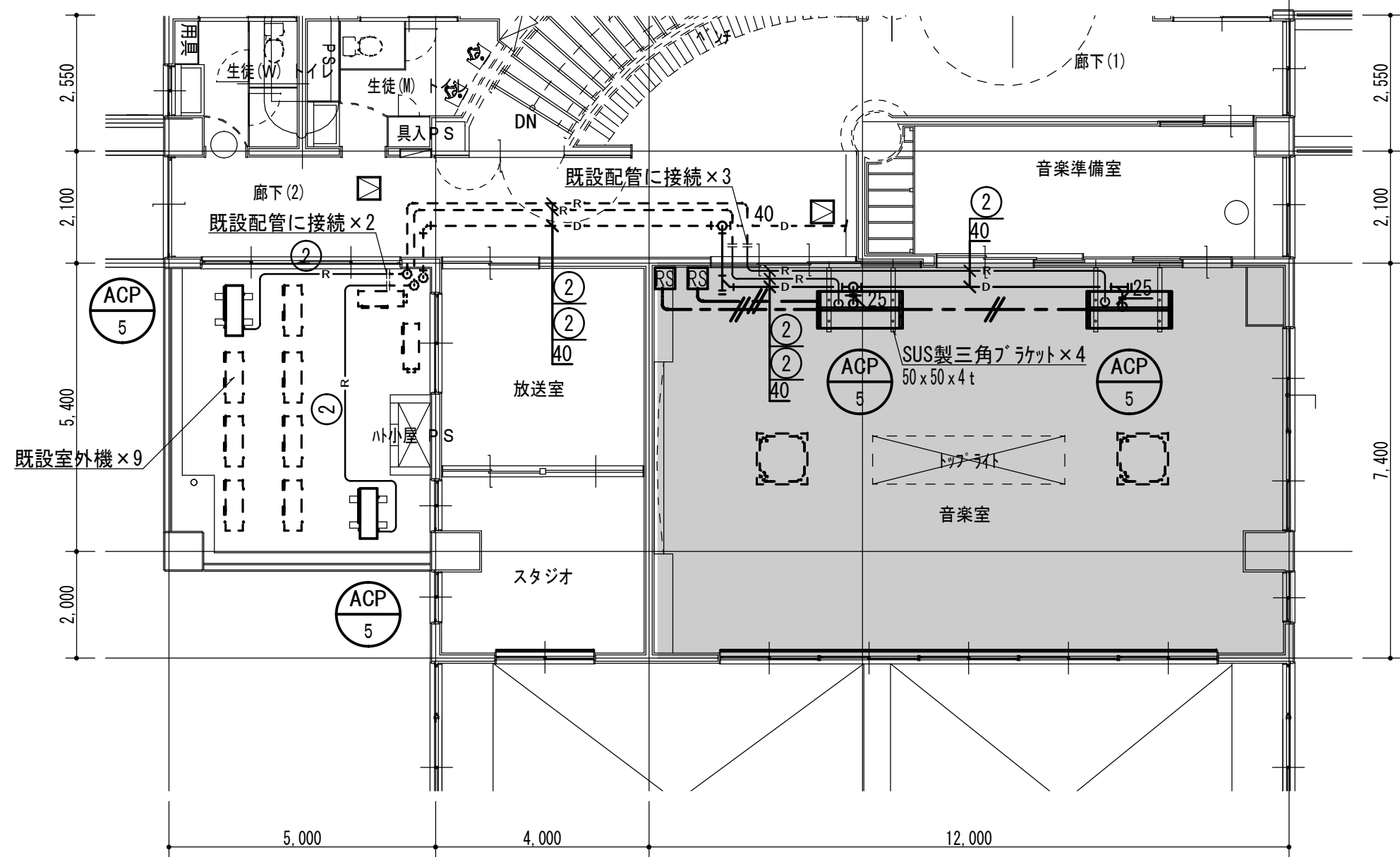
室外機固定要領図 NO. SCALE



※室外機はモルタル調整にて水平に設置すること。

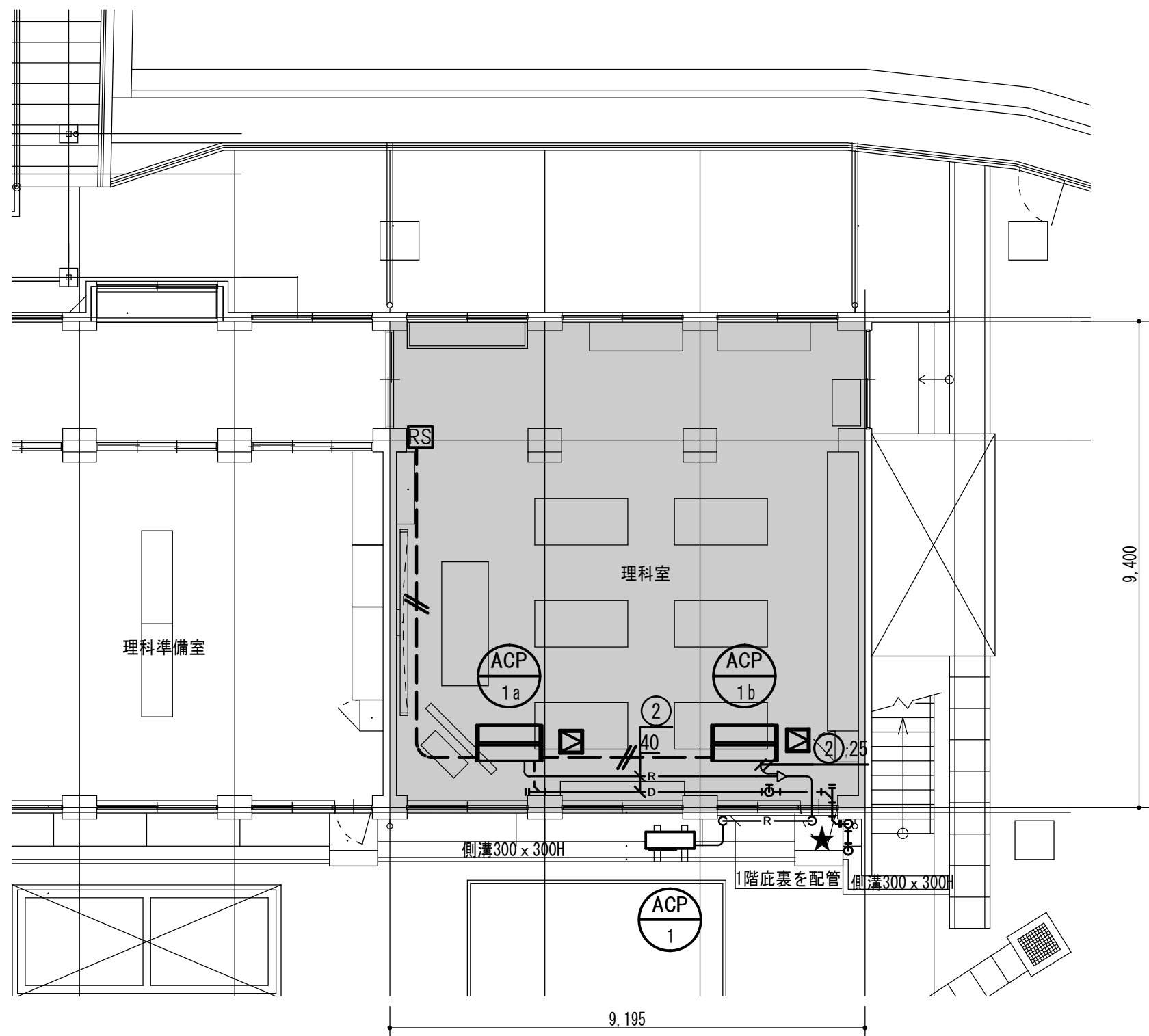
断面詳細図 NO. SCALE



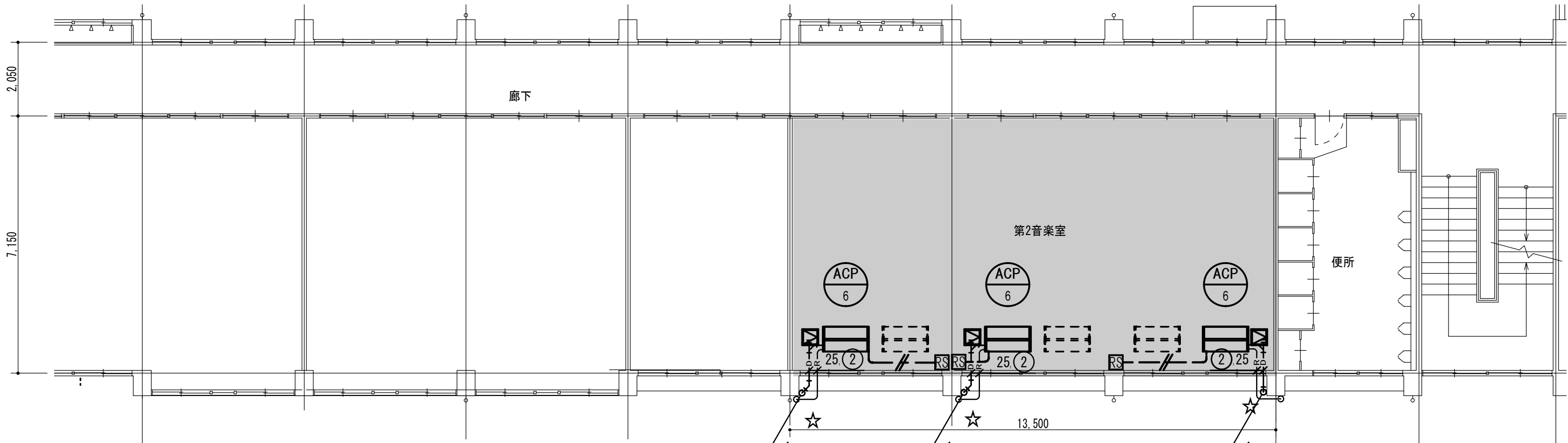


[中央校舎]
空調設備 3 階平面図 1 : 100

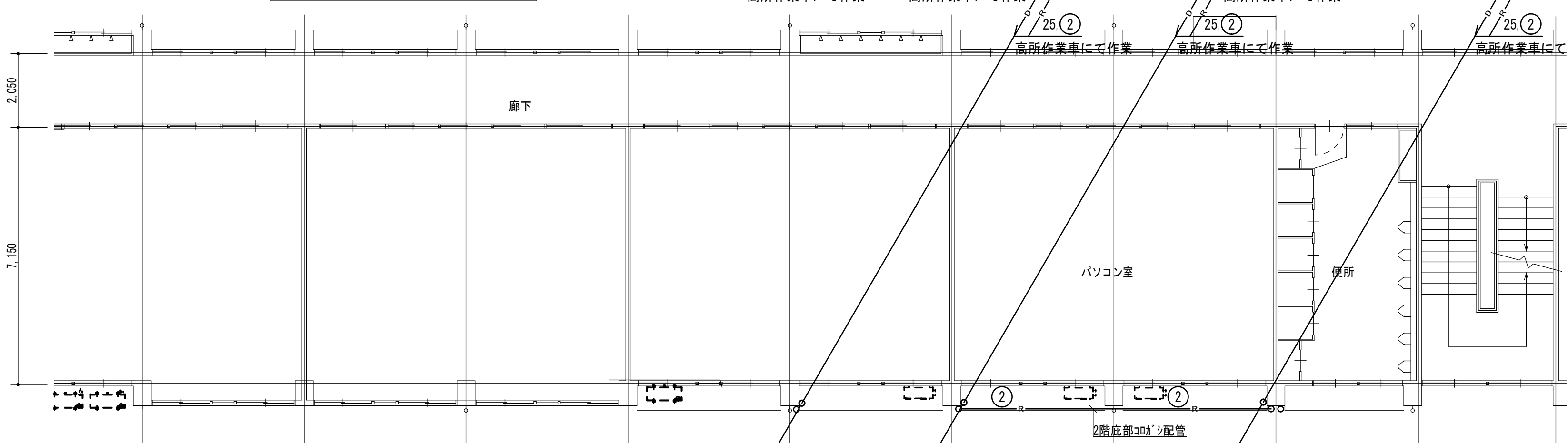
凡 例 表			
図中明記なき配線配管は下記に依る。			
	空調用コン (スリット) ック2個用に取付)		
	天井点検口 (450×450)		
	EM-EEF2.0° -2C	冷媒管同時巻	電源渡り
	EM-IE2.0°	冷媒管同時巻	アース
	EM-CEE1.25° -2C	パイプホルダー A型	特記無きは、露出とする。
	冷媒用断熱被覆銅管		特記無きは、露出とする。
	ドレン配管	VP	特記無きは、露出とする。



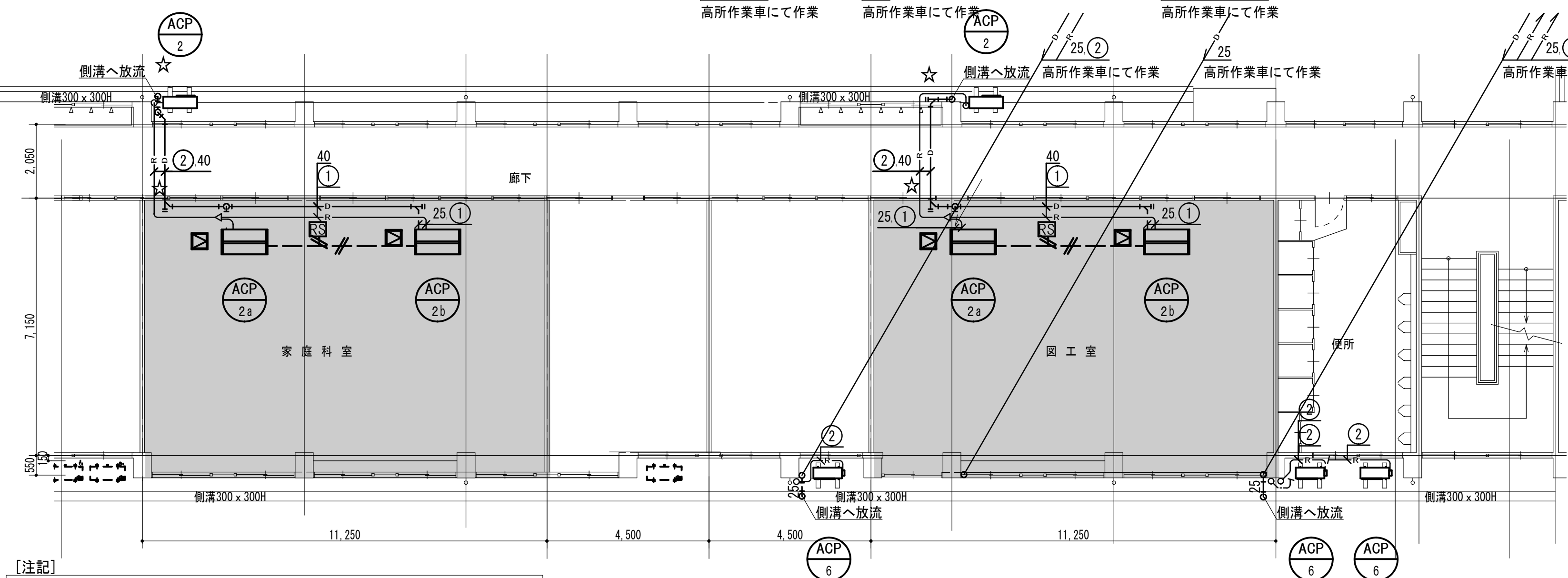
[東側校舎]
空調設備 1 階平面図 1 : 100



[西側校舎]
空調設備 3 階平面図 1 : 100



[西側校舎]
空調設備 2 階平面図 1 : 100



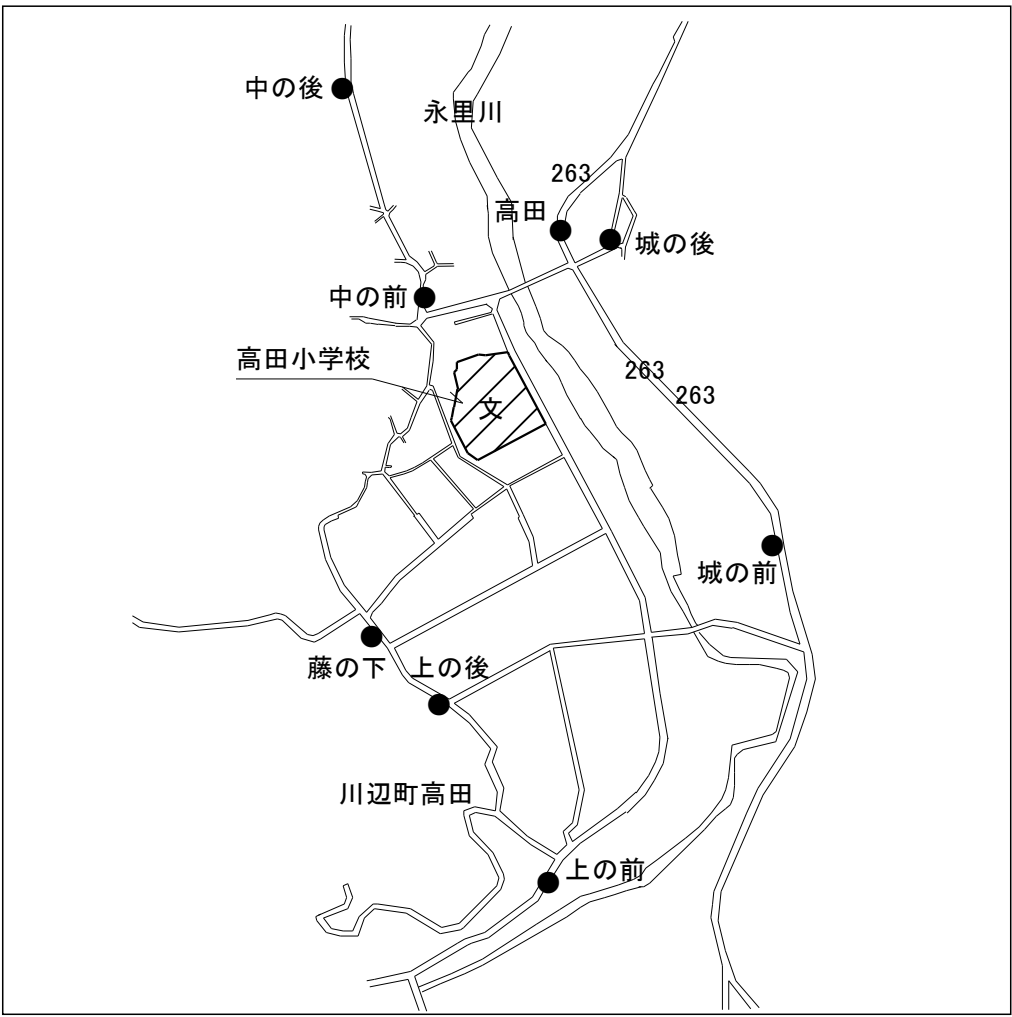
[注記]	
※図中	部配管・機器は、新設を示す。
※図中	部配管・機器は、既設を示す。
※図中	☆ 印はアルミパネル改修箇所(新設)を示す。
※図中	★ 印はアルミパネル改修箇所(既設パネルに穴あけ)を示す。
※天井点検口の取付位置は、別途工事の電気工事業者と調整し、決定すること。	
※アルミパネル改修箇所は、窓ストッパーを取付けること。	
※図中	部は、今回工事対象室を示す。

[西側校舎]
空調設備 1 階平面図 1 : 100

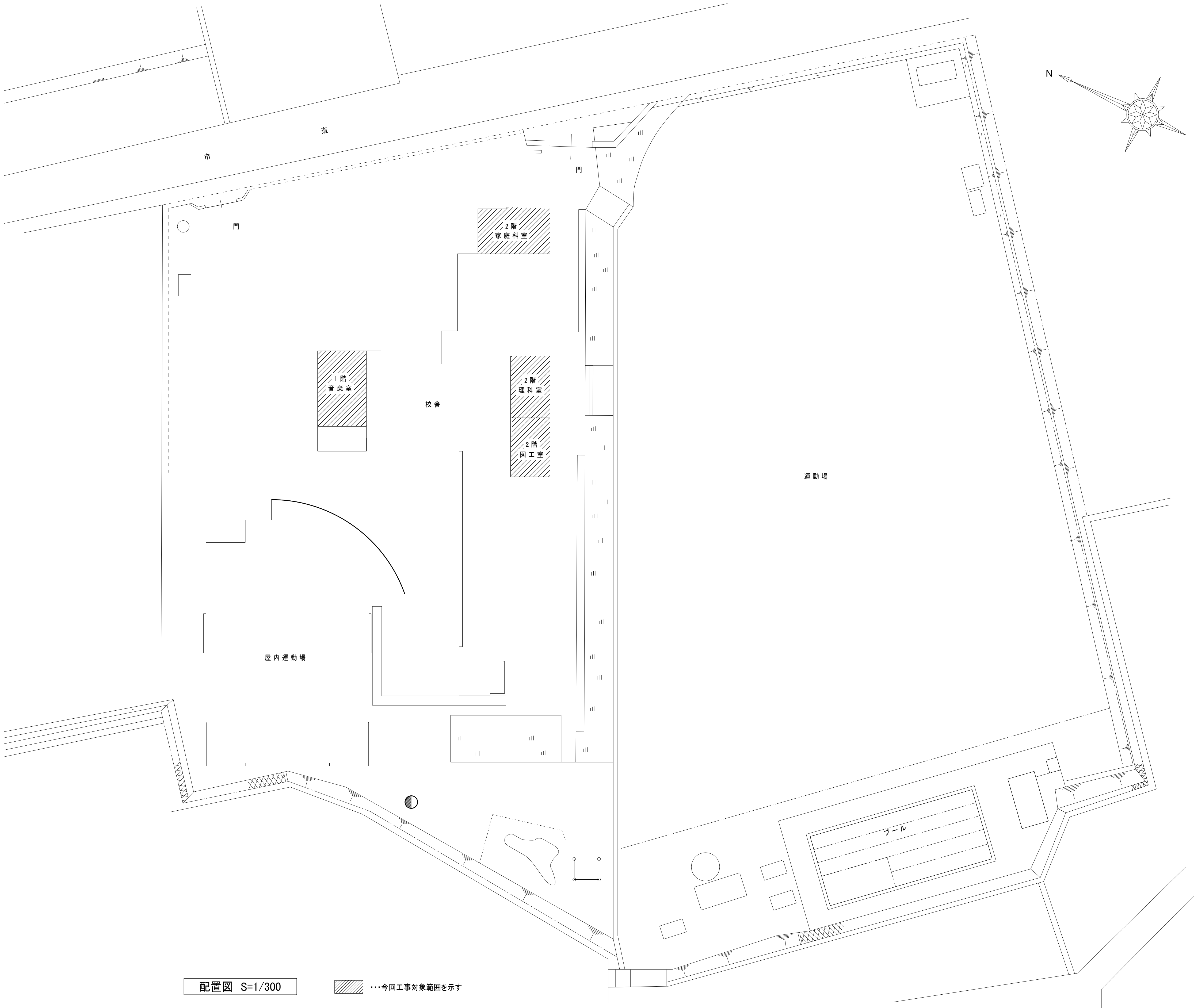
配管管径表	
記号	冷媒サイズ
①	6.4φ×12.7φ
②	9.5φ×15.9φ

※配管サイズは参考とする。

記 事			代 表	一級建築士第349074号	工 事 名	川辺地域小学校特別教室空調整備工事		図面番号	M-04	
				設備設計一級建築士第4341号		川辺小学校 東側校舎・西側校舎・中央校舎			縮 尺	A1-1 : 100
				大石 秀樹		空調設備1・2・3階平面図				A3-1 : 200
			管 理 建築士	一級建築士第379060号	検 印	校 印	担 当	製 図	R6.11.	
				鹿兒島県知事登録 第1-2-2号						田原 春 守




附近見取図 NO.SCALE



配置図 S=1/300

今回工事対象範囲を示す

記事		<div>建築設備／設計／監理</div> <div>株式会社 オープランニング</div> <div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div>	代表	一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工事名	知覧地域小学校特別教室空調整備工事	図面番号	M-05
			図名	高田小学校 附近見取図・配置図	縮尺	A1-1/300 A3-1/600		
			管理建築士	一級建築士第379060号 田原 香 守	校印	校印(大石)担当(山口)製図(森)		R6.11.

空調機器表

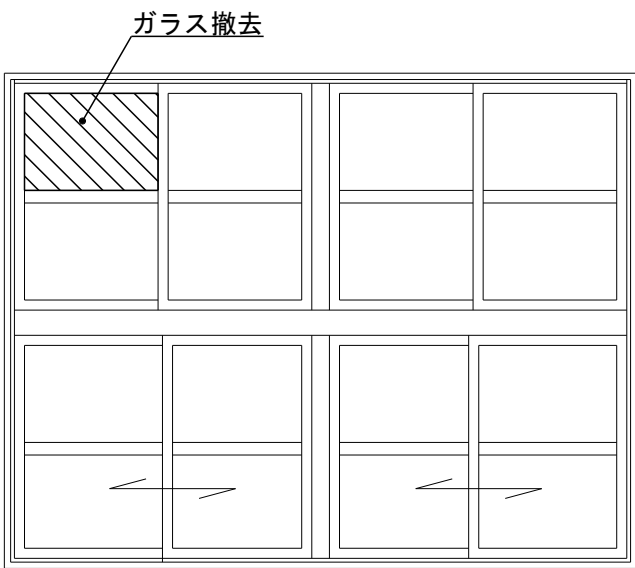
記 号	名 称	能力 K W		電 源	消費電力 (KW)	圧縮機 (KW)	数 量	設 置 場 所	備 考
		冷 房	暖 房						
ACP 2	空 冷 パッケージエアコン (天吊露出型・ツイン同時) (インバータータイプ)	10.0 (4.8~11.2)	11.2 (5.1~14.0)	3φ200V 室外機電源	2.80/2.90	1.95	1	1階 音楽室	耐重塩害仕様 ワイヤードリコン 分岐管 室外機基礎 防護ネット (前面・側面)
ACP 3	空 冷 パッケージエアコン (天吊露出型・ツイン同時) (インバータータイプ)	7.1 (3.4~8.0)	8.0 (3.6~10.6)	3φ200V 室外機電源	2.00/2.00	1.70	2	2階 図工室 2階 理科室	耐重塩害仕様 ワイヤードリコン 分岐管 室外機基礎 防護ネット (前面・側面)
ACP 4	空 冷 パッケージエアコン (天吊露出型・ツイン同時) (インバータータイプ)	14.0 (6.3~16.0)	16.0 (7.1~20.0)	3φ200V 室外機電源	4.77/4.45	3.08	1	2階 家庭科室	耐重塩害仕様 ワイヤードリコン 分岐管 室外機基礎 防護ネット (前面・側面)

※ 空調機の選定機種については、省エネ法及びグリーン購入法の基準をクリアしたものとします。(対応している能力のみ)
※ 能力はJIS条件時の値とする。
※ 冷媒はR32(又はR410)とする。
※ 省エネ多機能リモコンとする。
※ 機器消費電力及び圧縮機能力は参考値とする。

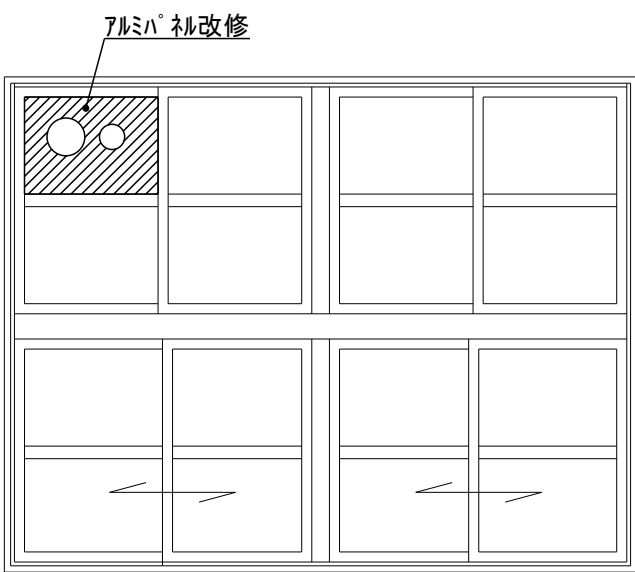
防露・保温仕様

	屋内隠べい	屋外露出	屋内露出
冷媒管	-	SUSラッキング	保温化粧ケース
ドレン管	-	塗装	合成樹脂カバー

アルミパネル撤去・改修要領図 NO. SCALE



撤去
↓
改修後

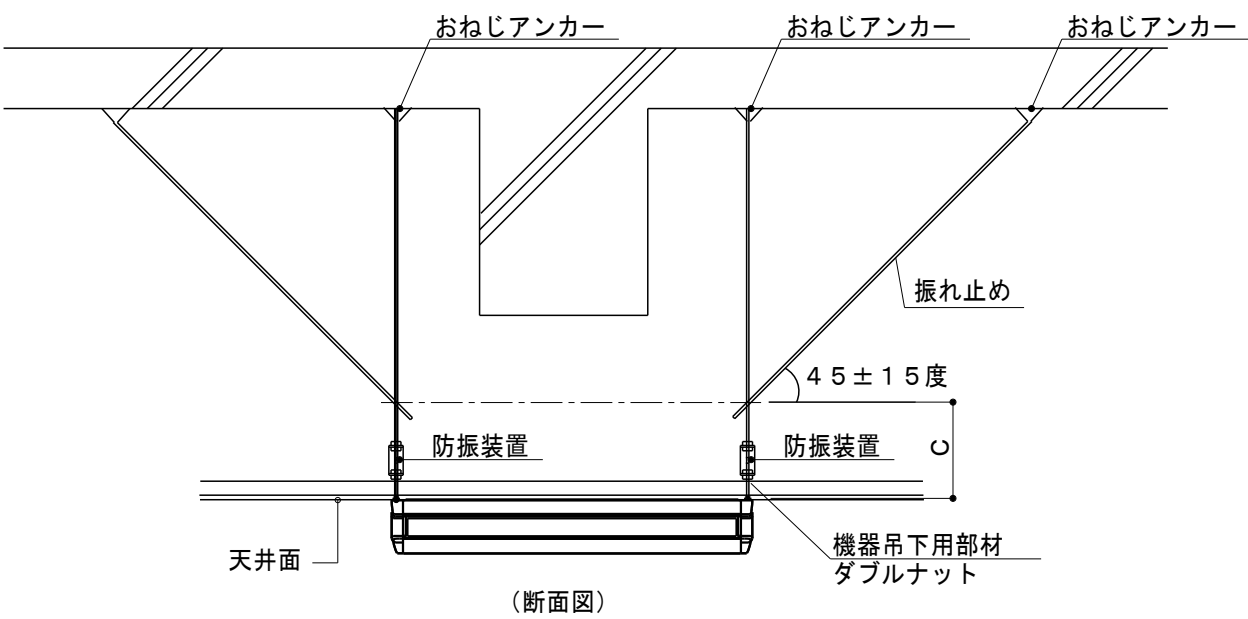


アルミパネル改修表

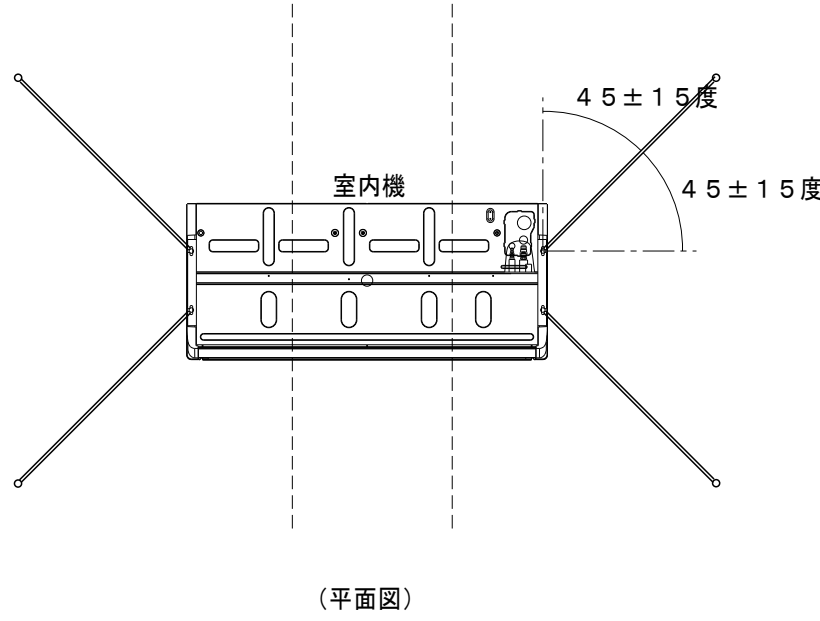
室 名	パネル寸法 W×H (mm)	数量	備 考
1階 音楽室	750×1100	1	
		1	
2階 図工室	800×950	1	
理科室	800×950	1	
家庭科室	800×950	1	

※アルミパネル取付箇所は、窓開閉ストッパーを取付のこと。
※アルミパネルの開口は最小寸法とする。
※カーテン閉め用のフックを取付のこと。
※アルミパネル厚さはメーカー基準とする。
※既設アルミパネルへの穴あけ径
冷媒管 75φ ドレン管 50φ とする。

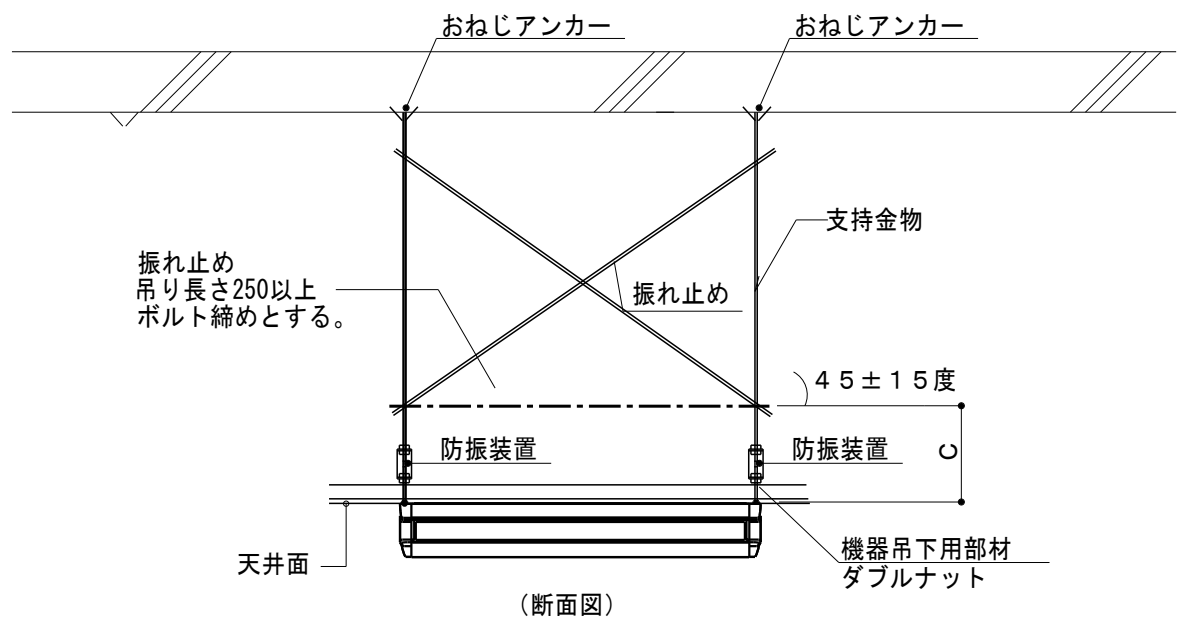
室内機施工要領図 (全ネジボルト放射状の据付け法) NO. SCALE



※φが250mm以内となるように斜材を設置すること。

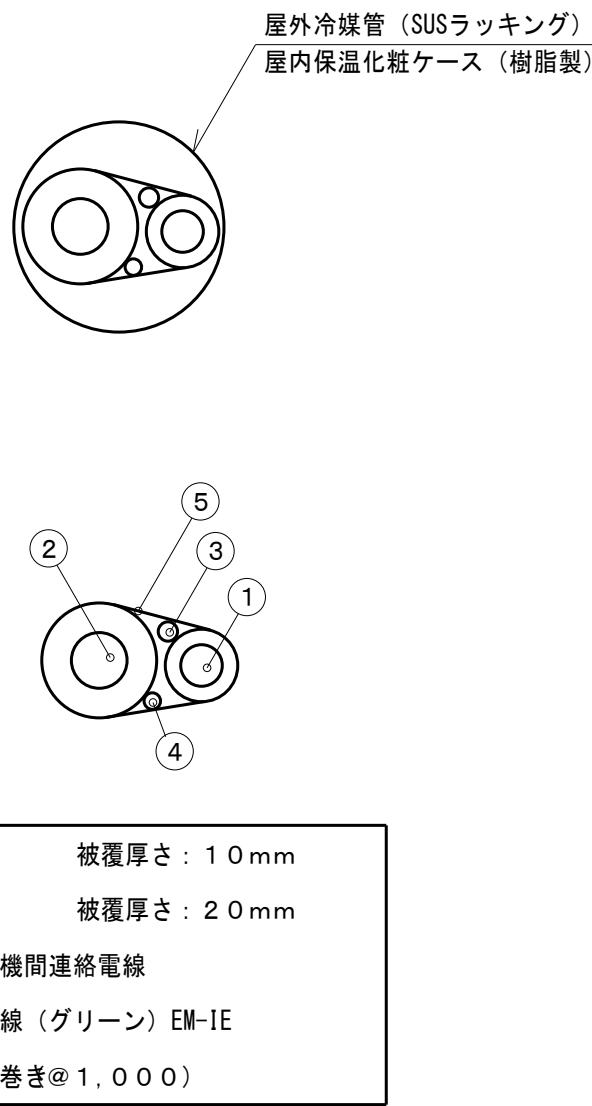


室内機施工要領図 (全ねじボルトX上の据付け法) NO. SCALE



※φが250mm以内となるように斜材を設置すること。

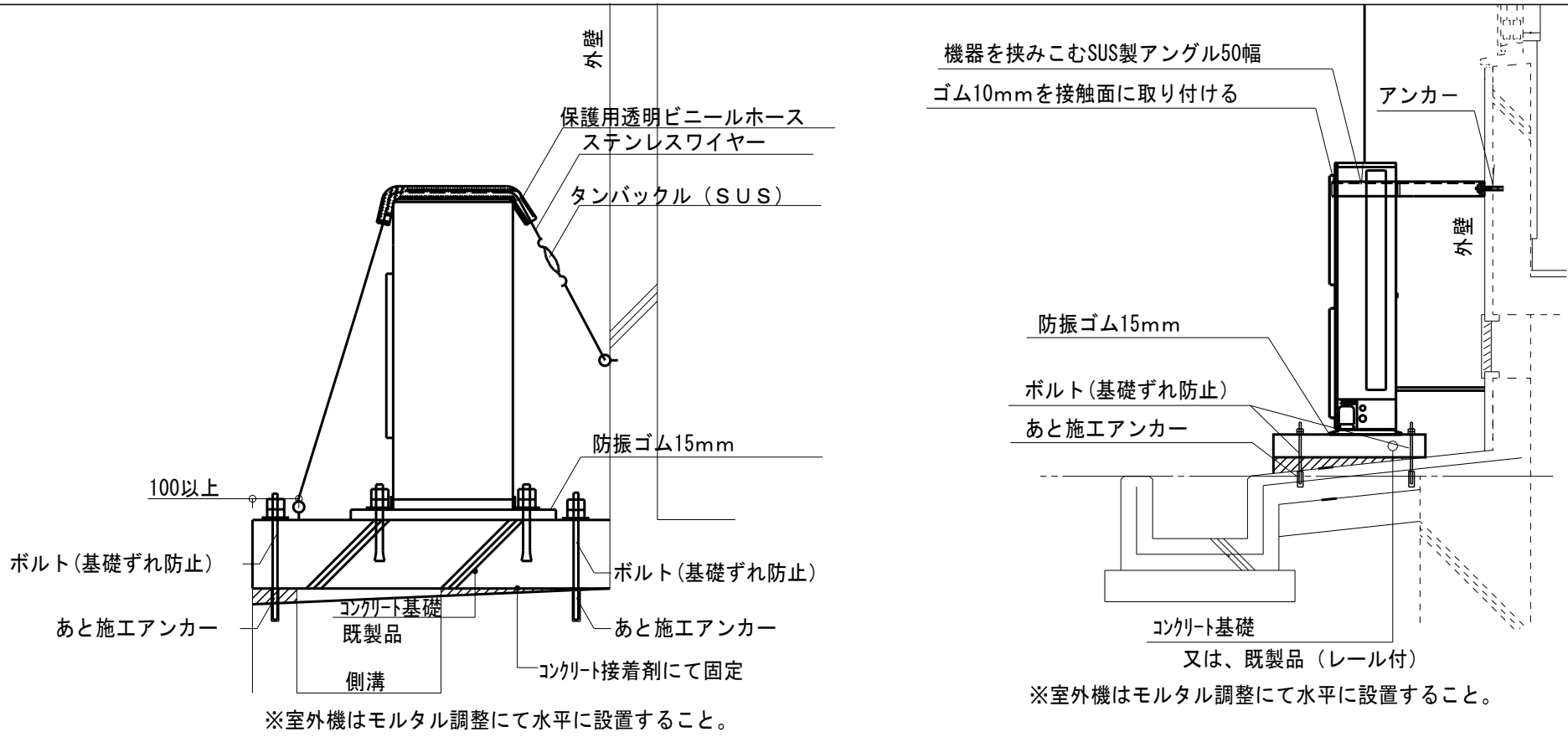
配管固定要領図 NO. SCALE



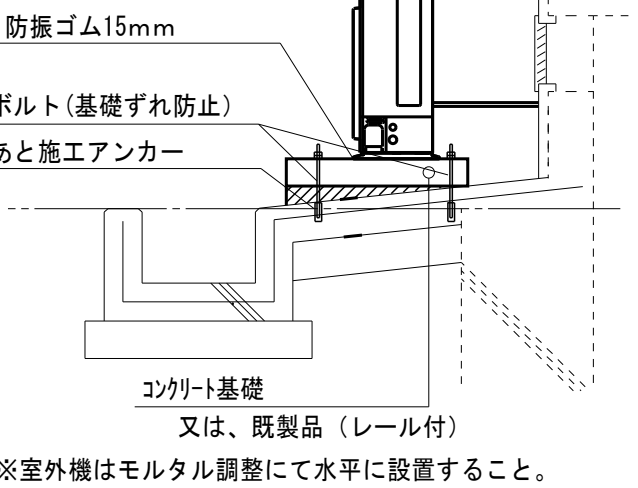
工事区分表

工事項目	機 械	電 気	建 築
空調機	室外機用コンクリート基礎	○	
一次側電源工事		○	
二次側電源工事		○	
アース工事 (二次側のみ)		○	
室内外機間制御配線工事		○	
リモコン取付用メタルモール		○	
リモコン取付用スイッチボックス		○	
リモコン配線工事		○	
リモコン本体及び取付		○	
天井点検口 (開口補強共)		○	
アルミパネル		○	
アルミパネル開口		○	

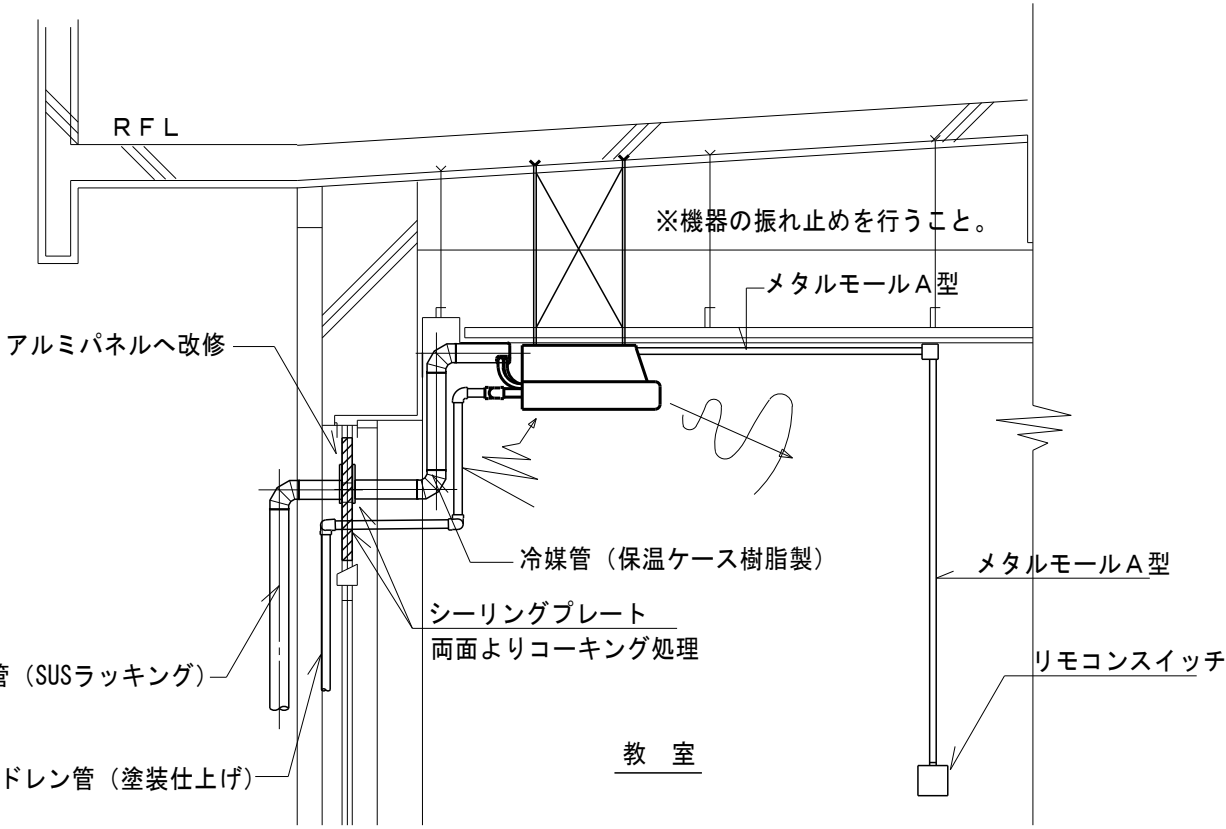
室外機固定要領図 NO. SCALE




機器を挟みこむSUS製アングル50幅
ゴム10mmを接触面に取り付ける



断面詳細図 NO. SCALE

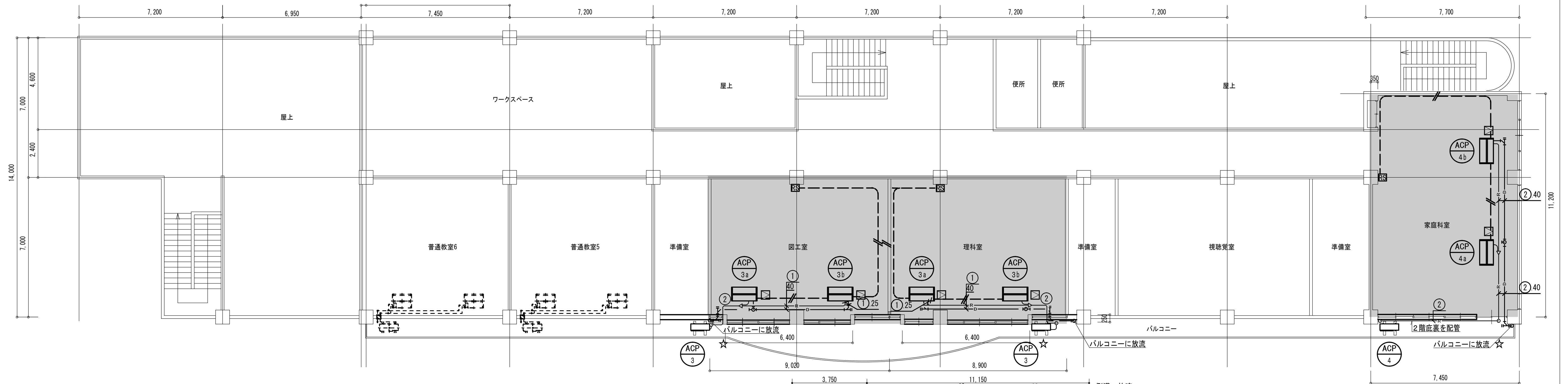


記 事








建築設備／設計／監理
株式会社 オープランニング
鹿児島県知事登録 第1-2-2号

代 表	一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工 事 名	川辺地域小学校特別教室空調整備工事	図面番号	M-007
管 理 建築士	一級建築士第379060号 田原 香 守	図 名	高田小学校 空調機器表・施工要領図	縮 尺	A1-NOSCALE
		検 印	検(大石) 担(川口) 製(森)		R6.11.



空調設備 2 階平面図 1 : 100

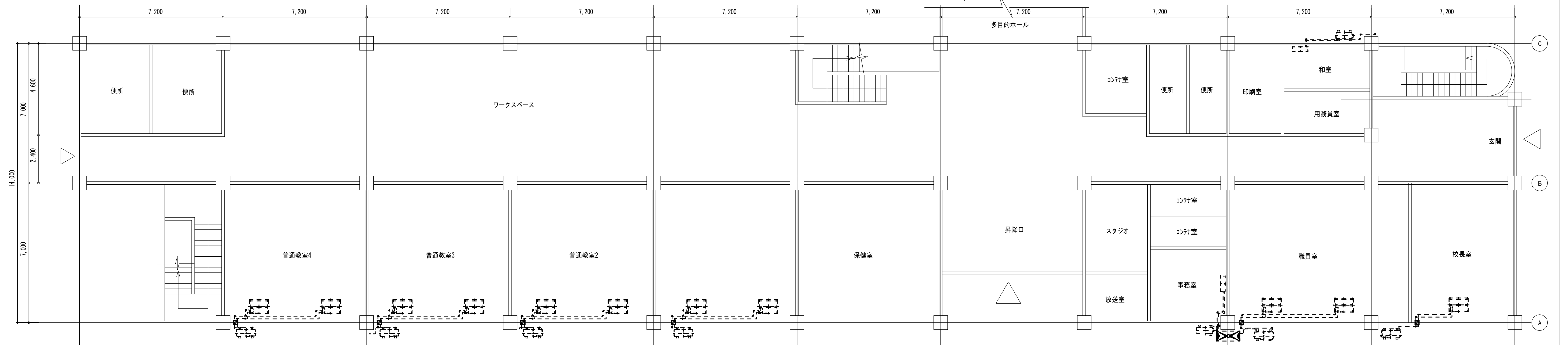
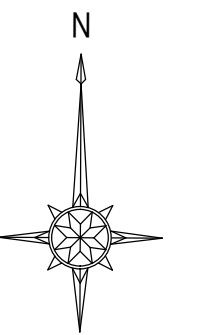
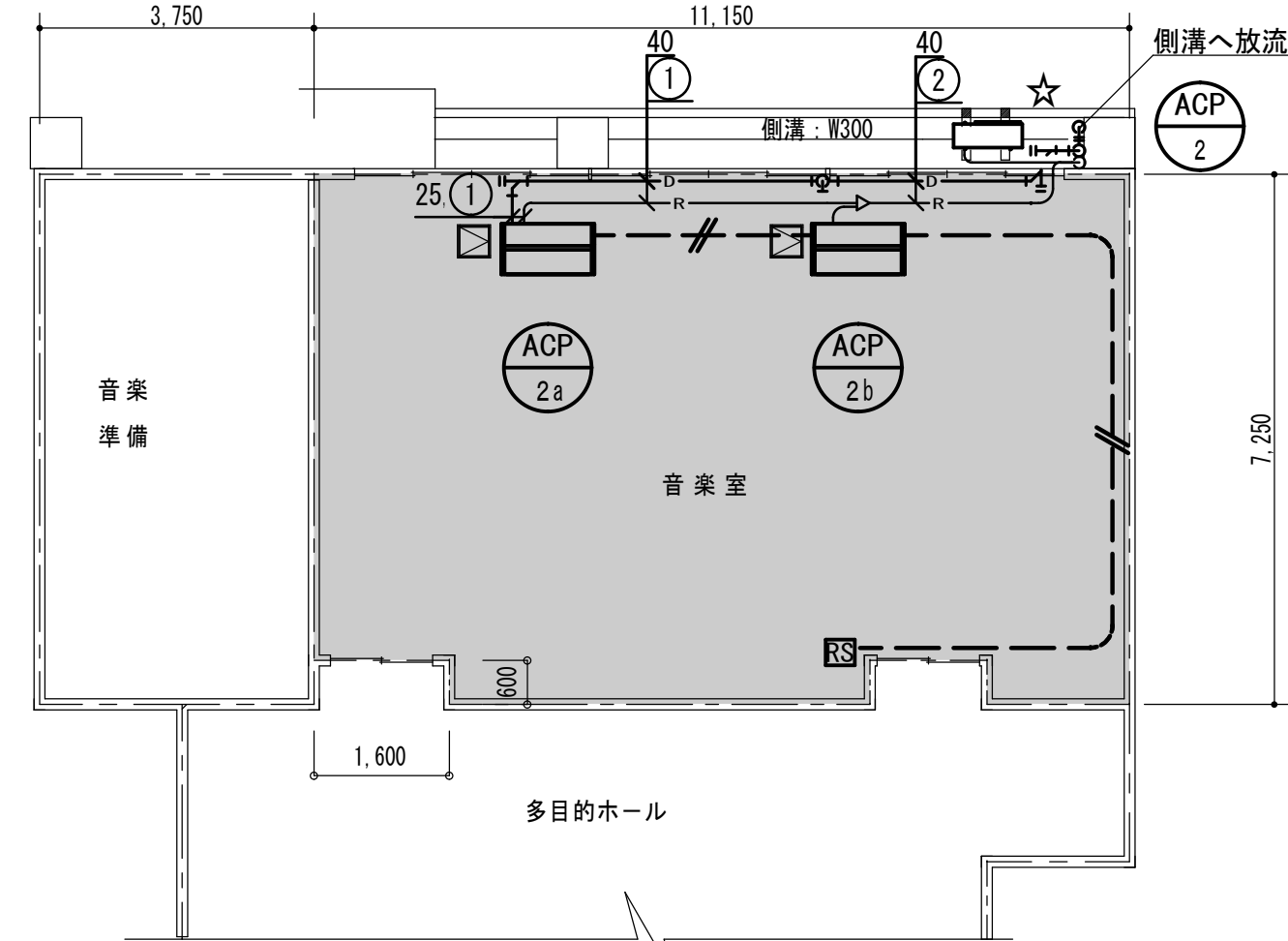
凡例表			
図中明記なき配線配管は下記に依る。			
	空調用コン（スイッチ）ボックス2個用に取付）		
	天井点検口（450×450）		
	EM-EEF. 0° -2C	冷媒管同時巻	電源渡り
	EM-IE2. 0°	冷媒管同時巻	アース
	EM-COE1. 25° -2C	マルチモル A型	特記無きは、露出とする。
	冷媒用断熱被覆銅管		特記無きは、露出とする。
	ドレン配管	VP	特記無きは、露出とする。

【注記】




- ※図中 部配管・機器は、新設を示す。
- ※図中 部配管・機器は、既設を示す。
- ※図中 ☆ 印はアルミパネル改修箇所（新設）を示す。
- ※図中 ○ 印はアルミパネル改修箇所（既設パネルに穴あけ）を示す。
- ※天井点検口の取付位置は、別途工事の電気工事業者と調整し、決定すること。
- ※アルミパネル改修箇所は、窓ストッパーを取付けること。
- ※図中 部は、今回工事対象を示す。

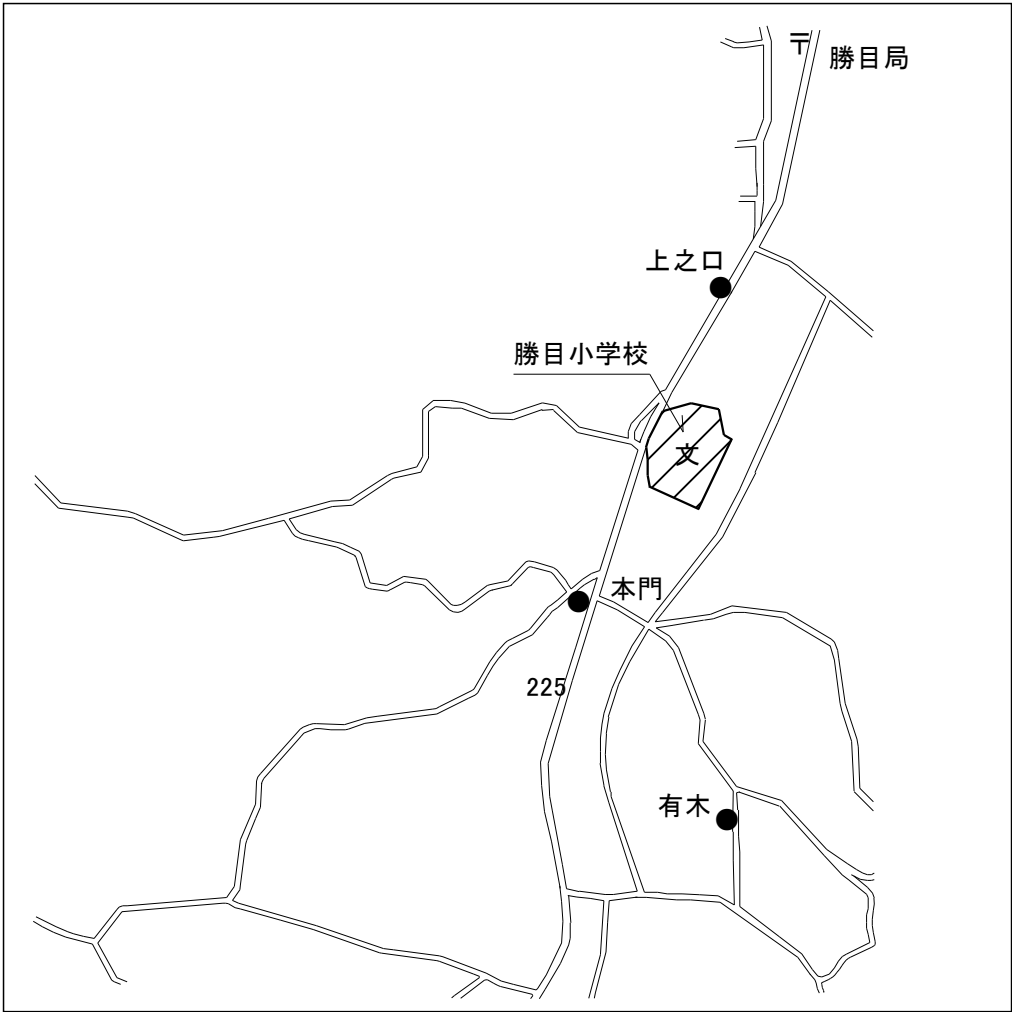
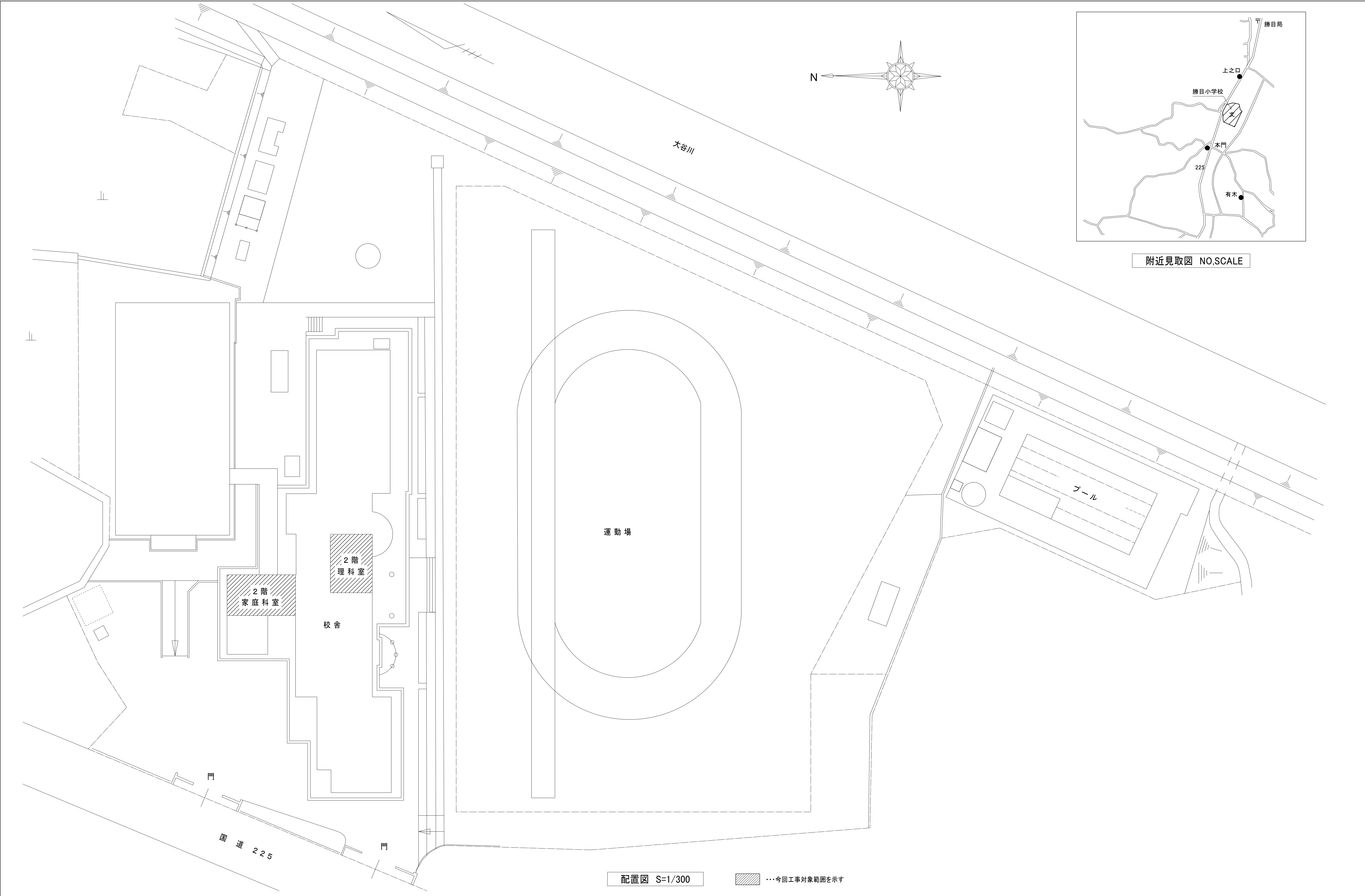
記号	冷媒サイズ
①	6.4φ×12.7φ
②	9.5φ×15.9φ

※配管サイズは参考とする。







空調設備 1 階平面図 1 : 100

記 事	 建築設備／設計／監理 株式会社 オープランニング 鹿児島県知事登録 第1-2-2号	代 表	一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工 事 名	川辺地域小学校特別教室空調整備工事			図面番号	M-07
		管 理	一級建築士第379060号	図 名	高田小学校 空調設備1・2階平面図			縮 尺	A1-1: 100 A3-1: 200
		建築士	田原 春 守	検 印	検 印	担 当	製 図		R6. 11.
									



附近見取図 NO.SCALE

記 事	<div><div></div><div>建築設備／設計／監理</div><div>株式会社 オープランニング</div><div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div></div>			代 表	一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹		工 事 名	川辺地域小学校特別教室空調整備工事		図面番号	M-O 8
				図 名	勝目小学校 附近見取図・配置図		縮 尺	A1-1/400 A3-1/800			
				管 理 建築士	一級建築士第379060号 田原 香 守		校 印	校印  担 当  製 図  森		R6. 11.	

空調機器表

記 号	名 称	能力 K W		電 源	消費電力 (KW)	圧縮機 (KW)	数 量	設 置 場 所	備 考
		冷 房	暖 房						
ACP 1	空 冷 パッケージエアコン (天吊露出型・ツイン同時) (インバータータイプ)	12.5 (5.7~14.0)	14.0 (6.3~18.0)	3φ200V 室外機電源	3.72/3.61	2.45	1	2階 理科室	耐重塩害仕様 ワイードリコン 分岐管 室外機基礎 防護ネット (前面・側面)
ACP 4	空 冷 パッケージエアコン (天吊露出型・ツイン同時) (インバータータイプ)	14.0 (6.3~16.0)	16.0 (7.3~20.0)	3φ200V 室外機電源	4.77/4.45	3.08	1	2階 家庭科室	耐重塩害仕様 ワイードリコン 分岐管 室外機基礎 防護ネット (前面・側面)

※ 空調機の選定機種については、省エネ法及びグリーン購入法の基準をクリアしたものとする。(対応している能力のみ)

※ 能力はJIS条件時の値とする。

※ 冷媒はR32(又はR410)とする。

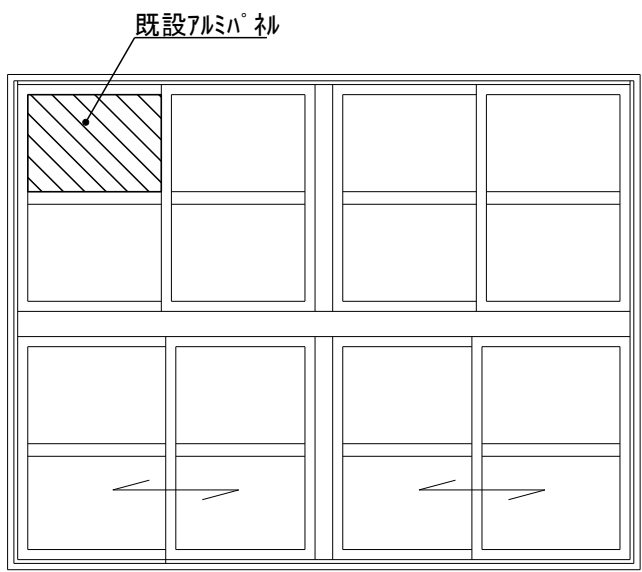
※ 省エネ多機能リモコンとする。

※ 機器消費電力及び圧縮機能力は参考値とする。

防露・保温仕様

	屋内隠ぺい	屋外露出	屋内露出
冷媒管	-	SUSラッキング	保温化粧ケース
ドレン管	-	塗装	合成樹脂カバー

アルミパネル撤去・改修要領図 NO. SCALE

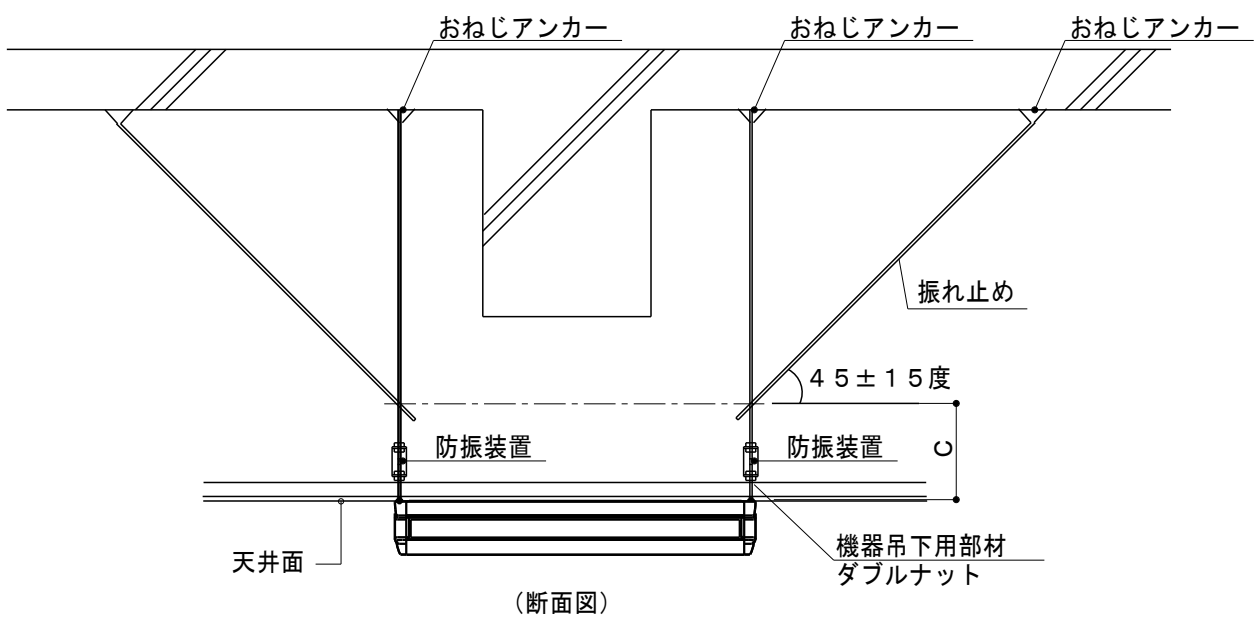


アルミパネル改修表

室 名	パネル寸法 W×H (mm)	数量	備 考
1階			
2階			

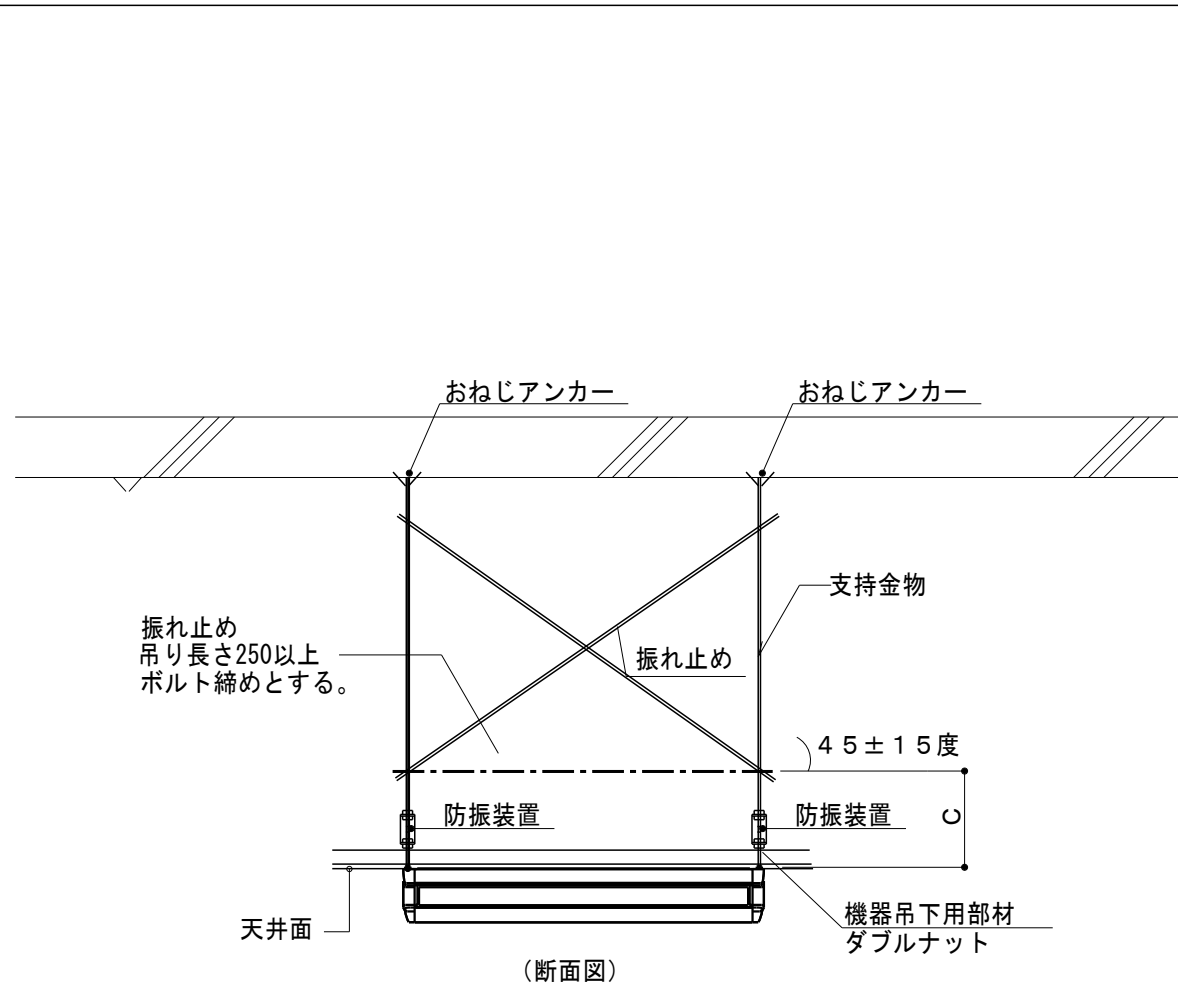
※アルミパネル取付箇所は、窓開閉ストッパーを取付のこと。
※アルミパネルの開口は最小寸法とする。
※カーテン閉め用のフックを取付のこと。
※アルミパネル厚さはメーカー基準とする。
※既設アルミパネルへの穴あけ径
冷媒管 75φ ドレン管 50φ とする。

室内機施工要領図 (全ネジボルト放射状の据付け法) NO. SCALE



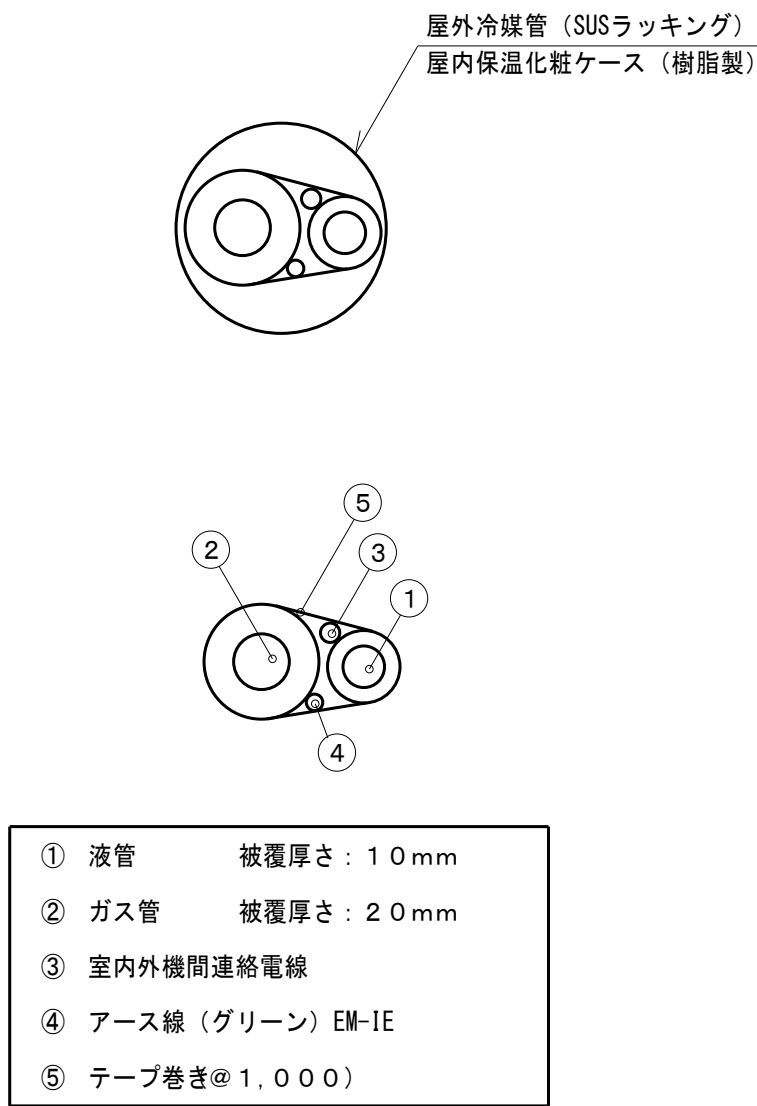
※φが250mm以内となるように斜材を設置すること。

室内機施工要領図 (全ねじボルトX上の据付け法) NO. SCALE



※φが250mm以内となるように斜材を設置すること。

配管固定要領図 NO. SCALE

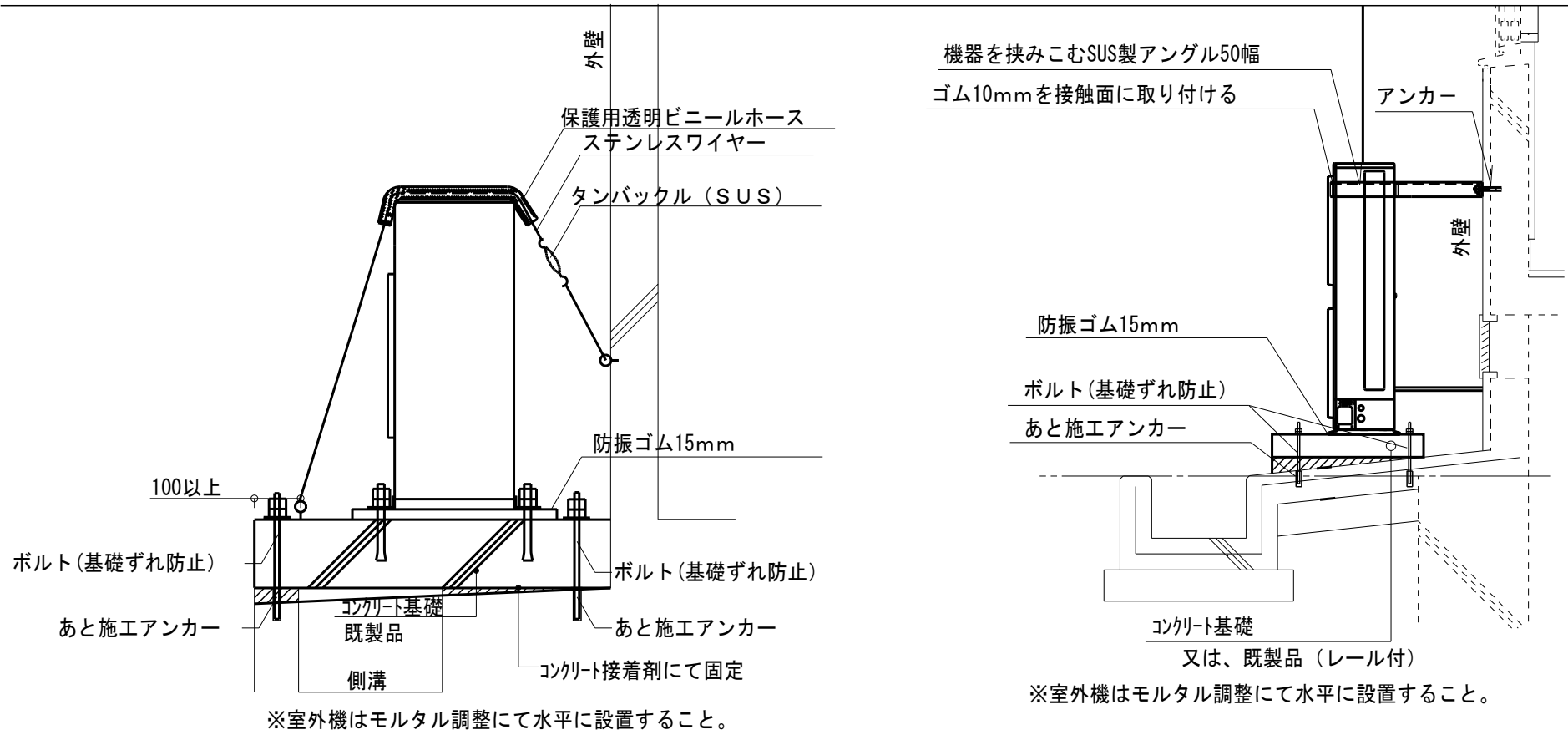


- ① 液管 被覆厚さ：10mm
- ② ガス管 被覆厚さ：20mm
- ③ 室内外機間連絡電線
- ④ アース線 (グリーン) EM-IE
- ⑤ テープ巻き@1,000

工事区分表

工事項目	機 械	電 気	建 築
空調機	室外機用コンクリート基礎	○	
一次側電源工事		○	
二次側電源工事		○	
アース工事 (二次側のみ)		○	
室内外機間制御配線工事		○	
リモコン取付用メタルモール		○	
リモコン取付用スイッチボックス		○	
リモコン配線工事		○	
リモコン本体及び取付		○	
天井点検口 (開口補強共)		○	
アルミパネル		○	
アルミパネル開口		○	

室外機固定要領図 NO. SCALE



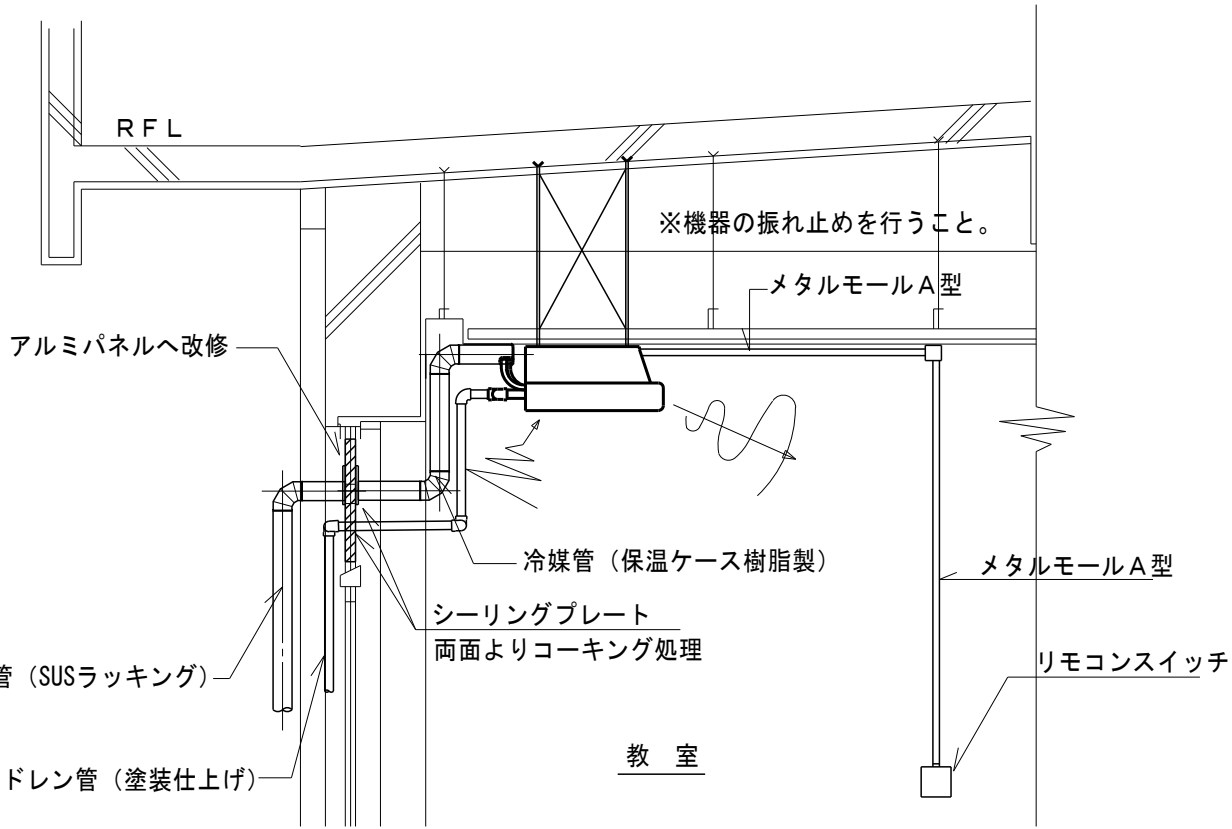
※室外機はモルタル調整にて水平に設置すること。

機器を挟みこむSUS製アングル50幅
ゴム10mmを接触面に取り付ける

防振ゴム15mm
ボルト (基礎ずれ防止)
あと施工アンカー

コンクリート基礎
又は、既製品 (レール付)
※室外機はモルタル調整にて水平に設置すること。

断面詳細図 NO. SCALE



冷媒管 (SUSラッキング)
屋内保温化粧ケース (樹脂製)

冷媒管 (保温ケース樹脂製)
シーリングプレート
両面よりコーキング処理

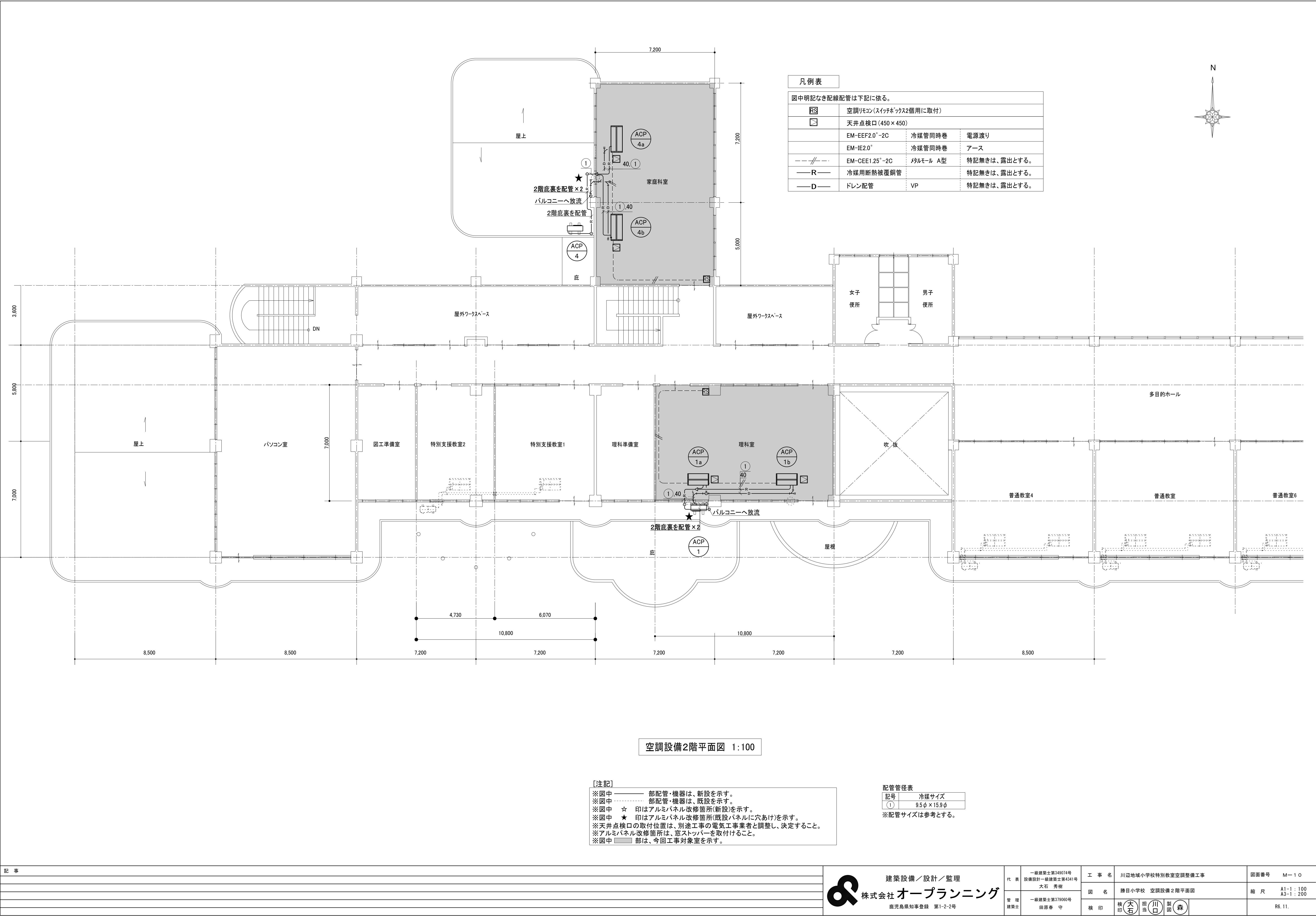
ドレン管 (塗装仕上げ)

アルミパネルへ改修

メタルモールA型

リモコンスイッチ

教室



凡例表			
図中明記なき配線配管は下記に依る。			
RS	空調リモコン(スイッチボックス2個用に取付)		
□	天井点検口 (450×450)		
	EM-EEF2.0°-2C	冷媒管同時巻	電源渡り
	EM-IE2.0°	冷媒管同時巻	アース
---	EM-OEE1.25°-2C	ダクトモル A型	特記無きは、露出とする。
—R—	冷媒用断熱被覆銅管		特記無きは、露出とする。
—D—	ドレン配管	VP	特記無きは、露出とする。

空調設備2階平面図 1:100

【注記】

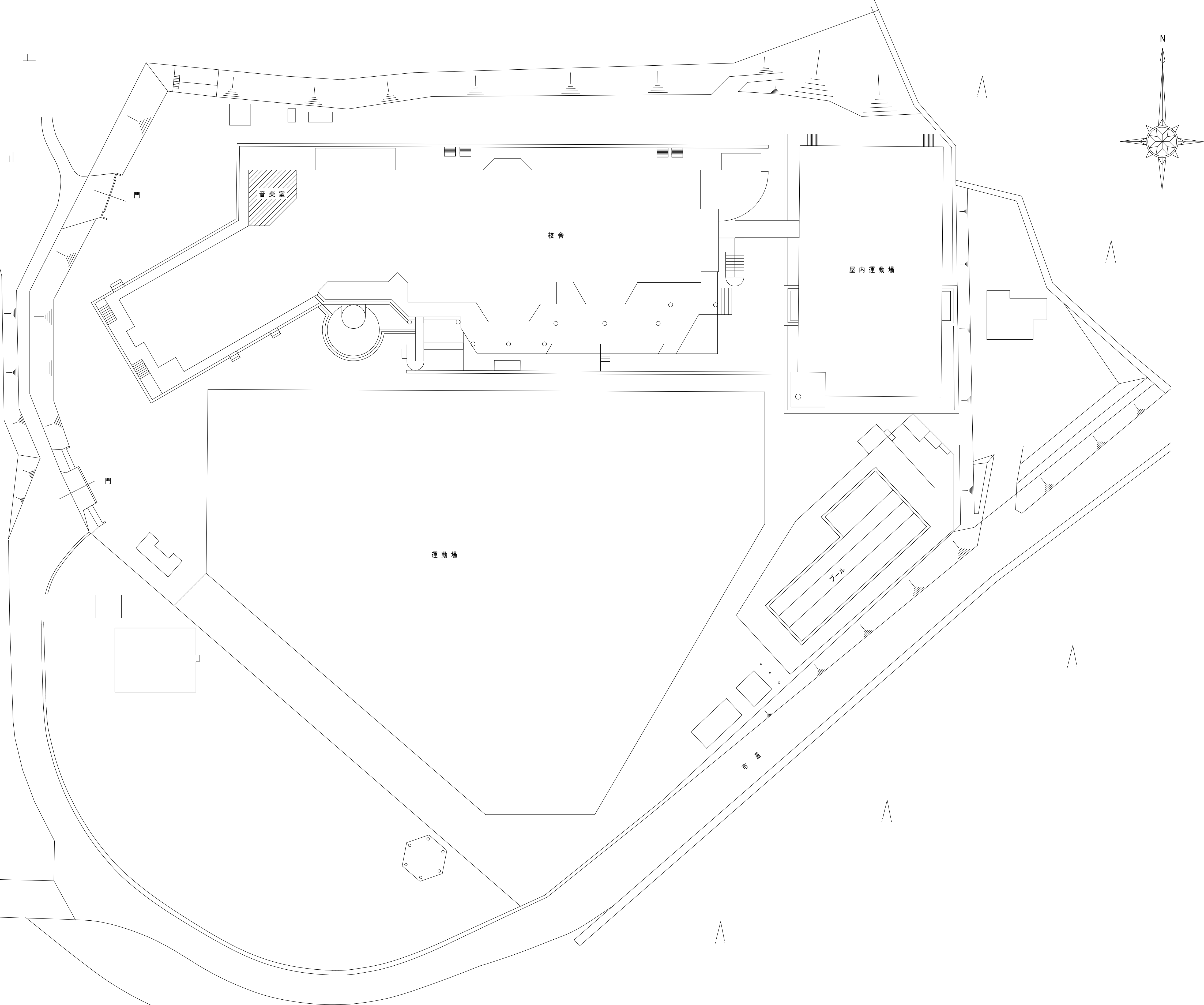
※図中 — 部配管・機器は、新設を示す。
※図中 - - - 部配管・機器は、既設を示す。
※図中 ☆ 印はアルミパネル改修箇所(新設)を示す。
※図中 ★ 印はアルミパネル改修箇所(既設パネルに穴あけ)を示す。
※天井点検口の取付位置は、別途工事の電気工事業者と調整し、決定すること。
※アルミパネル改修箇所は、窓ストッパーを取付けること。
※図中 ■ 部は、今回工事対象室を示す。

配管管径表	
記号	冷媒サイズ
①	9.5φ×15.9φ

※配管サイズは参考とする。



附近見取図 NO. SCALE



配置図 S=1/300

・・・今回工事対象範囲を示す

記 事	<div>建築設備／設計／監理</div> <div>株式会社 オープランニング</div> <div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div>			代 表	一級建築士第349074号	工 事 名	川辺地域小学校特別教室空調整備工事	図面番号	M-1.1
					設備設計一級建築士第4341号		大丸小学校 附近見取図・配置図		縮 尺
					大石 秀樹				A1-1/300
					管 理		校 印		A3-1/600
					建築士		校 印		R6. 11.

空調機器表

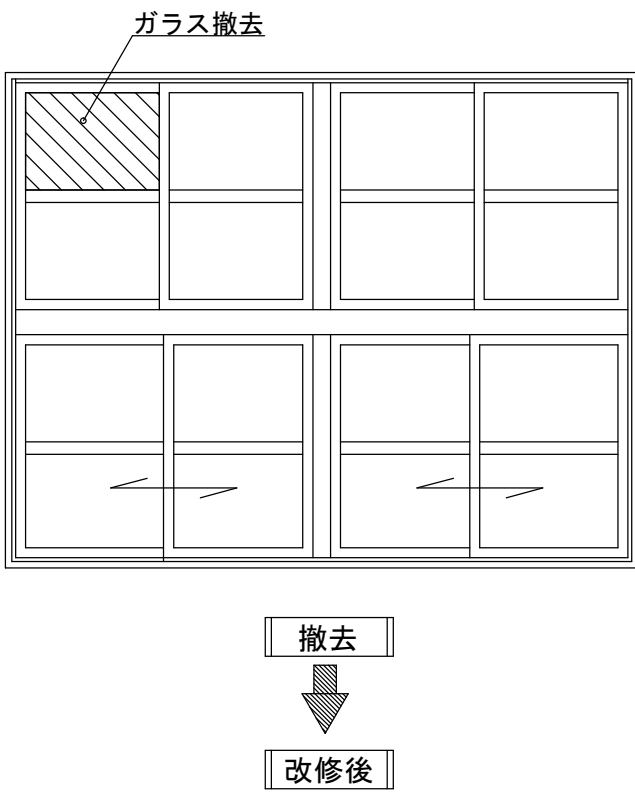
記 号	名 称	能力 K W		電 源	消費電力 (KW)	圧縮機 (KW)	数 量	設 置 場 所	備 考
		冷 房	暖 房						
ACP 2	空 冷 パッケージエアコン (天吊露出型・ツイン同時) (インバータータイプ)	10.0 (4.8~11.2)	11.2 (5.1~14.0)	3φ200V 室外機電源	2.62/2.77	2.3	1	1 階 音楽室	耐重塩害仕様 ワイードリコン 分岐管 室外機基礎 防護ネット (前面・側面)

※ 空調機の選定機種については、省エネ法及びグリーン購入法の基準をクリアしたものとする。(対応している能力のみ)
※ 能力はJIS条件時の値とする。
※ 冷媒はR32 (又はR410) とする。
※ 省エネ多機能リモコンとする。
※ 機器消費電力及び圧縮機能力は参考値とする。

防露・保温仕様

	屋内隠ぺい	屋外露出	屋内露出
冷媒管	-	SUSラッキング	保温化粧ケース
ドレン管	-	塗装	合成樹脂加工-2

アルミパネル撤去・改修要領図 NO. SCALE

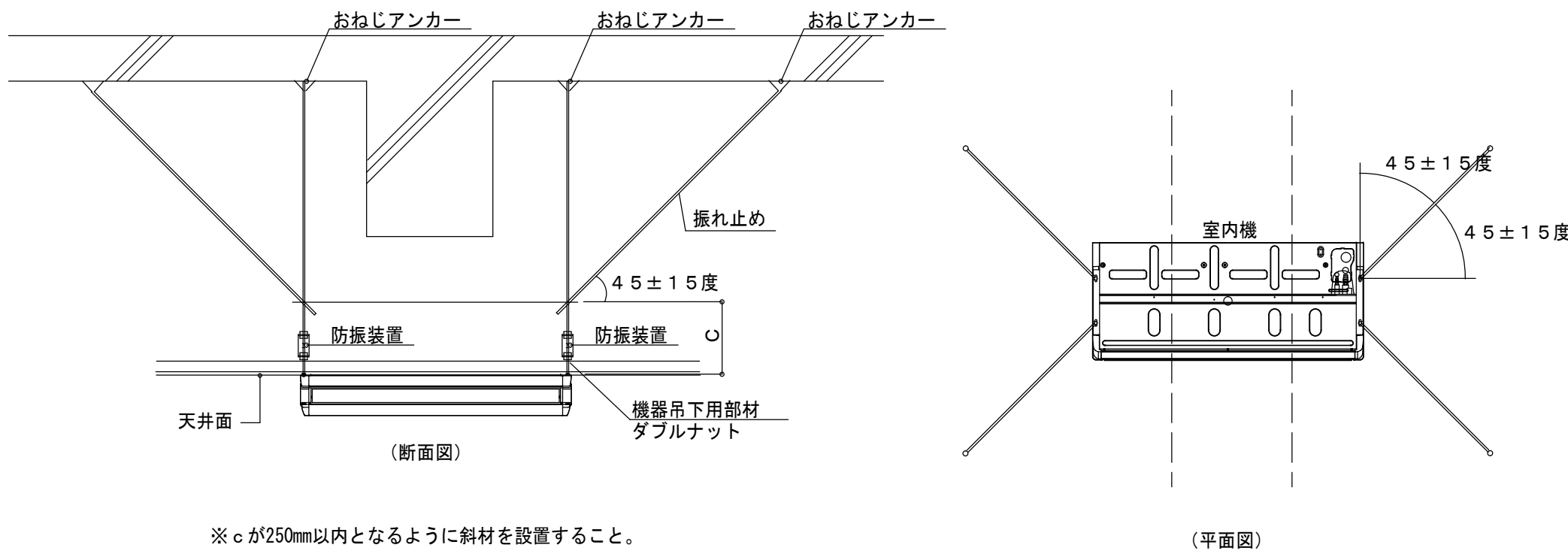


アルミパネル改修表

室 名	パネル寸法 W×H (mm)	数量	備 考
1階 音楽室	600×600	1	

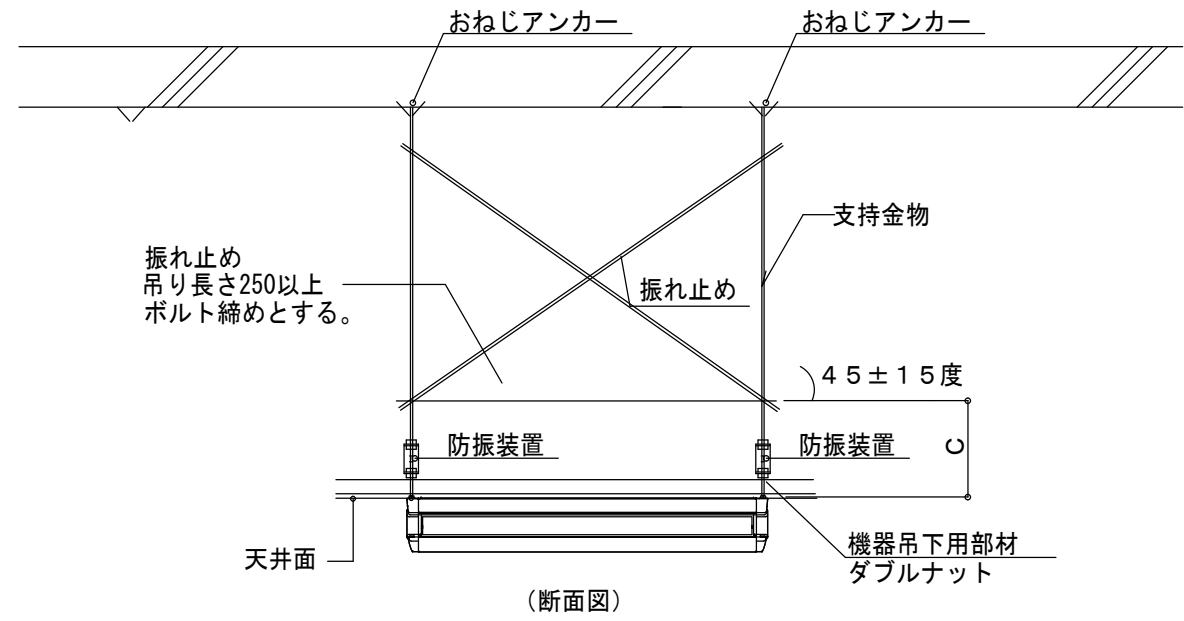
※アルミパネル取付箇所は、窓開閉ストッパーを取付のこと。
※アルミパネルの開口は最小寸法とする。
※カーテン閉め用のフックを取付のこと。
※アルミパネル厚さはメーカー基準とする。
※既設アルミパネルへの穴あけ径
冷媒管 75φ ドレン管 50φ とする。

室内機施工要領図 (全ネジボルト放射状の据付け法) NO. SCALE



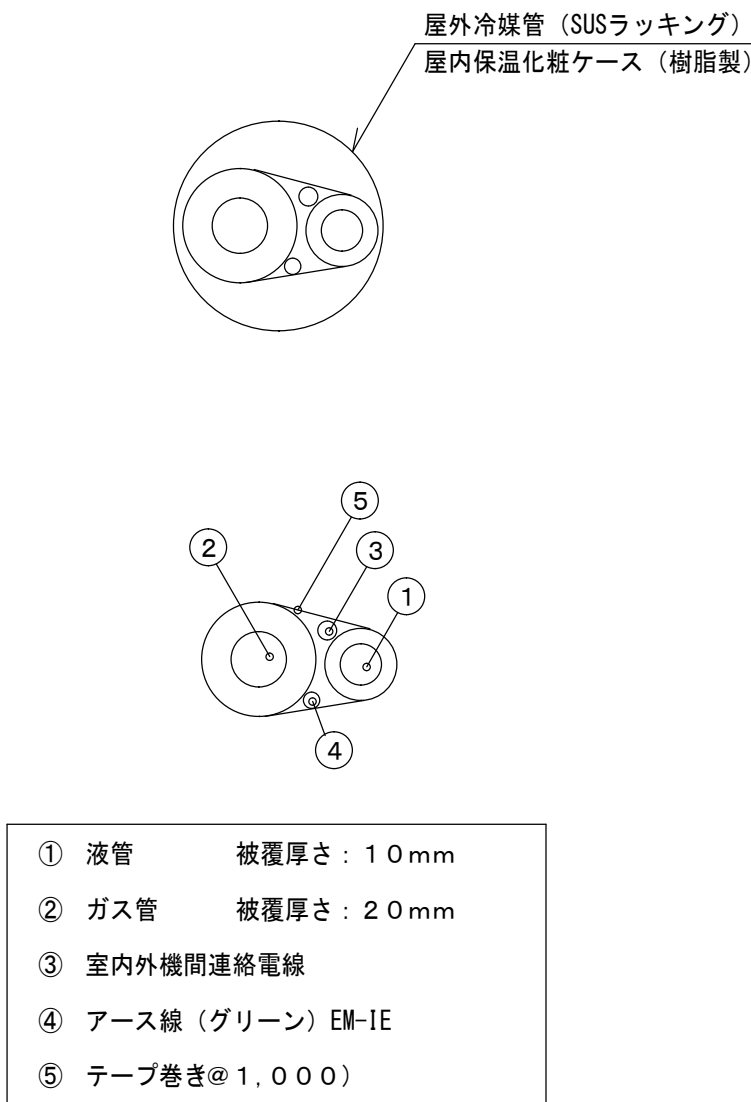
※φが250mm以内となるように斜材を設置すること。

室内機施工要領図 (全ねじボルト上の据付け法) NO. SCALE



※φが250mm以内となるように斜材を設置すること。

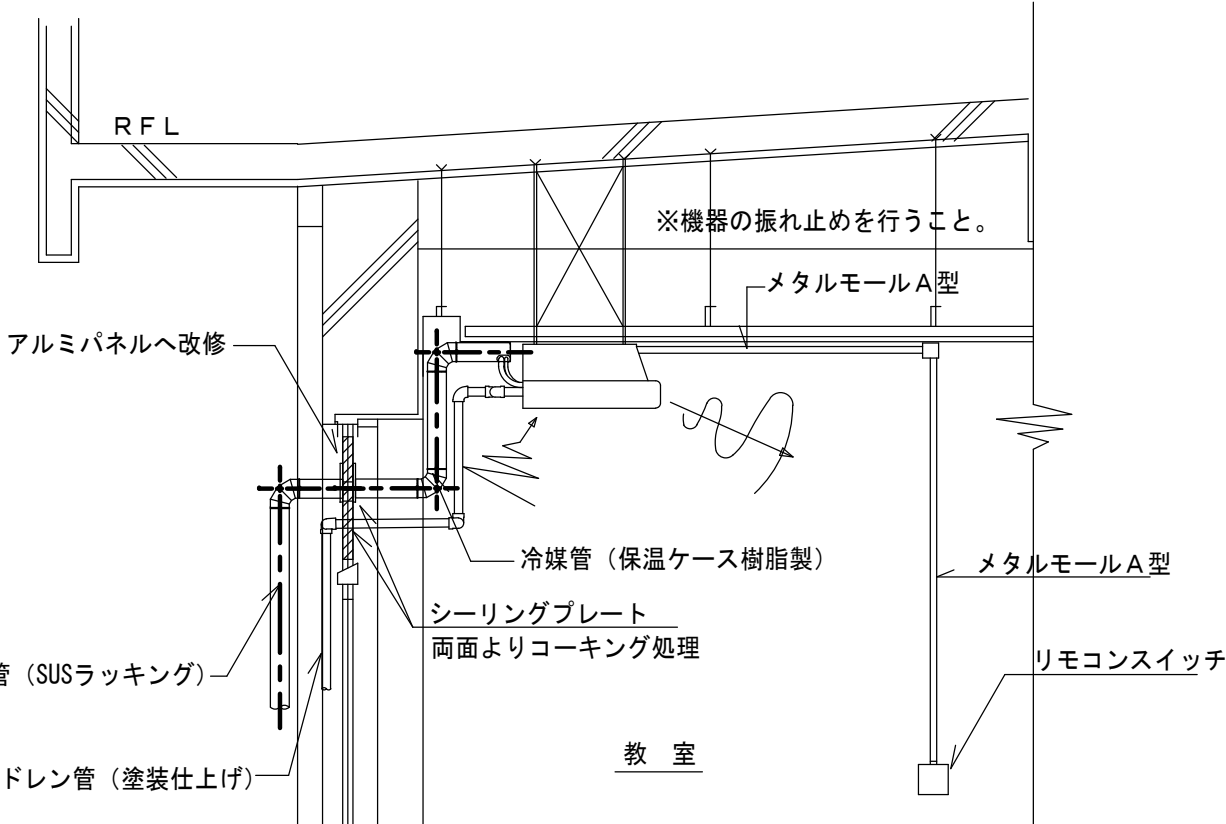
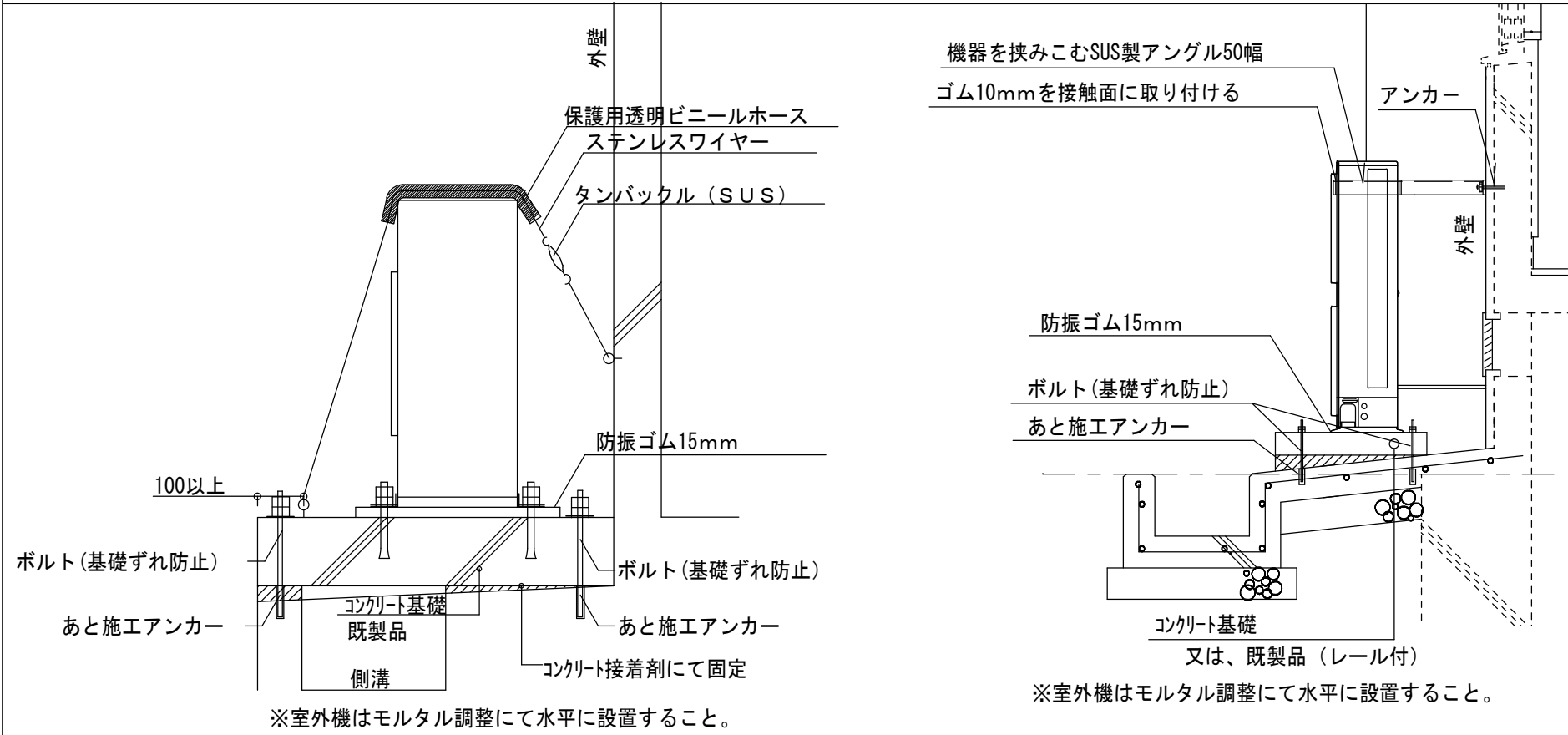
配管固定要領図 NO. SCALE




工事区分表

工事項目	機 械	電 気	建 築
空調機	室外機用コンクリート基礎	○	
一次側電源工事		○	
二次側電源工事		○	
アース工事 (二次側のみ)		○	
室内外機間制御配線工事		○	
リモコン取付用メタルモール		○	
リモコン取付用スイッチボックス		○	
リモコン配線工事		○	
リモコン本体及び取付		○	
天井点検口 (開口補強共)		○	
アルミパネル		○	
アルミパネル開口		○	

室外機固定要領図 NO. SCALE

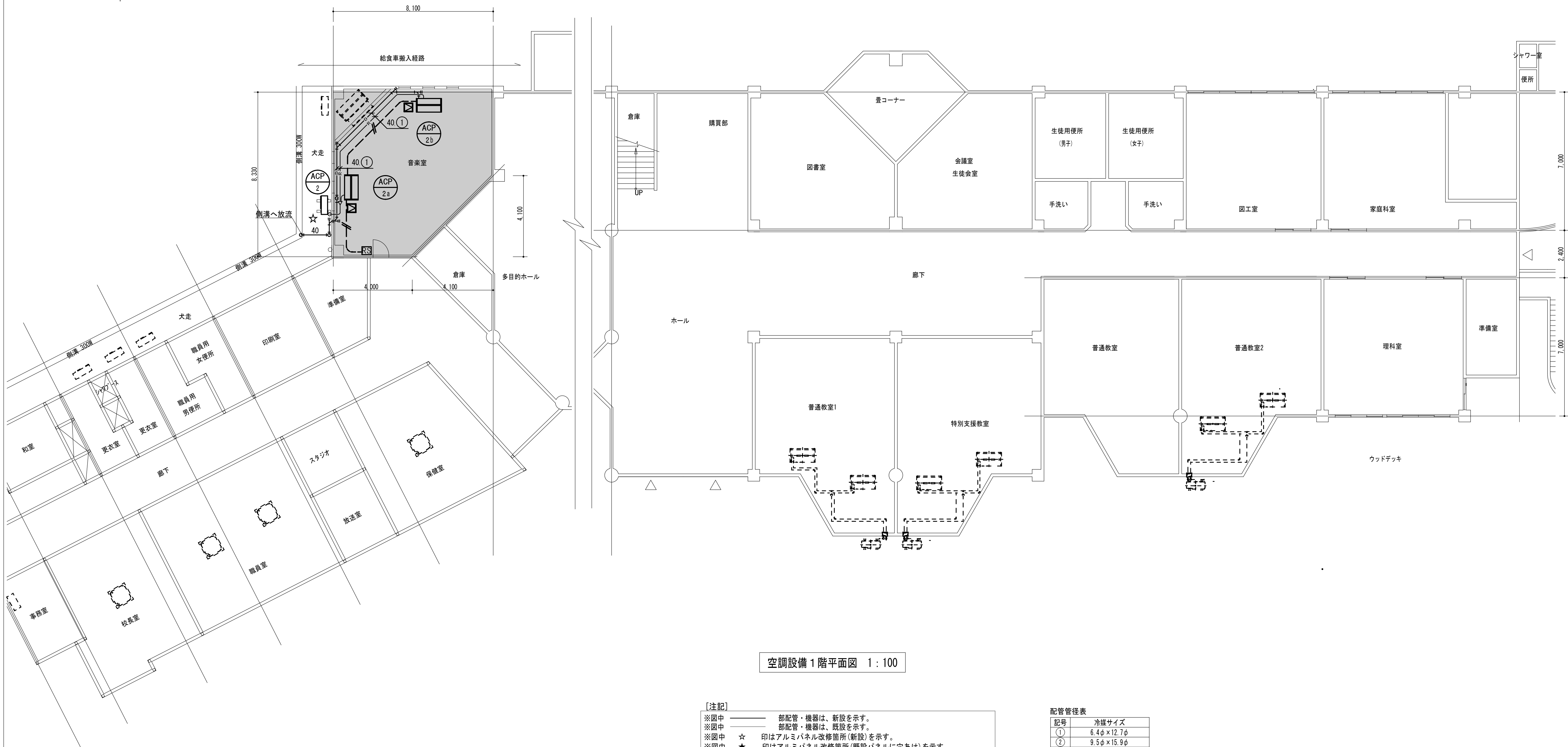
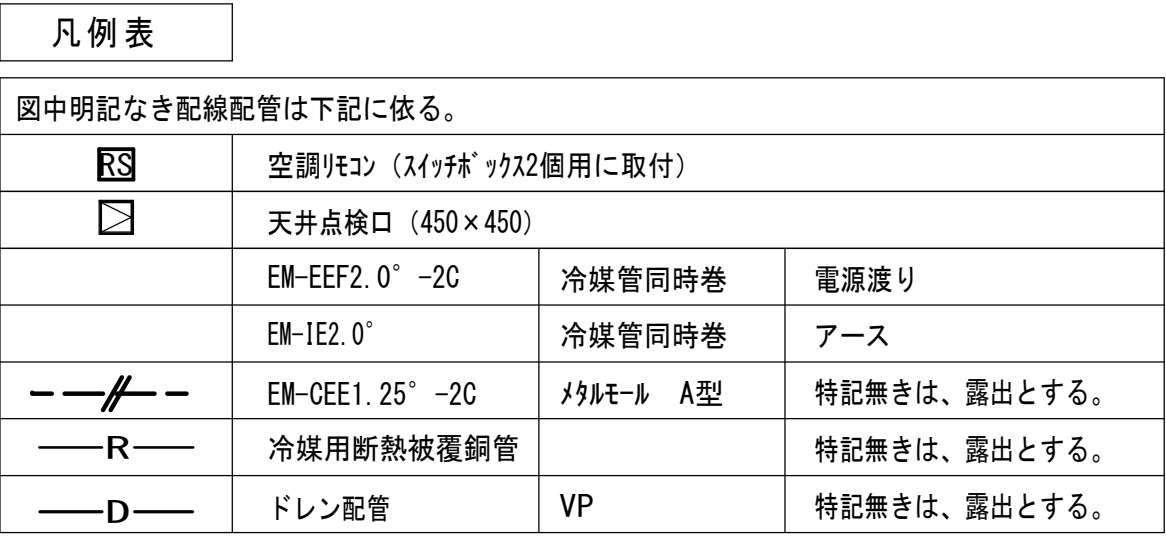


記 事




建築設備／設計／監理
株式会社 オープランニング
鹿児島県知事登録 第1-2-2号


代 表	一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工 事 名	川辺地域小学校特別教室空調整備工事	図面番号	M-12
管 理 建築士	一級建築士第379060号 田原 香 守	図 名	大丸小学校 空調機器表・施工要領図	縮 尺	A1-NOSCALE
検 印	大石 秀樹 川口 森	検 印	大石 秀樹 川口 森	製 図	R6.11.



空調設備 1 階平面図 1 : 100

【注記】

※図中  部配管・機器は、新設を示す。


※図中  部配管・機器は、既設を示す。

※図中 ☆ 印はアルミバナル改修箇所(新設)を示す。

※図中 ★印はアルミバナル改修箇所(既設バナルに穴あけ)を示す。

※天井点検口の取付位置は、別途工事の電気工事業者と調整し、決定すること。

※アルミバナル改修箇所は、窓ストッパーを示すこと。

※図中  部は、今回工事対象を示す。

記号	冷媒サイズ
①	6.4φ×12.7φ
②	9.5φ×15.9φ

※配管サイズは参考とする。

記 事		<div><div>建築設備／設計／監理</div><div>株式会社 オープランニング</div><div>鹿児島県知事登録 第1-2-2号</div></div>	代 表 一級建築士第349074号 設備設計一級建築士第4341号 大石 秀樹	工 事 名		川辺地域小学校特別教室空調整備工事	図面番号	M-1 3
	図 名			大丸小学校 空調設備 1 階平面図	縮 尺	A1-1 : 100 A3-1 : 200		
	検 印			検印  担 当  製 図 	R6.11.			
	管 理 建築士			一級建築士第379060号 田原 春 守				